

## 5. 標 識 工



## 目次

NO.	記号	内容説明	備考
標-1		構成一覧表	R7
標-2		構成一覧表	R7
標-3		構成一覧表	R7
標-4		構成一覧表	R7
標-5		標識板レイアウト図 標識板-01	R7
標-6		標識板レイアウト図 標識板-02	R7
標-7		標識板レイアウト図 標識板-03	R7
標-8		標識板レイアウト図 標識板-04	R7
標-9		標識板レイアウト図 標識板-05	R7
標-10		標識板レイアウト図 標識板-06	R7
標-11		標識板レイアウト図 標識板-07	R7
標-12		標識板レイアウト図 標識板-08	R7
標-13		標識板レイアウト図 標識板-09	R7
標-14		標識板レイアウト図 標識板-10	R7
標-15		標識板レイアウト図 標識板-11	R7
標-16		標識板レイアウト図 標識板-12	R7
標-17		標識板レイアウト図 標識板-13	R7
標-18		標識板レイアウト図 標識板-14	R7
標-19		標識板レイアウト図 標識板-15	R7
標-20		標識板レイアウト図 標識板-16	R7
標-21		標識板レイアウト図 標識板-17	R7
標-22		標識板レイアウト図 標識板-18	R7
標-23		標識板レイアウト図 標識板-19	R7
標-24		標識板レイアウト図 標識板-20	R7
標-25		支柱詳細図 F型柱-01	R7

## 目次

NO.	記号	内容説明	備考
標-26		支柱詳細図 F型柱-02	R7
標-27		支柱詳細図 F型柱-03	R7
標-28		支柱詳細図 F型柱-04	R7
標-29		支柱詳細図 F型柱-05	R7
標-30		支柱詳細図 T型柱-01	R7
標-31		支柱詳細図 路側柱-01	R7
標-32		支柱詳細図 路側柱-02	R7
標-33		支柱詳細図 路側柱-03	R7
標-34		支柱詳細図 路側柱-04	R7
標-35		支柱詳細図 路側柱-05	R7
標-36		支柱詳細図 路側柱-06	R7
標-37		支柱詳細図 路側柱-07	R7
標-38		支柱詳細図 路側柱-08	R7
標-39		支柱詳細図 路側柱-09	R7
標-40		支柱詳細図 路側柱-10	R7
標-41		支柱詳細図 路側柱-11	R7
標-42		支柱詳細図 路側柱-12	R7
標-43		支柱詳細図 路側柱-13	R7
標-44		支柱詳細図 路側柱-14	R7
標-45		支柱詳細図 路側柱-15	R7
標-46		支柱詳細図 路側柱-16	R7
標-47		支柱詳細図 路側柱-17	R7
標-48		支柱詳細図 路側柱-18	R7
標-49		支柱詳細図 路側柱-19	R7
標-50		支柱詳細図 路側柱-20	R7

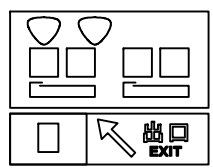
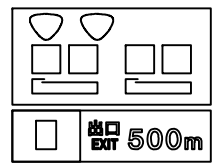
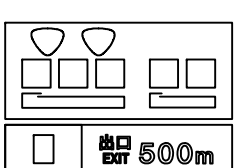
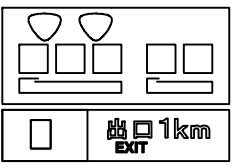
## 目次

NO.	記号	内容説明	備考
標-51		支柱詳細図 路側柱-21	R7
標-52		支柱詳細図 路側柱-22	R7
標-53		支柱詳細図 路側柱-23	R7
標-54		支柱詳細図 路側柱-24	R7
標-55		支柱詳細図 路側柱-25	R7
標-56		支柱詳細図 路側柱-26	R7
標-57		支柱詳細図 路側柱-27	R7
標-58		支柱詳細図 路側柱-28	R7
標-59		支柱詳細図 路側柱-29	R7
標-60		支柱詳細図 路側柱-30	R7
標-61		支柱詳細図 路側柱-31	R7
標-62		支柱詳細図 路側柱-32	R7
標-63		支柱詳細図 路側柱-33	R7
標-64		支柱詳細図 路側柱-34	R7
標-65		支柱詳細図 路側柱-35	R7
標-66		支柱詳細図 路側柱-36	R7
標-67		支柱詳細図 路側柱-37	R7
標-68		支柱詳細図 路側柱-38	R7
標-69		基礎詳細図 打込み基礎-01	R7
標-70		基礎詳細図 打込み基礎-02	R7
標-71		基礎詳細図 打込み基礎-03	R7
標-72		基礎詳細図 打込み基礎-04	R7
標-73		基礎詳細図 打込み基礎-05	R7
標-74		基礎詳細図 打込み基礎-06	R7
標-75		基礎詳細図 打込み基礎-07	R7



高規格道路 (自専道)	図面記号	構成一覧表
	名称	

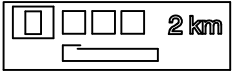
高規格道路(自動車専用道路) 道路標識 構成一覧表

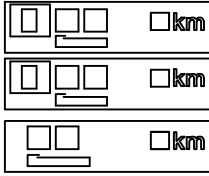
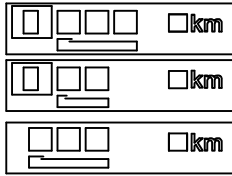
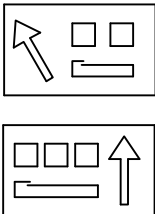
標識名称 標識番号	標識板 レイアウト図	支柱		支柱 詳細図		
		種類				
 反射式標識	標識板-01 (標-5)	F型柱	盛土	F型柱-01 (標-25)		
			切土	F型柱-02 (標-26)		
方面及び出口 (112-A)  2.70×3.50 (2文字×4文字)	標識板-02 (標-6)	F型柱	盛土	F型柱-03 (標-27)		
方面及び出口の予告 (110-A)  2.70×4.00 (5文字)			切土	F型柱-04 (標-28)		
 反射式標識	標識板-03 (標-7)	路側柱	盛土	積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-01 (標-31)	
				積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-02 (標-32)	
方面及び出口の予告 (110-A)  2.70×3.50 (2文字×4文字)	標識板-04 (標-8)		路側柱	切土	積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-03 (標-33)
					積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-04 (標-34)
 反射式標識	標識板-05 (標-9)	路側柱	盛土	積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-01 (標-31)	
				積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-02 (標-32)	
方面及び出口の予告 (110-A)  2.70×3.50 (2文字×4文字)	標識板-06 (標-10)		路側柱	切土	積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-03 (標-33)
					積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-04 (標-34)
 反射式標識	標識板-07 (標-11)	路側柱	盛土	積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-05 (標-35)	
				積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-06 (標-36)	
方面及び出口の予告 (110-A)  2.70×4.00 (5文字)	標識板-08 (標-12)		路側柱	切土	積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-07 (標-37)
					積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-08 (標-38)

※積雪深は10年確率最大積雪等深線図を基本とする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	構成一覧表
----------------	------------	-------

高規格道路(自動車専用道路) 道路標識 構成一覧表

標識名称 標識番号	標識板 レイアウト図	支柱		
		種類	詳細図	
 反射式標識	標識板-07 (標-11)  1.50×4.50 (2文字)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-09 (標-39)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-10 (標-40)
			切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-11 (標-41)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-12 (標-42)
 反射式標識	標識板-08 (標-12)  1.50×5.00 (3文字)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-13 (標-43)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-14 (標-44)
			切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-15 (標-45)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-16 (標-46)
 反射式標識	標識板-09 (標-13)  1.95×2.40	F型柱	分岐部 ノーズ  F型柱-05 (標-29)	

標識名称 標識番号	標識板 レイアウト図	支柱		
		種類	詳細図	
 反射式標識	標識板-10 (標-14)  3.00×3.70 (2文字)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-17 (標-47)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-18 (標-48)
			切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-19 (標-49)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-20 (標-50)
 反射式標識	標識板-11 (標-15)  3.00×4.00 (2文字)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-21 (標-51)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-22 (標-52)
			切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-23 (標-53)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-24 (標-54)
 反射式標識	標識板-12 (標-16)  1.20×2.00	T型柱	ランプ 分岐部 ノーズ  T型柱-01 (標-30)	

※積雪深は10年確率最大積雪等深線図を基本とする。



高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	構成一覧表
----------------	------------	-------

高規格道路(自動車専用道路) 道路標識 構成一覧表

標識名称 標識番号	標識板 レイアウト図	支柱		
		種類	詳細図	
 反射式標識	標識板-13 (標-17)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-25 (標-55)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-26 (標-56)
			切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-27 (標-57)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-28 (標-58)
 反射式標識	標識板-14 (標-18)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-29 (標-59)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-30 (標-60)
			切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-31 (標-61)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-32 (標-62)
 反射式標識	標識板-15 (標-19)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-25 (標-55)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-26 (標-56)
			切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-27 (標-57)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-28 (標-58)

標識名称 標識番号	標識板 レイアウト図	支柱		
		種類	詳細図	
 反射式標識	標識板-16 (標-20)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-29 (標-59)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-30 (標-60)
			切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-31 (標-61)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-32 (標-62)
 反射式標識	標識板-17 (標-21)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-33 (標-63)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-34 (標-64)
			切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	
 非常電話案内	標識板-18 (標-22)		スノール等に添架	
			0.16×0.35	

\*積雪深は10年確率最大積雪等深線図を基本とする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	構成一覧表
----------------	------------	-------

高規格道路(自動車専用道路) 道路標識 構成一覧表

標識名称 標識番号	標識板 レイアウト図	支柱		
		種類	詳細図	
 警戒標識 車線数減少 (211)  警戒標識 1.20×1.20  補助標識 0.50×1.50  反射式標識	標識板-19 (標-23)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-35 (標-65)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-36 (標-66)
切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-37 (標-67)			
土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-38 (標-68)			
 警戒標識 車線数減少 (211)  警戒標識 1.20×1.20  補助標識 0.50×1.50  反射式標識	標識板-20 (標-24)	路側柱	盛 積雪深 1.5m<H≤3.0m	路側柱-35 (標-65)
			土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-36 (標-66)
切 積雪深 1.5m<H≤2.0m	路側柱-37 (標-67)			
土 積雪深 0m≤H≤1.5m	路側柱-38 (標-68)			

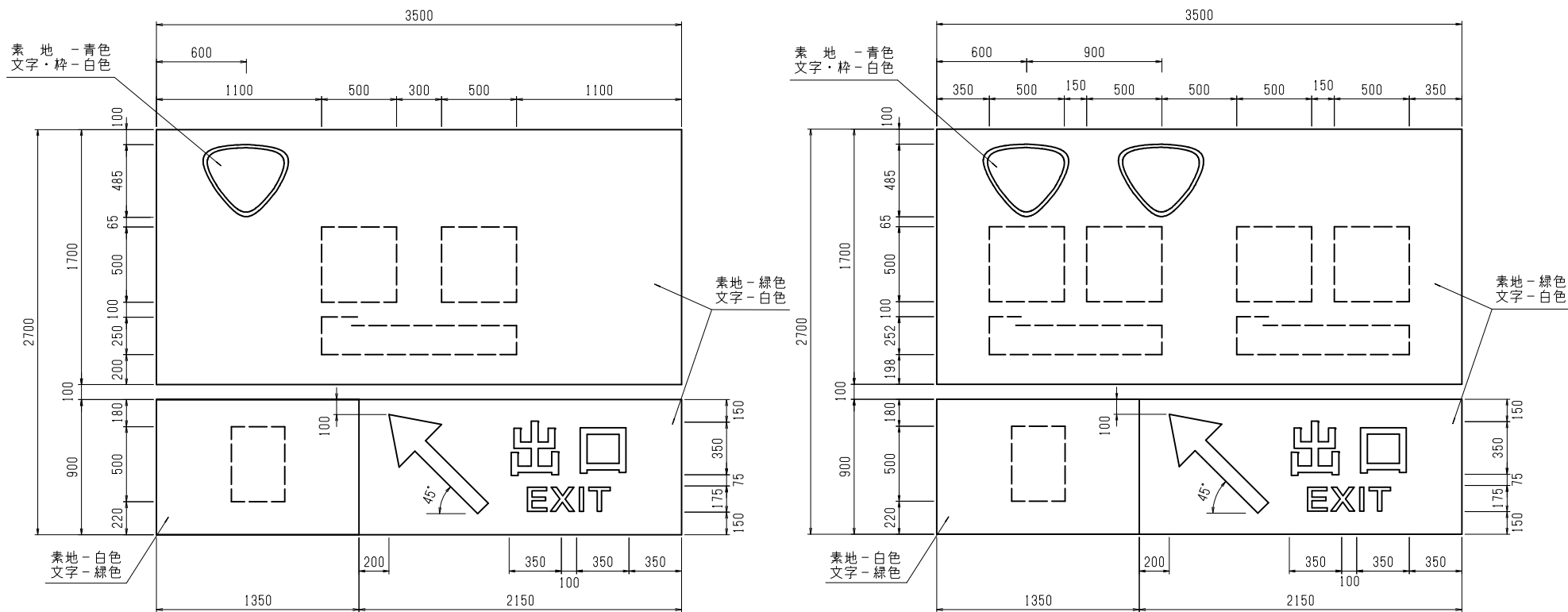
標識名称 標識番号	標識板 レイアウト図	支柱			
		種類	詳細図		
 打ち込み 鋼管基礎  (標-69) ~ (標-75)	鋼管(径) φ355.6		L=5.0	打込基礎-01	
			L=4.5	打込基礎-02	
			L=4.0	打込基礎-03	
			L=3.5	打込基礎-04	
			鋼管(径) φ216.3	L=3.5	打込基礎-05
				L=3.0	打込基礎-06
				L=2.5	打込基礎-07
 法止めブロック  (標-76) ~ (標-79)	盛 土 切 土		法面勾配 1:1.8	法止ブロック-01	
			法面勾配 1:1.5	法止ブロック-02	
			法面勾配 1:1.2	法止ブロック-03	
			法面勾配 1:1.0	法止ブロック-04	

※積雪深は10年確率最大積雪等深線図を基本とする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板-01
----------------	------------	-----------	--------

方面及び出口 112-A (2文字~4文字)

2.70m×3.50m(1.70m×3.50m・0.90m×3.50m)



- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路  
(自専道)

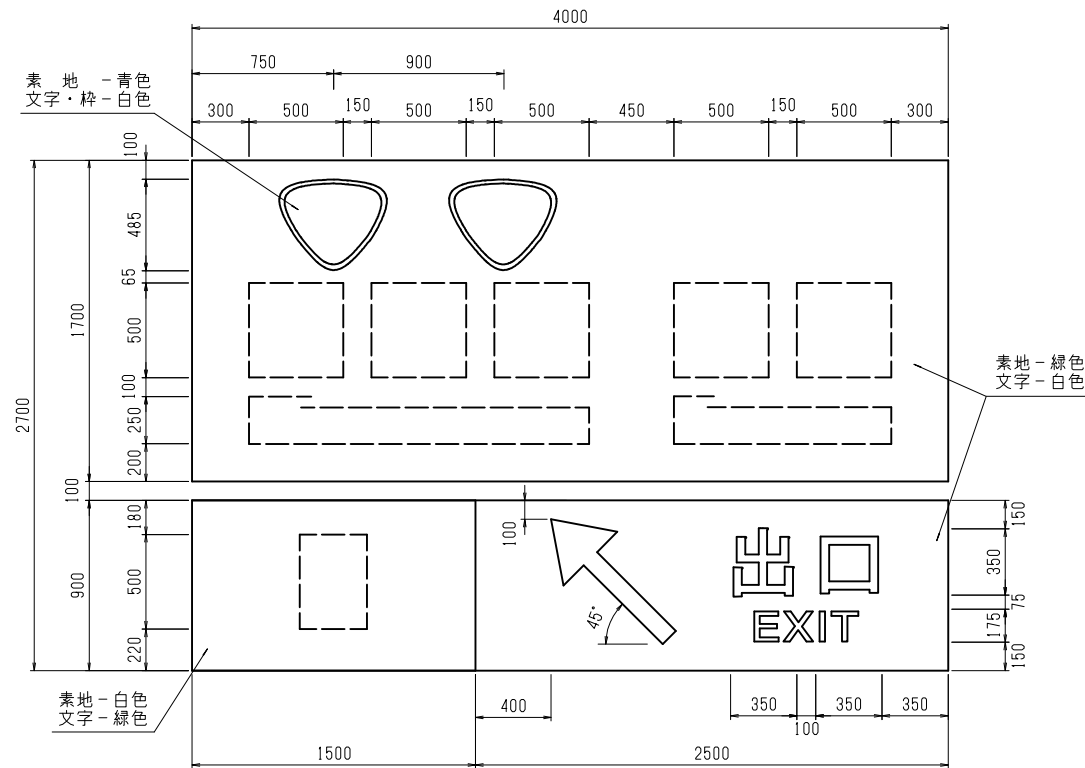
図面記号  
名称

標識板レイアウト図

標識板 - 02

方面及び出口 112-A (5文字)

2.70m × 4.00m (1.70m × 4.00m + 0.90m × 4.00m)

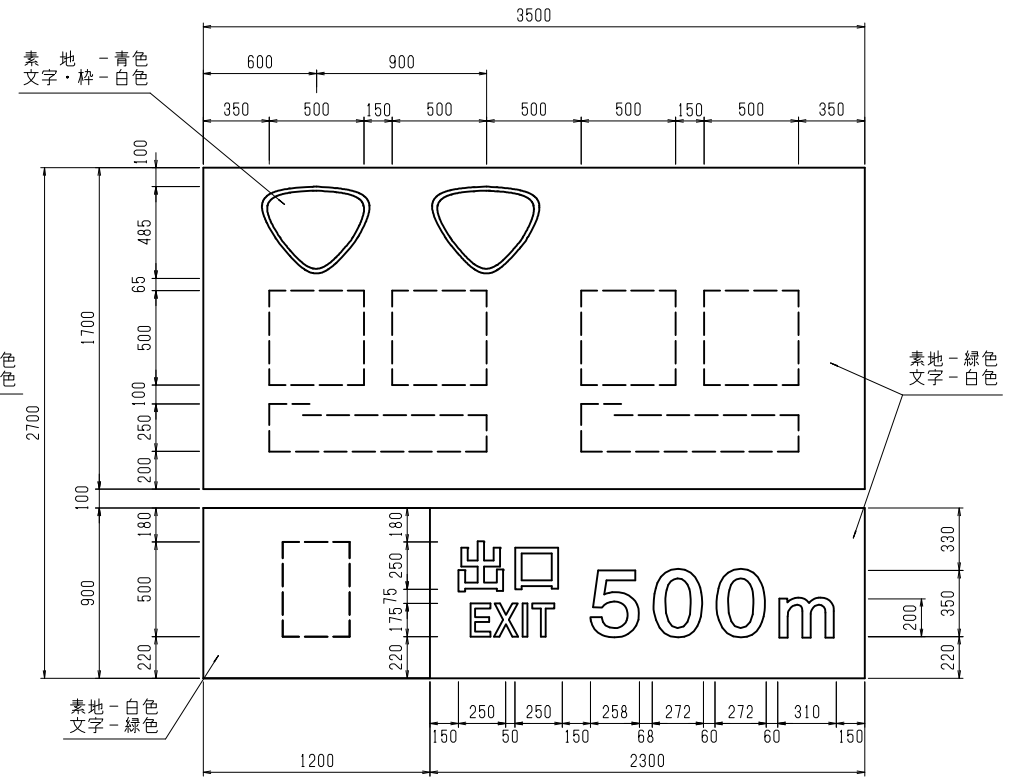
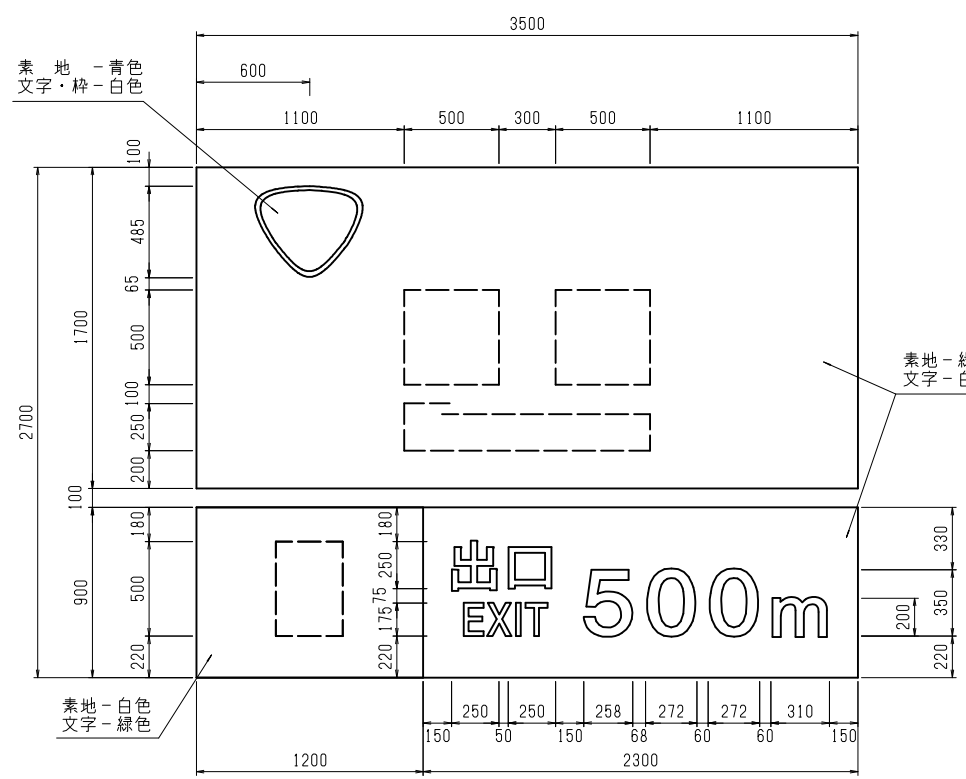


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 03
----------------	------------	-----------	----------

方面及び出口の予告 110-A (2文字~4文字) 反射式標識

2.70m x 3.50m (1.70m x 3.50m + 0.90m x 3.50m)

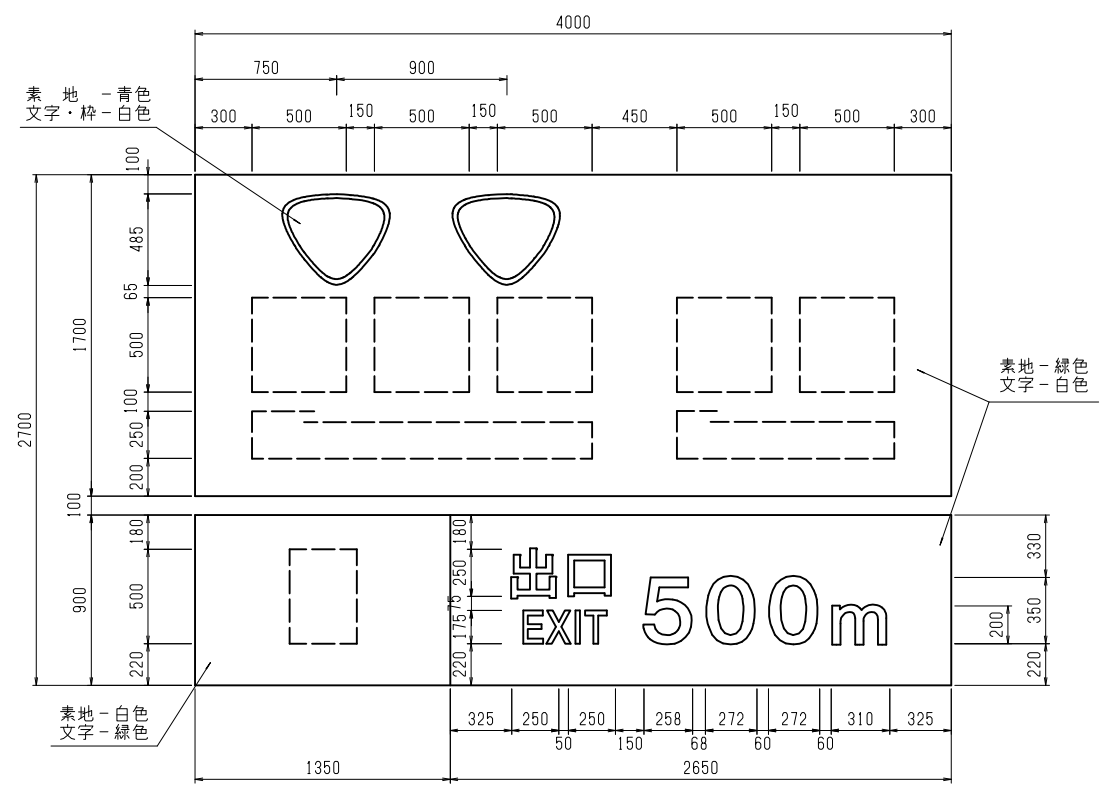


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板-04
----------------	------------	-----------	--------

方面及び出口の予告 110-A (5文字) 反射式標識

2,70m x 4,00m (1,70m x 4,00m + 0,90m x 4,00m)

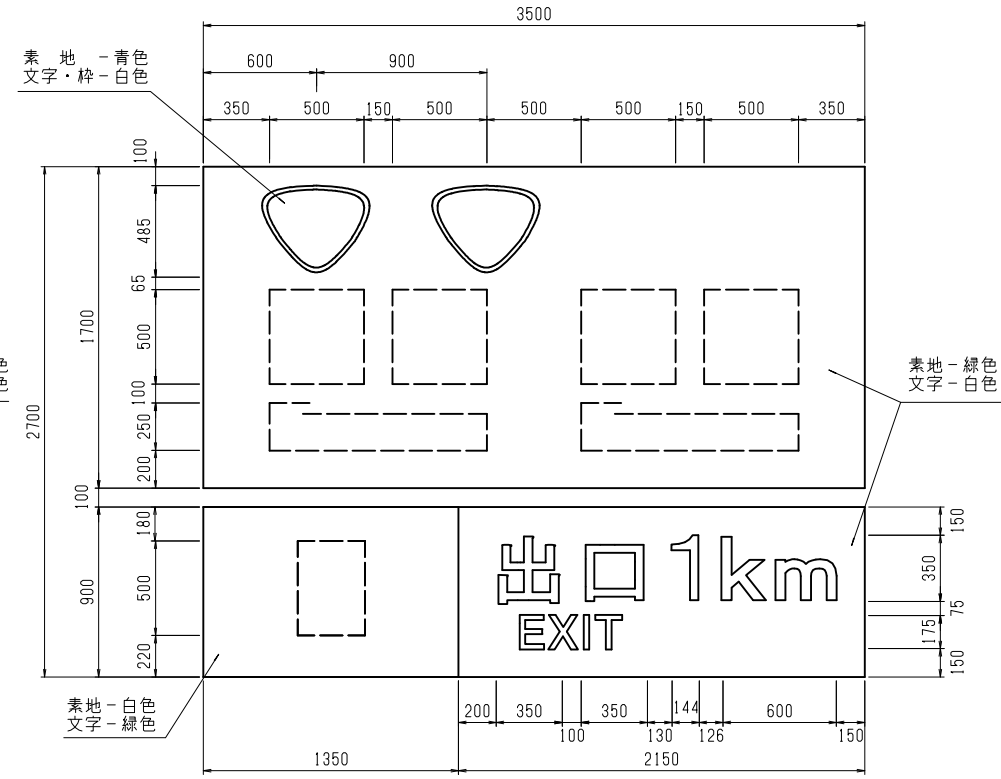
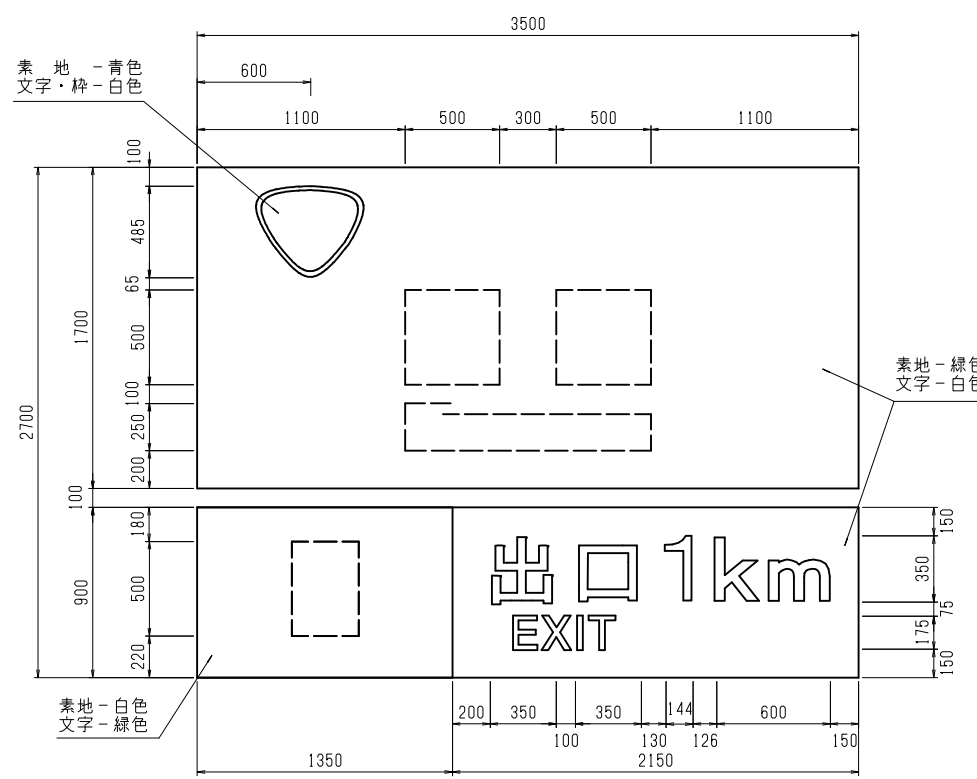


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 05
----------------	------------	-----------	----------

方面及び出口の予告 110-A (2文字~4文字) 反射式標識

2,70m x 3,50m (1,70m x 3,50m + 0,90m x 3,50m)

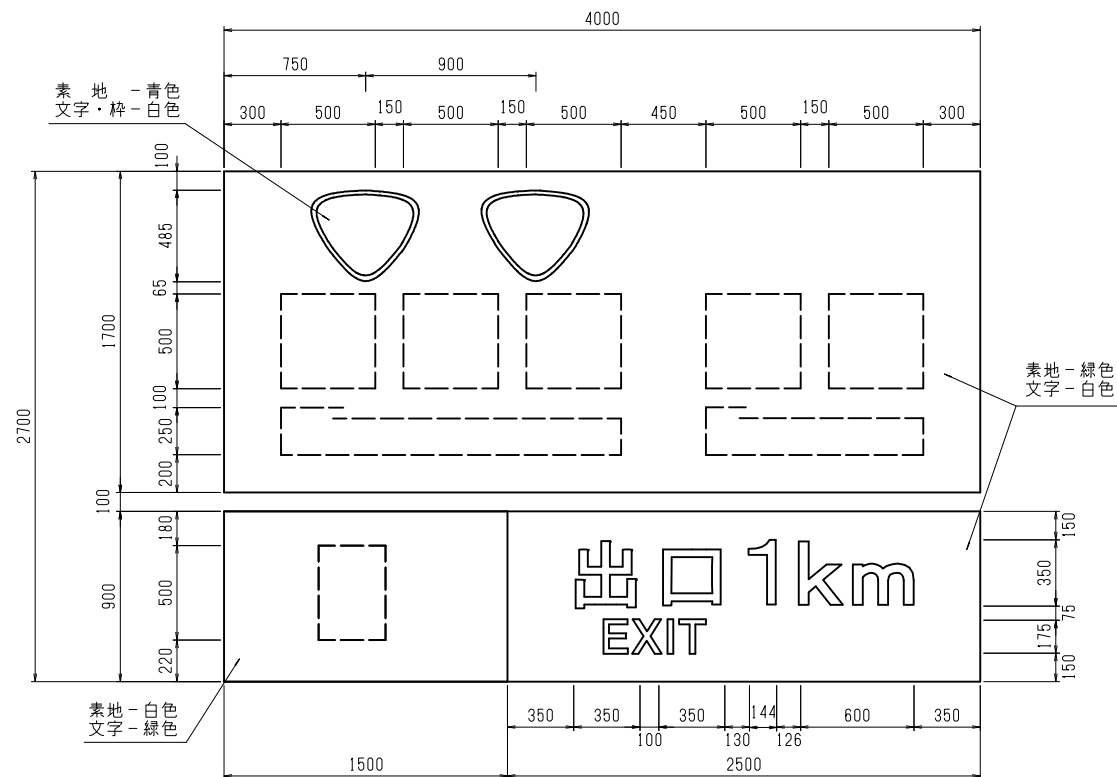


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2,0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナ08体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 06
----------------	------------	-----------	----------

方面及び出口の予告 110-A (5文字) 反射式標識

2.70m x 4.00m (1.70m x 4.00m + 0.90m x 4.00m)

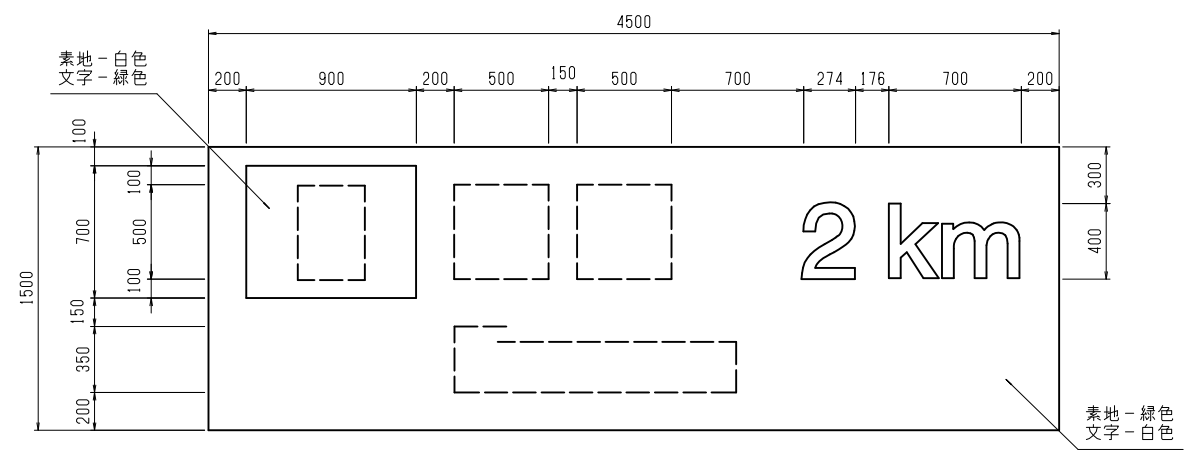


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミ $t=2.0\text{mm}$ とする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミI型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。



高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板-07
----------------	------------	-----------	--------

出口の予告 109 (2文字) 反射式標識  
1.50m×4.50m

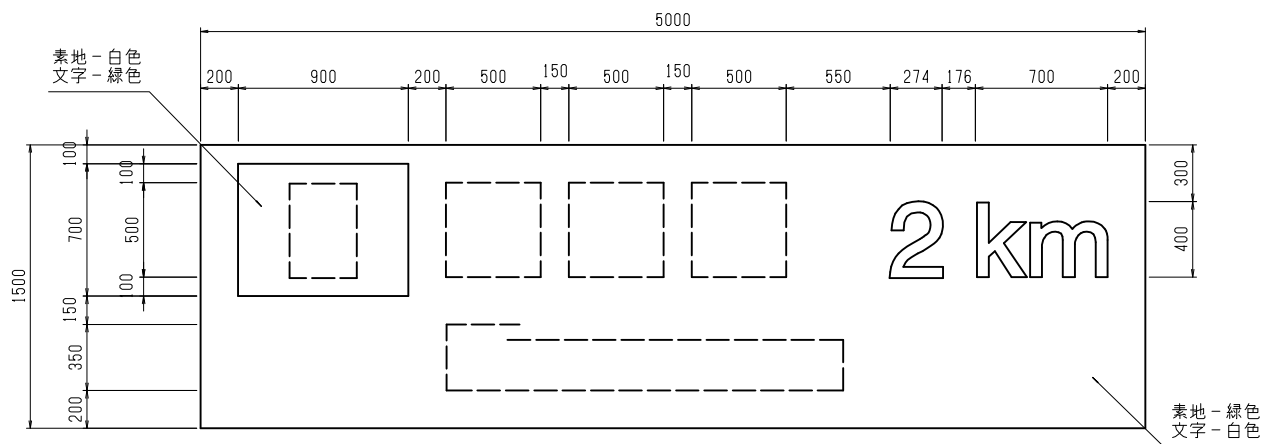


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 08
----------------	------------	-----------	----------

出口の予告 109 (3文字) 反射式標識

1.50m×5.0m

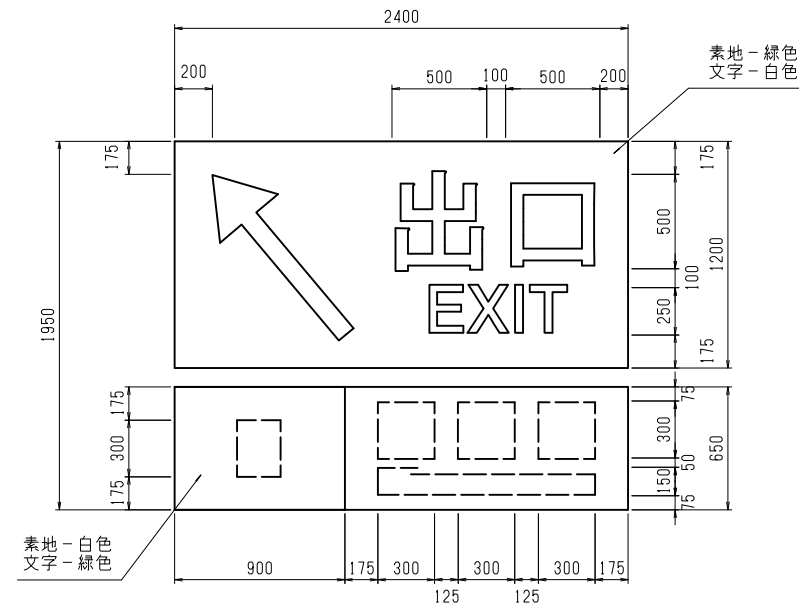
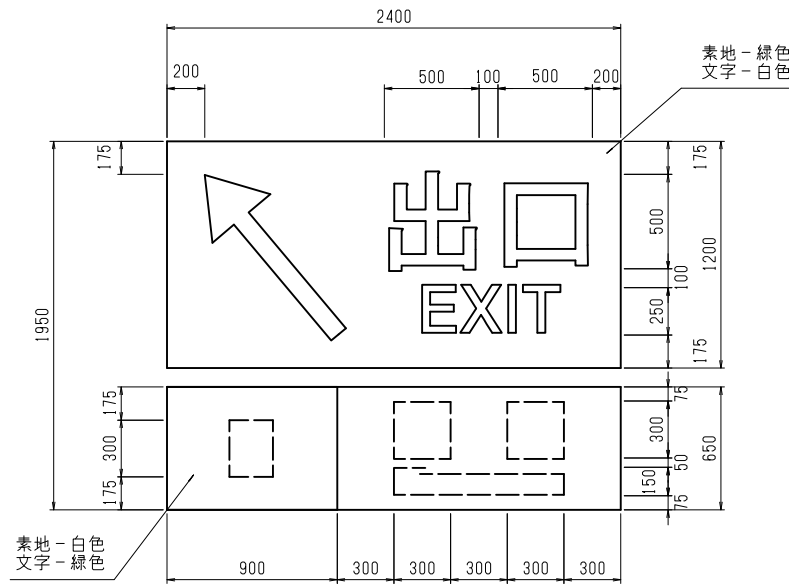


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 09
----------------	------------	-----------	----------

出口 113-A 反射式標識

1,95m × 2,40m (1,20m × 2,40m + 0,65m × 2,40m)

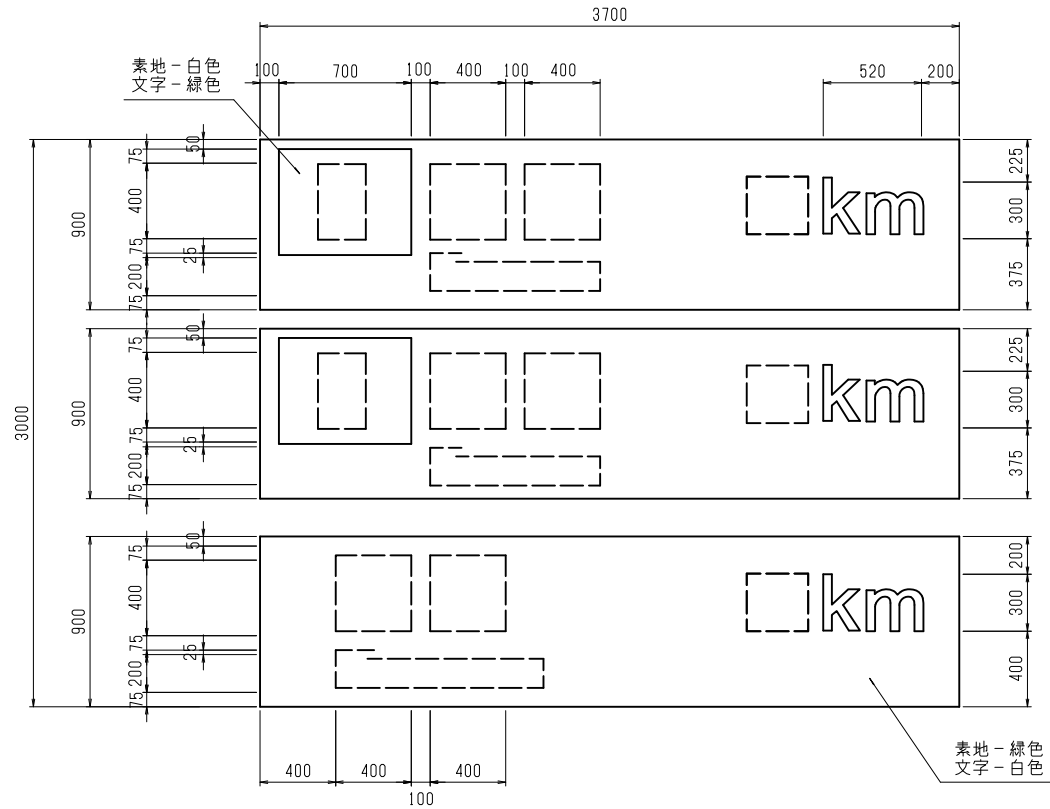


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミ $t=2,0\text{mm}$ とする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 10
----------------	------------	-----------	----------

方面及び距離 106 - B (2文字) 反射式標識

3.00m × 3.70m (0.90m × 3.70m × 3枚)

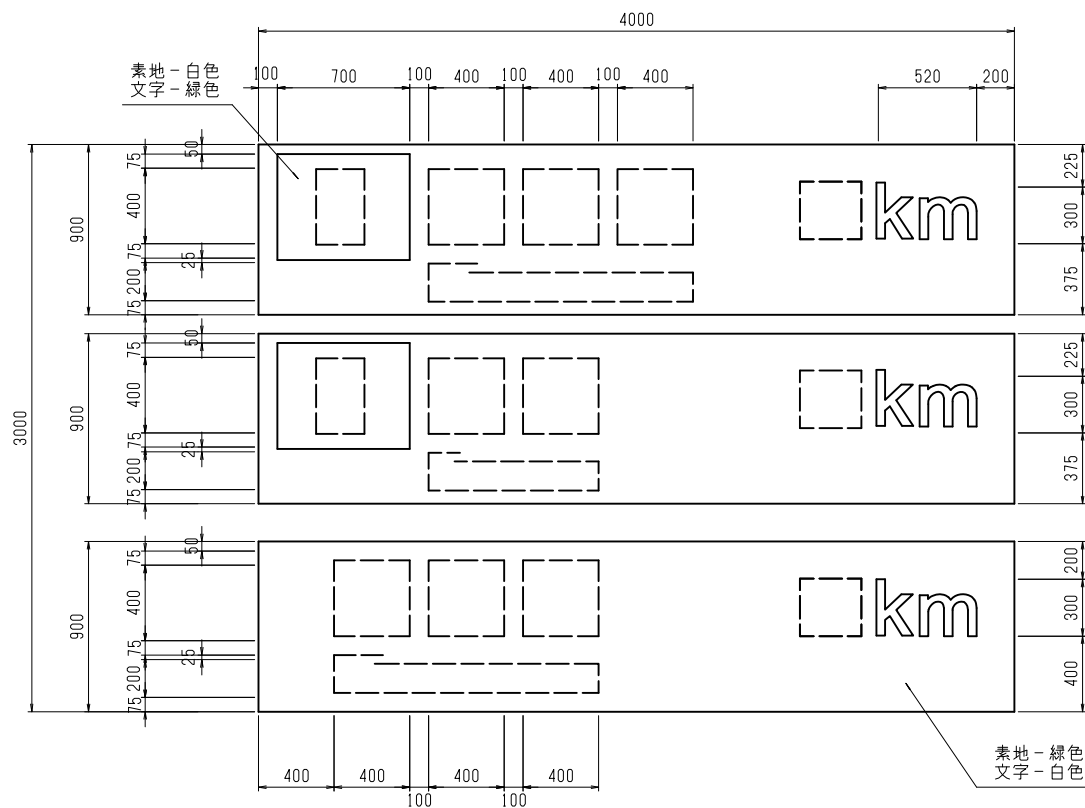


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミ t=2.0mm とする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミ T 型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 11
----------------	------------	-----------	----------

方面及び距離 106 - B (3文字) 反射式標識

3,00m x 4,00m (0,90m x 4,0m x 3枚)

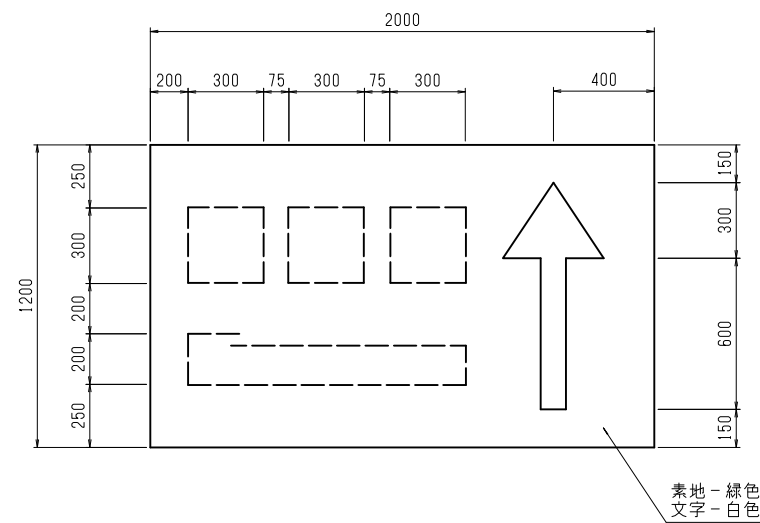
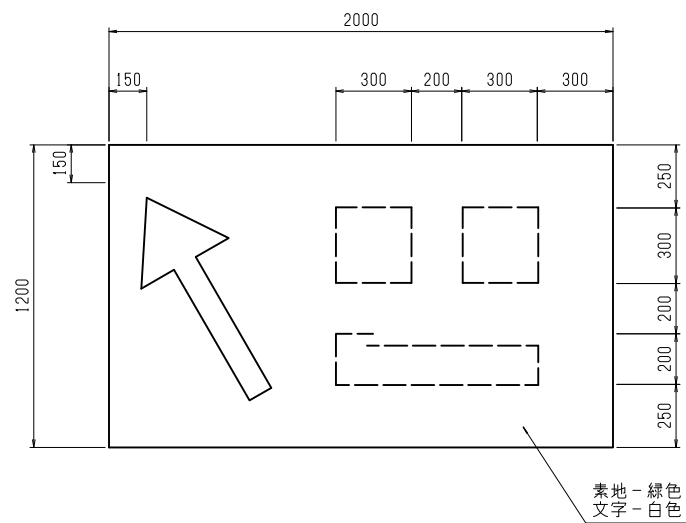


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2,0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 12
----------------	------------	-----------	----------

方面及び方向 108-2-E 反射式標識

1.20m × 2.00m

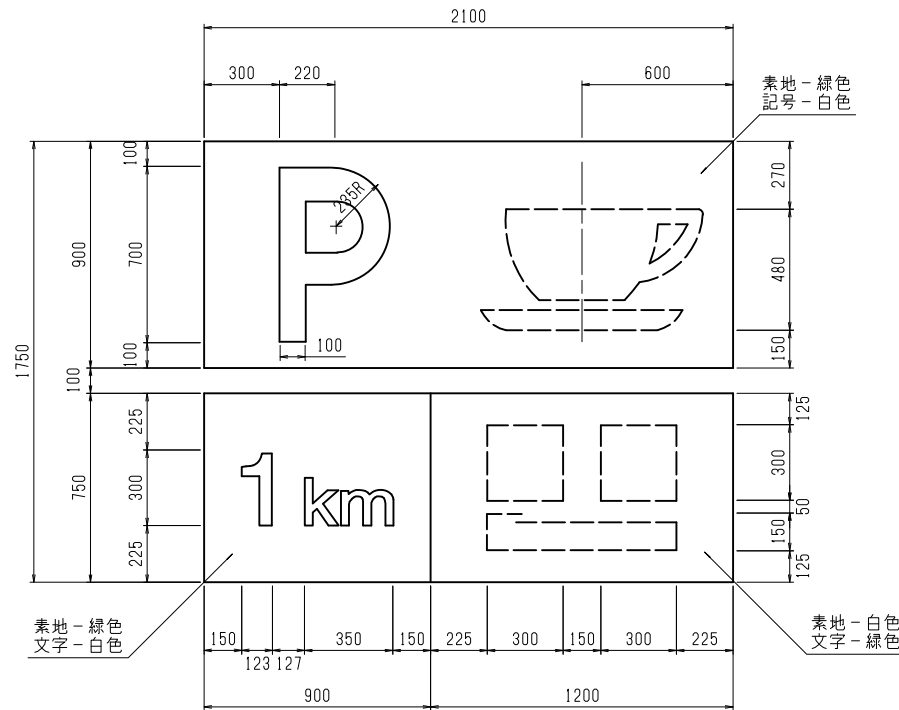


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 13
----------------	------------	-----------	----------

パーキング・エリア 116-A (2文字) 反射式標識

1.75m×2.10m (0.90m×2.10m・0.75m×2.10m)



- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(コナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路  
(自専道)

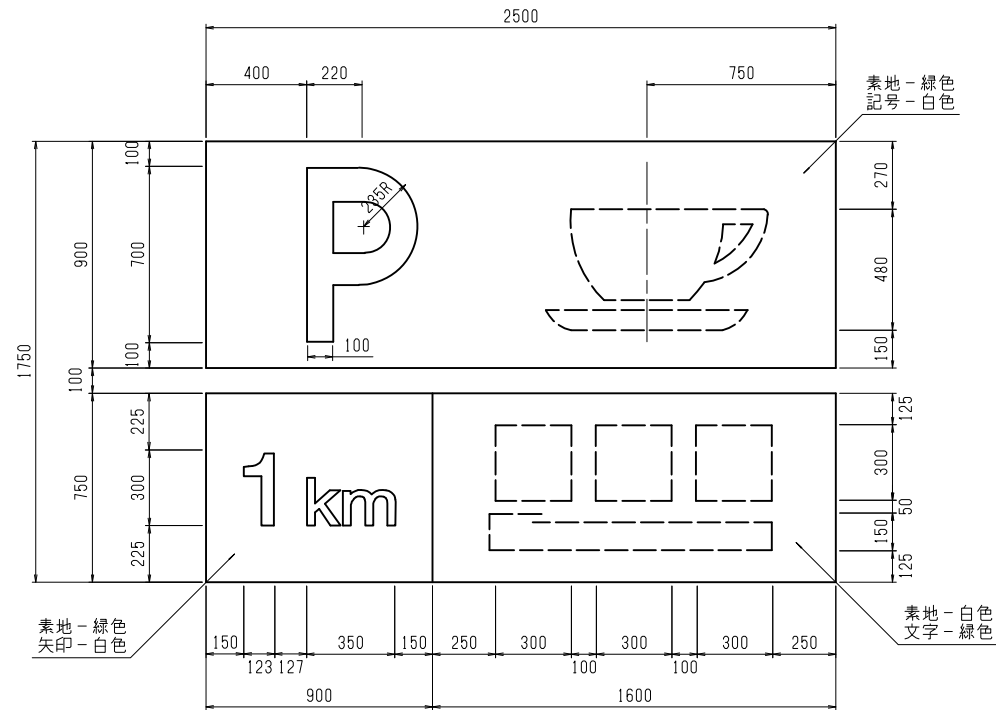
図面記号  
名称

標識板レイアウト図

標識板 - 14

パーキング・エリア 116-A (3文字) 反射式標識

1.75m × 2.50m (0.90m × 2.50m・0.75m × 2.50m)



- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(コナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。



高規格道路  
(自専道)

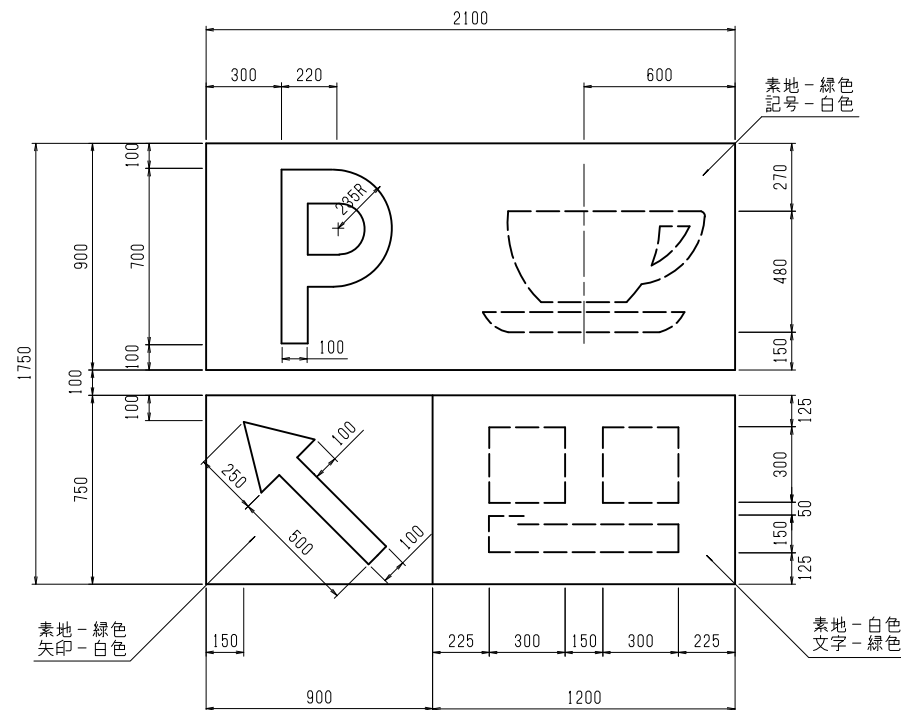
図面記号  
名称

標識板レイアウト図

標識板 - 15

パーキング・エリア 116-B (2文字) 反射式標識

1.75m × 2.10m (0.90m × 2.10m + 0.75m × 2.10m)

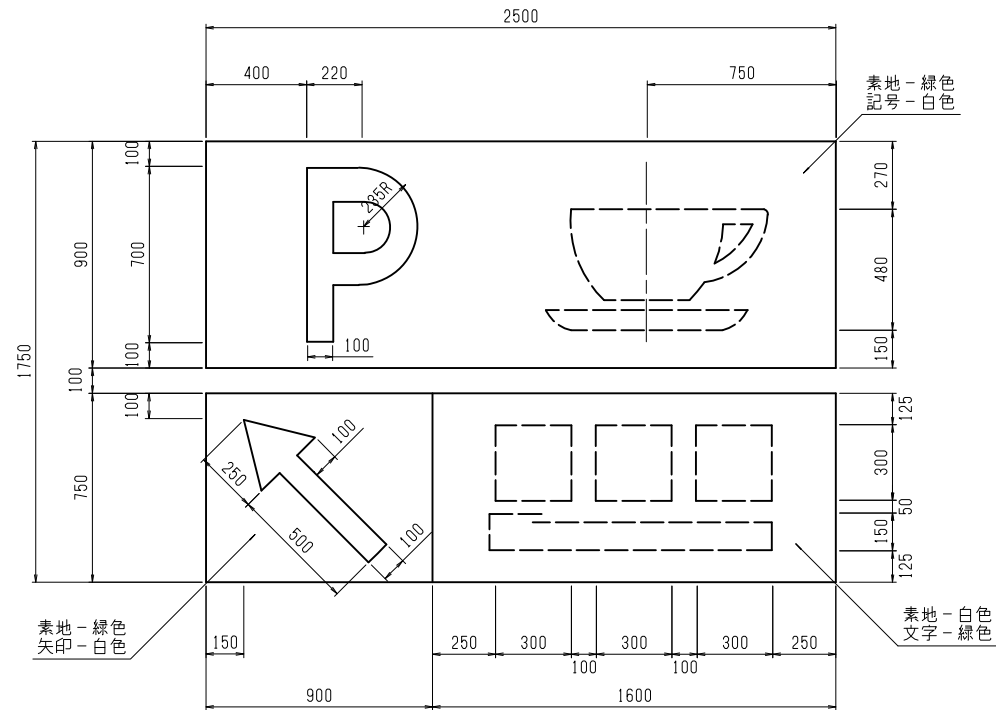


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミ $t=2.0$ mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(コナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 16
----------------	------------	-----------	----------

パーキング・エリア 116-B (3文字) 反射式標識

1.75m×2.50m (0.90m×2.50m+0.75m×2.50m)



- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(コナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

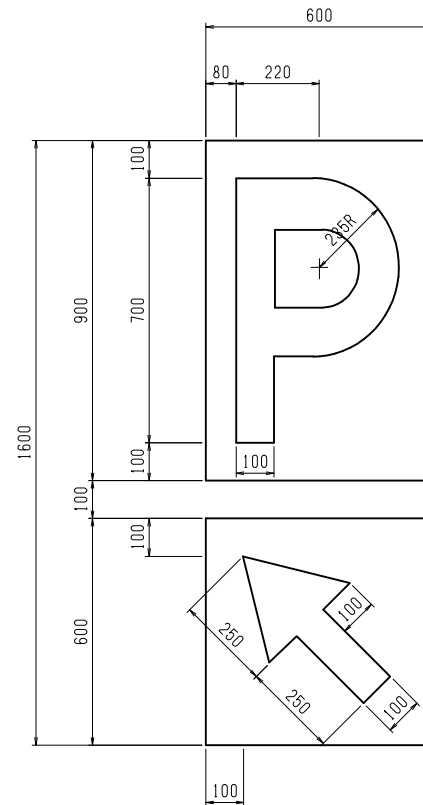
高規格道路  
(自専道)図面記号  
名称

標識板レイアウト図

標識板-17

## 駐車場 117-B 反射式標識

1.60m×0.60m (0.90m×0.60m+0.60m×0.60m)

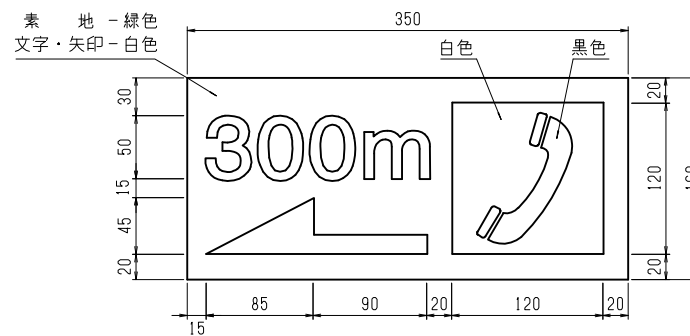
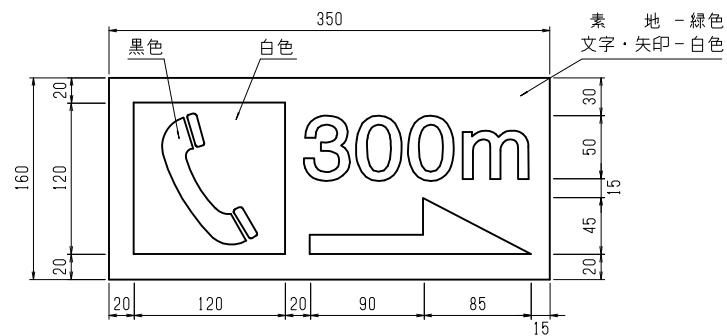


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミ $t=2.0\text{mm}$ とする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号	標識板レイアウト図	標識板 - 18
	名称		

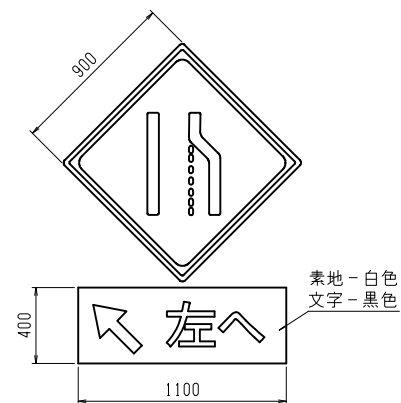
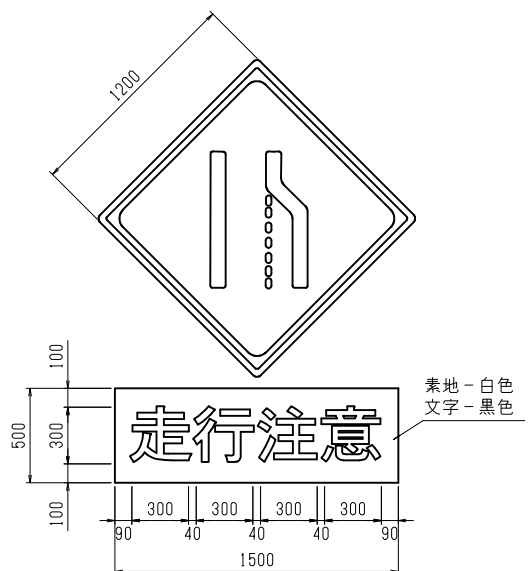
非常電話案内標示板 (反射式標識)

0.16m × 0.35m



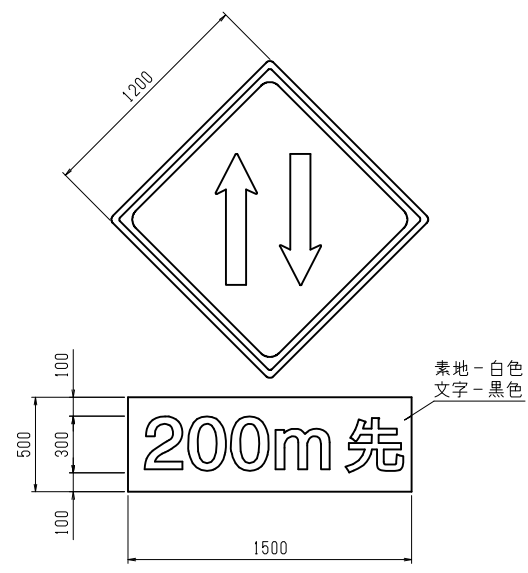
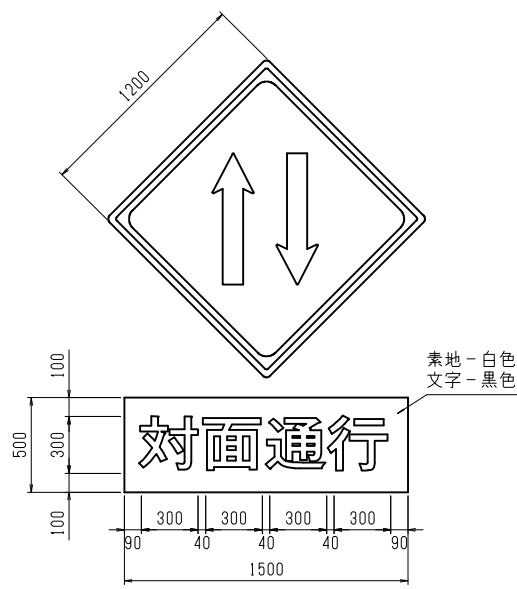
- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (5) 数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 19
----------------	------------	-----------	----------



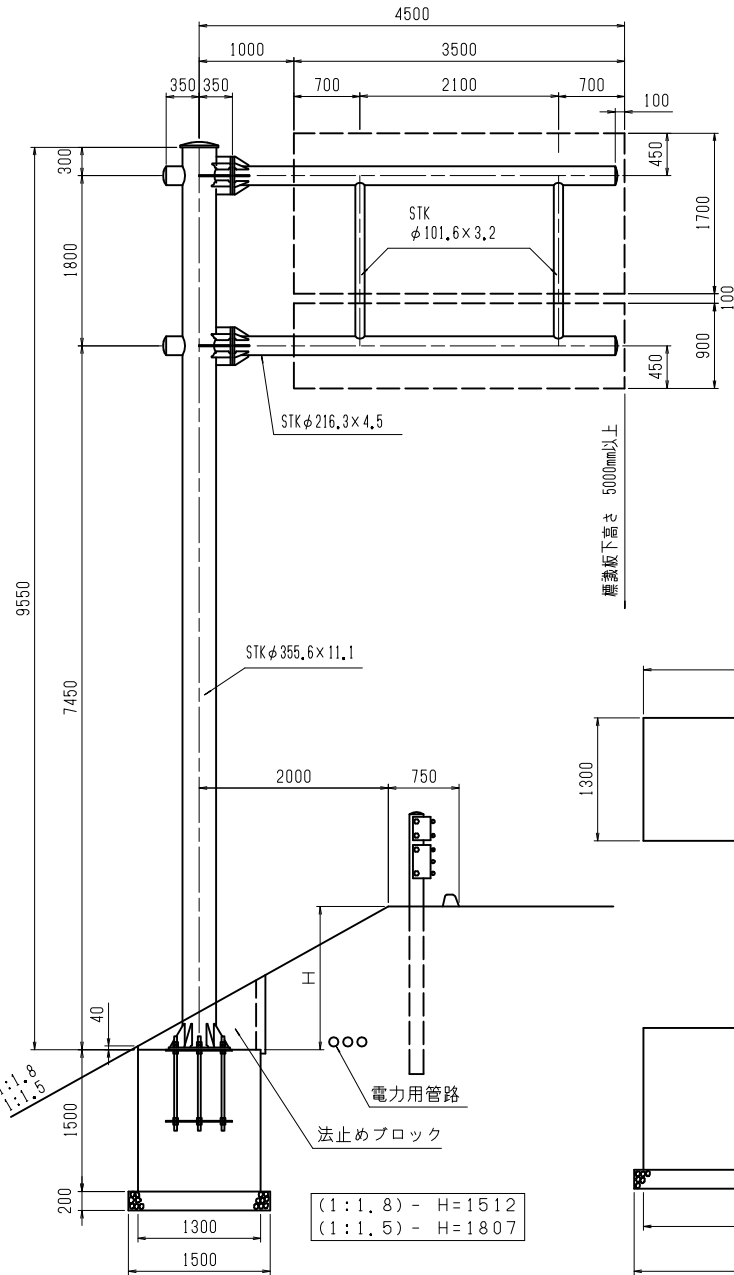
- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミ $t=2.0\text{mm}$ とする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号	標識板レイアウト図	標識板 - 20
	名称		

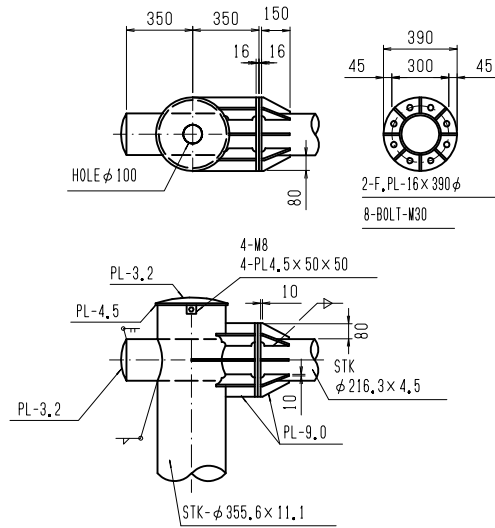


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

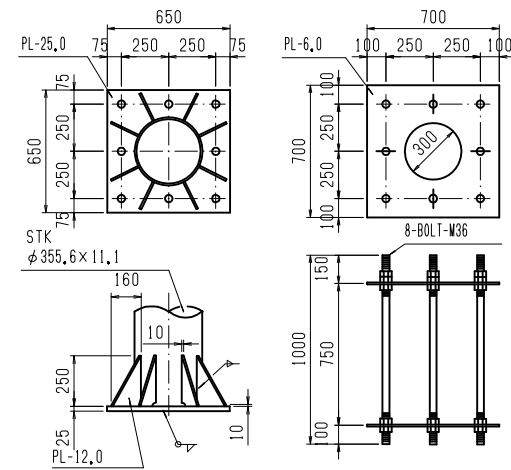
設置図 S=1/80



梁・柱の取合詳細図 S=1/40



柱脚部詳細図 S=1/40



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融垂鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融垂鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、遠方照明標識のため15°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -50m/sec (片持式 F型柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ355.6 × 11.1 × 9540	899.62	1	899.6
ベース	PL	25 × 650 × 650	82.92	1	82.9
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 395φ	3.08	1	3.1
キャップ	PL	4.5 × 380φ	4.01	1	4.0
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					1005.0
梁材	STK	φ216.3 × 4.5 × 4040	94.94	2	189.9
梁材	STK	φ216.3 × 4.5 × 690	16.22	2	32.4
ラチス材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1609	12.49	2	25.0
フランジ	PL	16 × 390φ	15.00	4	60.0
フランジリブ	PL	9 × 150 × 80 × 1/2	0.42	16	6.7
フランジリブ	PL	9 × 245 × 80	1.38	8	11.0
フランジリブ	PL	9 × 334 × 80	1.89	4	7.6
フランジリブ	PL	9 × 156 × 80	0.88	4	3.5
キャップ	PL	3.2 × 240φ	1.14	4	4.6
小計 (2)					340.7
フランジボルト	W30	L=95 (W.N)	1.275	16	20.400
キャップボルト	W8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					20.452
標準柱合計 (1) + (2) + (3)					1366.2
アンカーボルト	W36	× 1000	8.88	8	71.0
アンカー PL	6	× 700 × 700	19.75	2	39.5
アンカー合計					110.5
総合計					1476.7

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

高規格道路  
(自専道)

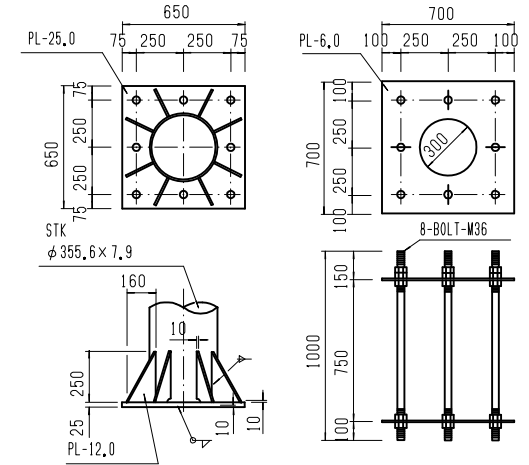
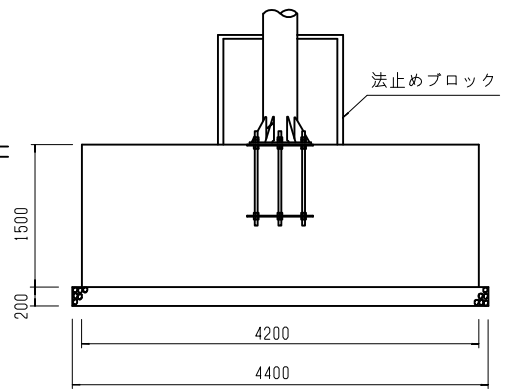
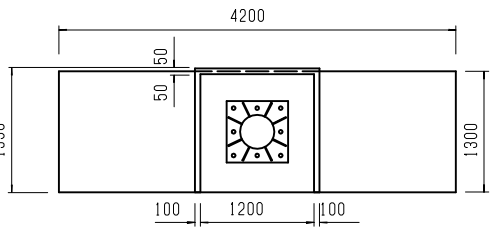
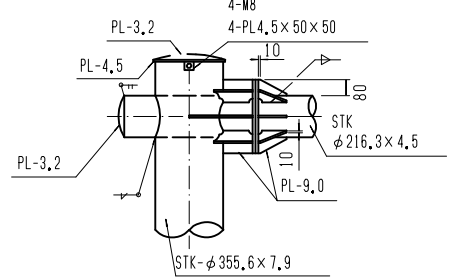
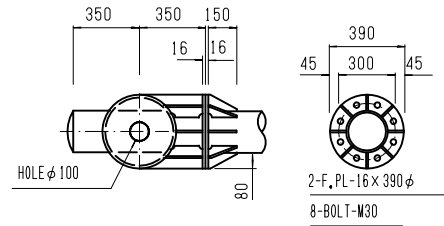
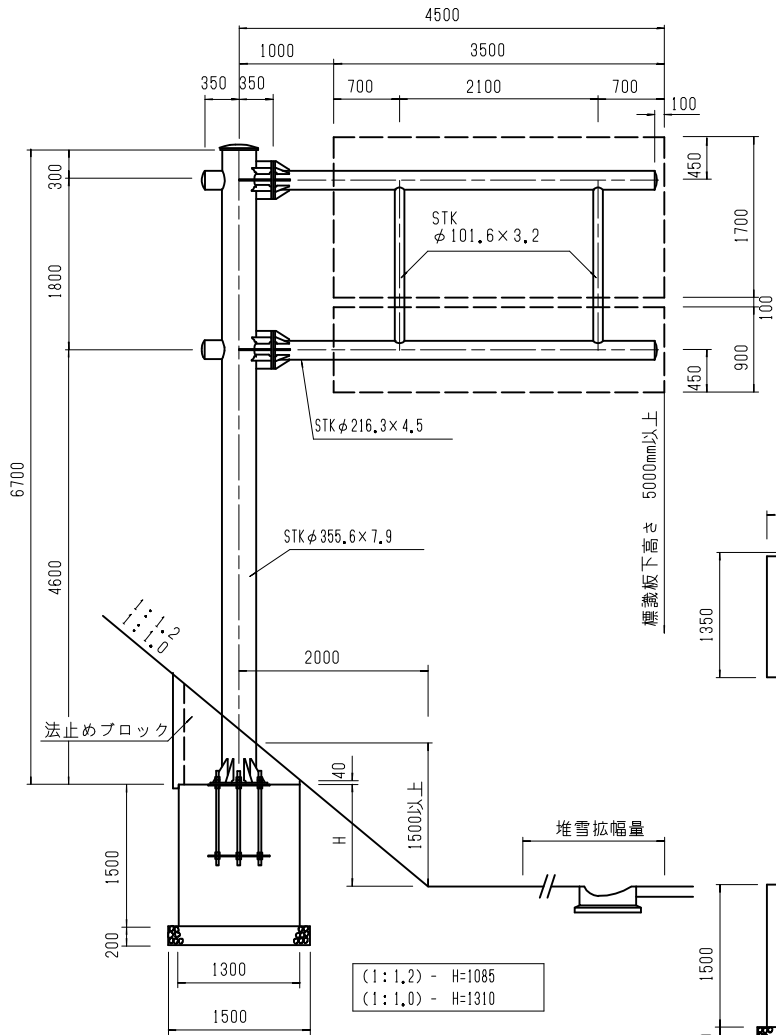
図面記号  
名称

支柱詳細図 F型柱-02

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/40

柱脚部詳細図 S=1/40



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種H0Z35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、遠方照明標識のため15°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)  
 \* 設計風速-50m/sec (片持式 F型柱)とする。  
 \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>  
 \* 土の内摩擦角 25~35°  
 \* 標準貫入試験値 10~30

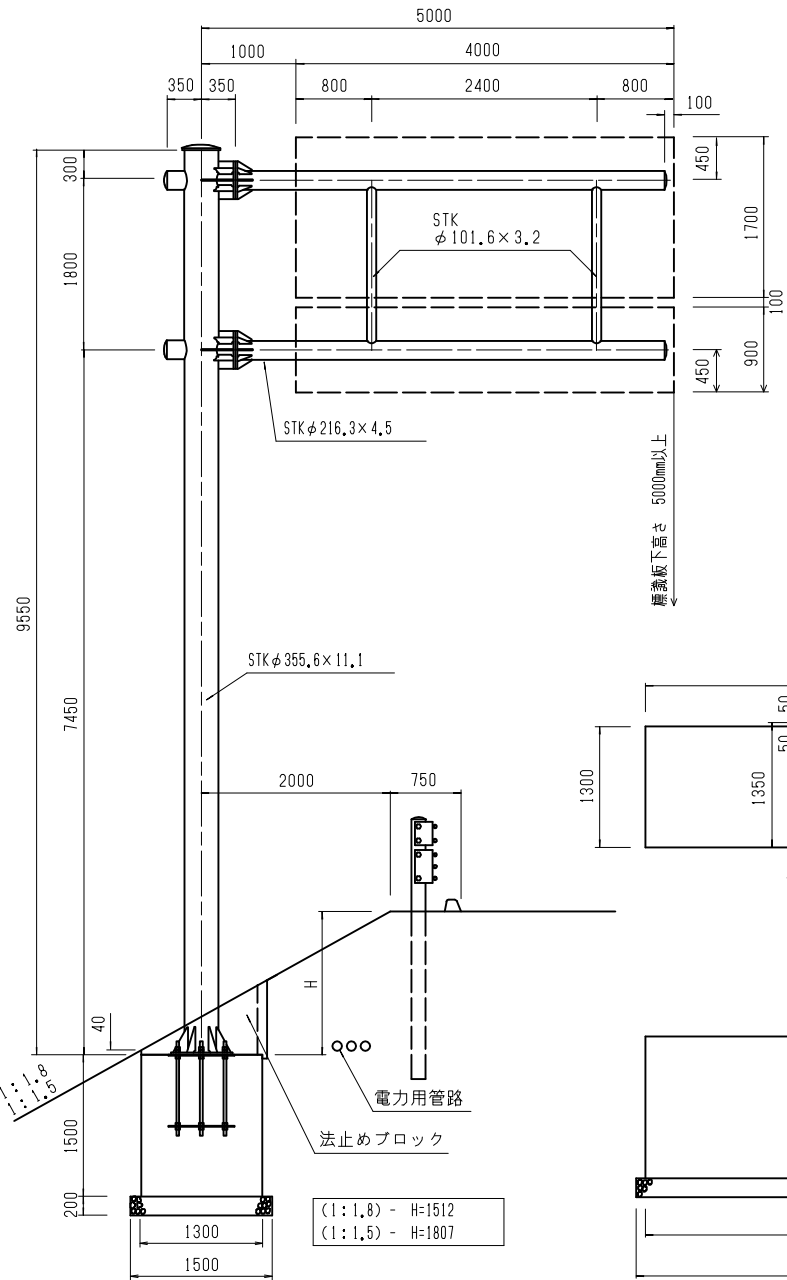
名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ355.6 × 7.9 × 6690	452.91	1	452.9
ベース	PL	25 × 650 × 650	82.92	1	82.9
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 395φ	3.08	1	3.1
キャップ	PL	4.5 × 380φ	4.01	1	4.0
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					
梁材	STK	φ216.3 × 4.5 × 4040	94.94	2	189.9
梁材	STK	φ216.3 × 4.5 × 690	16.22	2	32.4
ラチス材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1609	12.49	2	25.0
フランジ	PL	16 × 390φ	15.00	4	60.0
フランジリブ	PL	9 × 150 × 80 × 1/2	0.42	16	6.7
フランジリブ	PL	9 × 245 × 80	1.38	8	11.0
フランジリブ	PL	9 × 334 × 80	1.89	4	7.6
フランジリブ	PL	9 × 156 × 80	0.88	4	3.5
キャップ	PL	3.2 × 240φ	1.14	4	4.6
小計 (2)					
フランジボルト	M30	L=95 (■, N)	1.275	16	20.400
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					
アンカーボルト	M36	× 1000	8.88	8	71.0
アンカー PL		6 × 700 × 700	19.75	2	39.5
アンカー合計					
標識柱合計 (1) + (2) + (3) + アンカー合計					
クラップ型ブラケット 4個					
総合計					

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

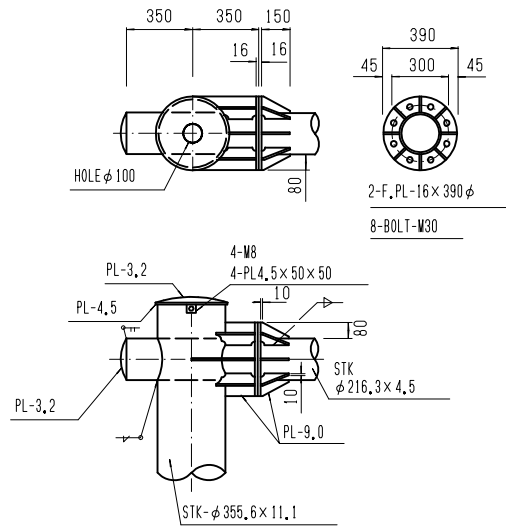
標識板取付金具  
クラップ型ブラケット 4個



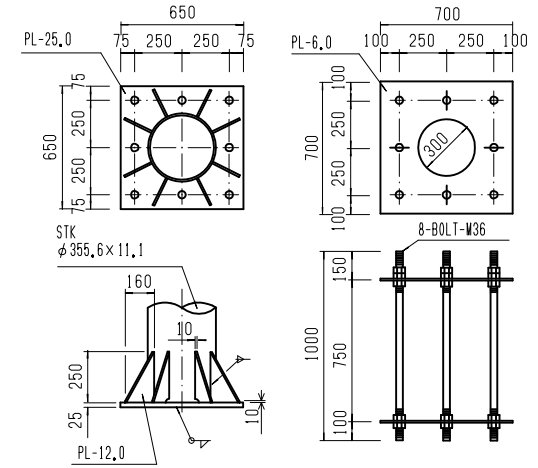
設置図 S=1/80



梁・柱の取合詳細図 S=1/40



柱脚部詳細図 S=1/40



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、遠方照明標識のため15°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-50m/sec (片持式 F型柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	$\phi 355.6 \times 11.1 \times 9540$	899.62	1	899.6
ベース	PL	25 $\times$ 650 $\times$ 650	82.92	1	82.9
ベースリブ	PL	12 $\times$ 250 $\times$ 160 $\times$ 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 $\times$ 395 $\phi$	3.08	1	3.1
キャップ	PL	4.5 $\times$ 380 $\phi$	4.01	1	4.0
キャップ	PL	4.5 $\times$ 50 $\times$ 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					1005.0
梁 材	STK	$\phi 216.3 \times 4.5 \times 4540$	106.69	2	213.4
梁 材	STK	$\phi 216.3 \times 4.5 \times 690$	16.22	2	32.4
ラチス材	STK	$\phi 101.6 \times 3.2 \times 1609$	12.49	2	25.0
フランジ	PL	16 $\times$ 390 $\phi$	15.00	4	60.0
フランジリブ	PL	9 $\times$ 150 $\times$ 80 $\times$ 1/2	0.42	16	6.7
フランジリブ	PL	9 $\times$ 245 $\times$ 80	1.38	8	11.0
フランジリブ	PL	9 $\times$ 334 $\times$ 80	1.89	4	7.6
フランジリブ	PL	9 $\times$ 156 $\times$ 80	0.88	4	3.5
キャップ	PL	3.2 $\times$ 240 $\phi$	1.14	4	4.6
小計 (2)					364.2
フランジボルト	M30	L=95 (■, N)	1.275	16	20.400
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					20.452
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					1389.7
アンカーボルト	M36	$\times$ 1000	8.88	8	71.0
アンカー PL		6 $\times$ 700 $\times$ 700	19.75	2	39.5
アンカー合計					110.5
総合計					1500.2

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 4 個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

高規格道路  
(自専道)

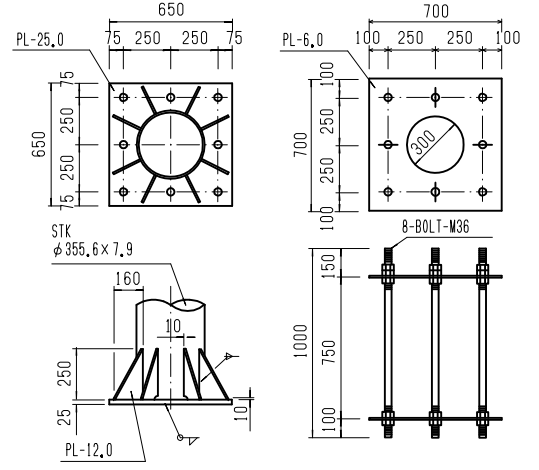
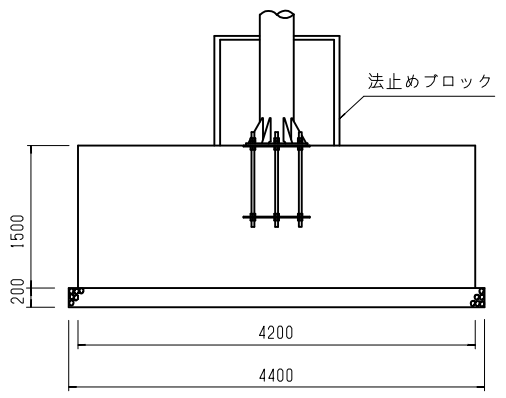
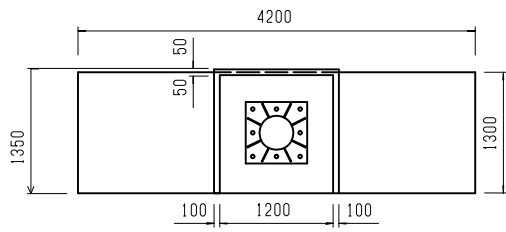
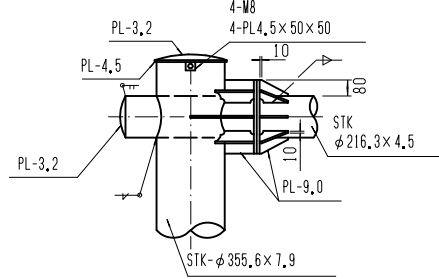
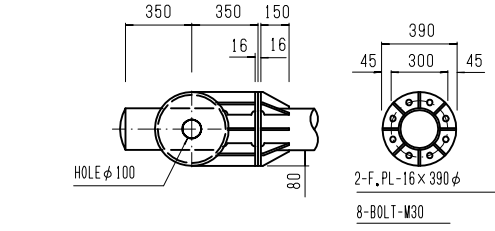
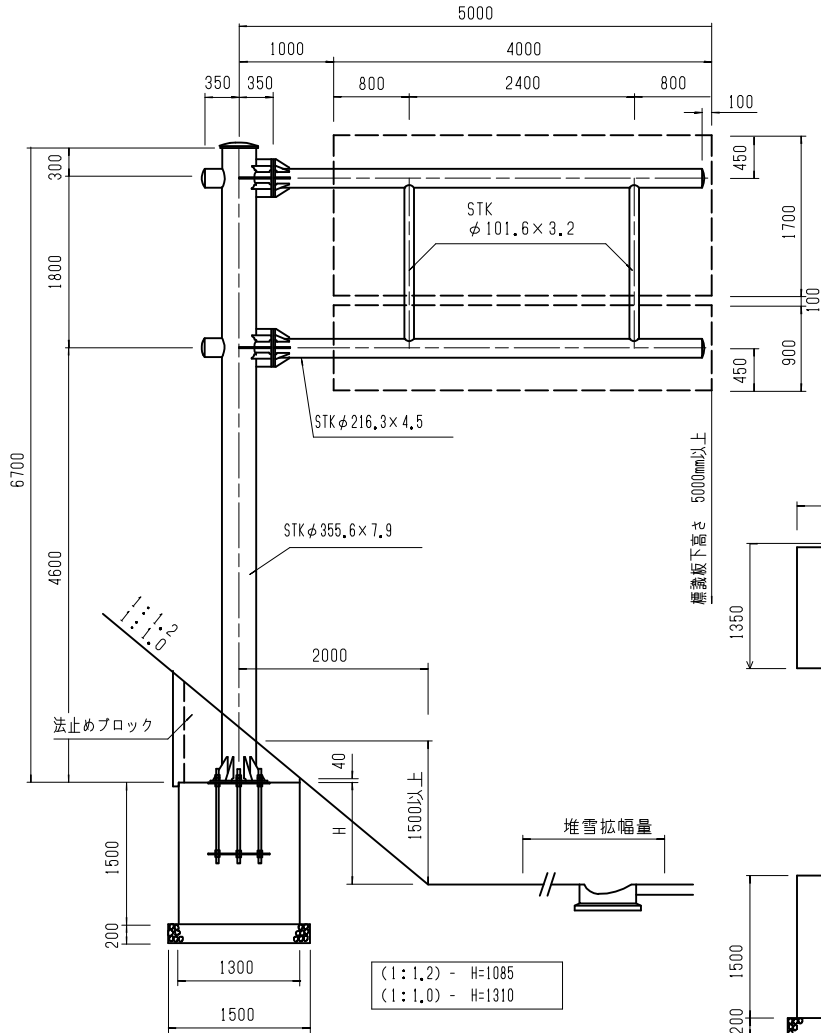
図面記号  
名称

支柱詳細図 F型柱 - 04

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/40

柱脚部詳細図 S=1/40



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、遠方照明標識のため15°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-50m/sec (片持式 F型柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	$\phi 355.6 \times 7.9 \times 690$	452.91	1	452.9
ベース	PL	25 $\times 650 \times 650$	82.92	1	82.9
ベースリブ	PL	12 $\times 250 \times 160 \times 1/2$	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 $\times 395 \phi$	3.08	1	3.1
キャップ	PL	4.5 $\times 380 \phi$	4.01	1	4.0
キャップ	PL	4.5 $\times 50 \times 50$	0.09	4	0.4
小計 (1)					
			106.69	2	213.4
梁材	STK	$\phi 216.3 \times 4.5 \times 450$	16.22	2	32.4
ラチス材	STK	$\phi 101.6 \times 3.2 \times 1609$	12.49	2	25.0
フランジ	PL	16 $\times 390 \phi$	15.00	4	60.0
フランジリブ	PL	9 $\times 150 \times 80 \times 1/2$	0.42	16	6.7
フランジリブ	PL	9 $\times 245 \times 80$	1.38	8	11.0
フランジリブ	PL	9 $\times 334 \times 80$	1.89	4	7.6
フランジリブ	PL	9 $\times 156 \times 80$	0.88	4	3.5
キャップ	PL	3.2 $\times 240 \phi$	1.14	4	4.6
小計 (2)					
			1.275	16	20.400
フランジボルト	M30	L=95 (N)	0.013	4	0.052
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)			
小計 (3)					
					20.452
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					
					943.0
アンカーボルト	M36	$\times 1000$	8.88	8	71.0
アンカー PL	6	$\times 700 \times 700$	19.75	2	39.5
アンカー合計					
					110.5
総合計					
					1053.5

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

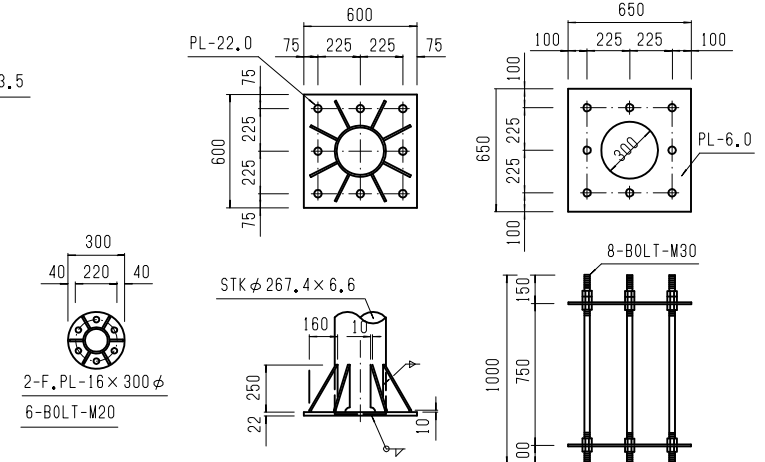
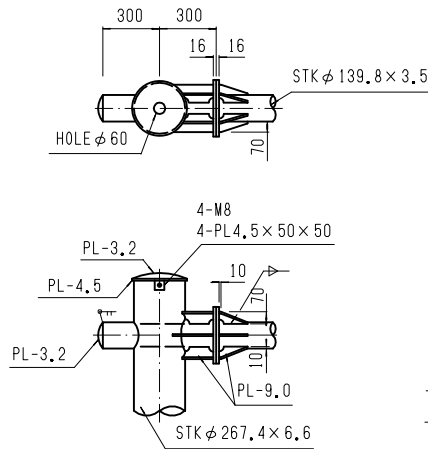
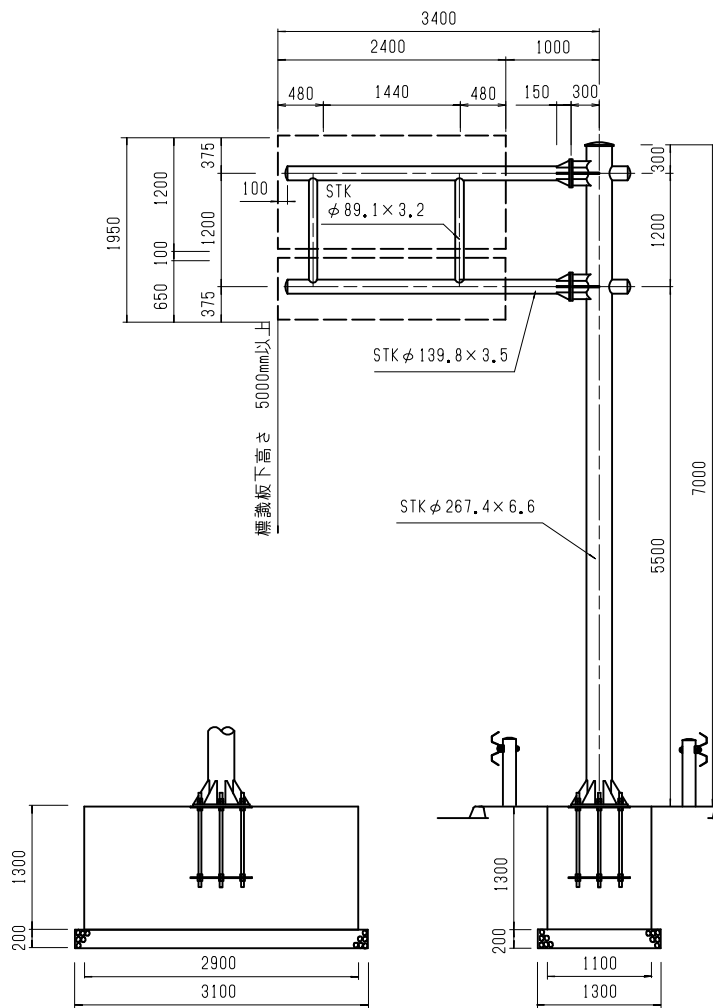
クランプ型ブラケット 4個

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 F型柱 - 05
----------------	------------	-------------------

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/40

柱脚部詳細図 S=1/40



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、型鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -50m/sec (片持式 F型柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 6990	296.38	1	296.4
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					
梁材	STK	φ139.8 × 3.5 × 2990	35.28	2	70.6
梁材	STK	φ139.8 × 3.5 × 590	6.96	2	13.9
ラチス材	STK	φ89.1 × 3.2 × 1092	7.40	2	14.8
フランジ	PL	16 × 300φ	8.88	4	35.5
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	12	4.4
フランジリブ	PL	9 × 217 × 70	1.07	8	8.6
フランジリブ	PL	9 × 284 × 70	1.40	4	5.6
キャップ	PL	3.2 × 150φ	0.44	4	1.8
小計 (2)					
フランジボルト	M20	L=75 (W, N)	0.394	12	4.728
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					
標識柱 合計 (1) + (2) + (3)					
アンカーボルト	M30	× 1000	6.07	8	48.6
アンカー PL	6	× 650 × 650	16.57	2	33.1
アンカー 合計					
総合計					

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

標識板取付金具

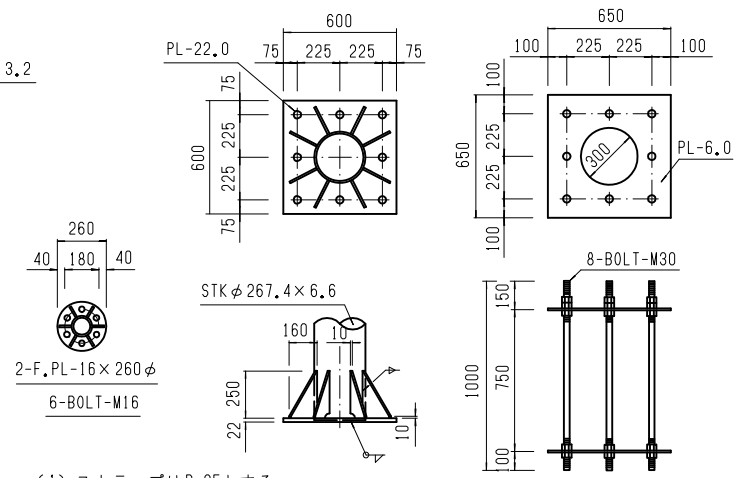
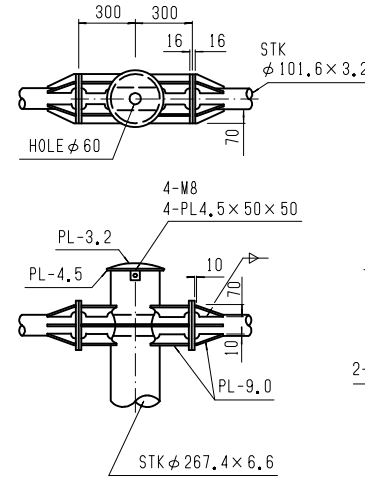
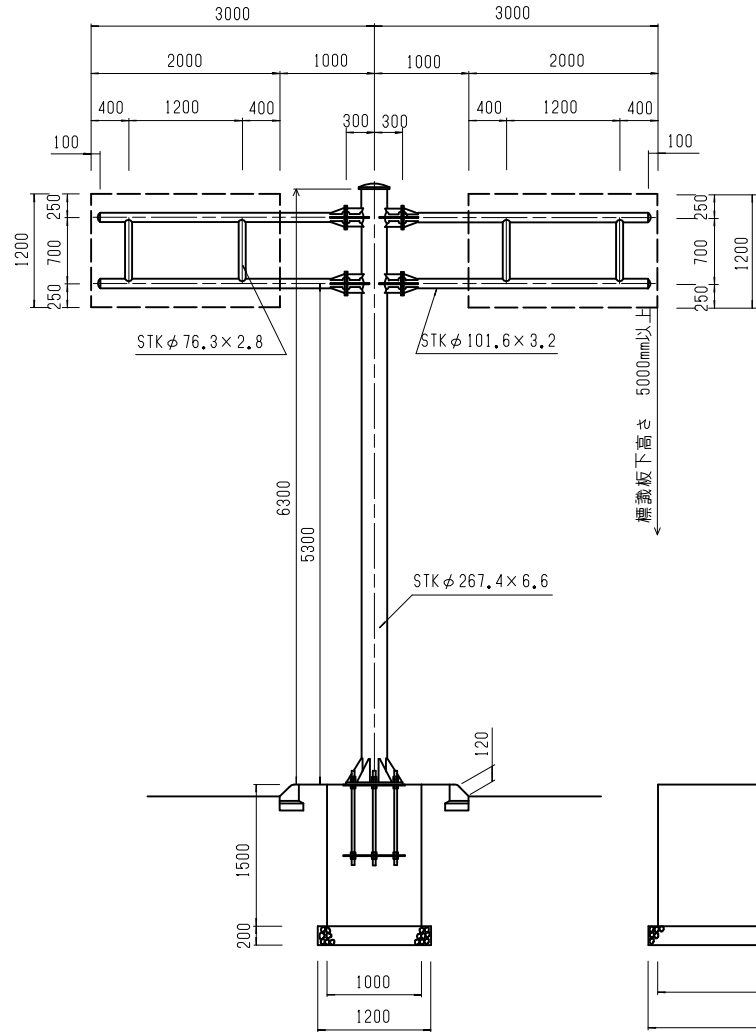
クランプ型ブラケット 4 個

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 T型柱-01
----------------	------------	-----------------

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/40

柱脚部詳細図 S=1/40



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、型钢、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-50m/sec (片持式 F型柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

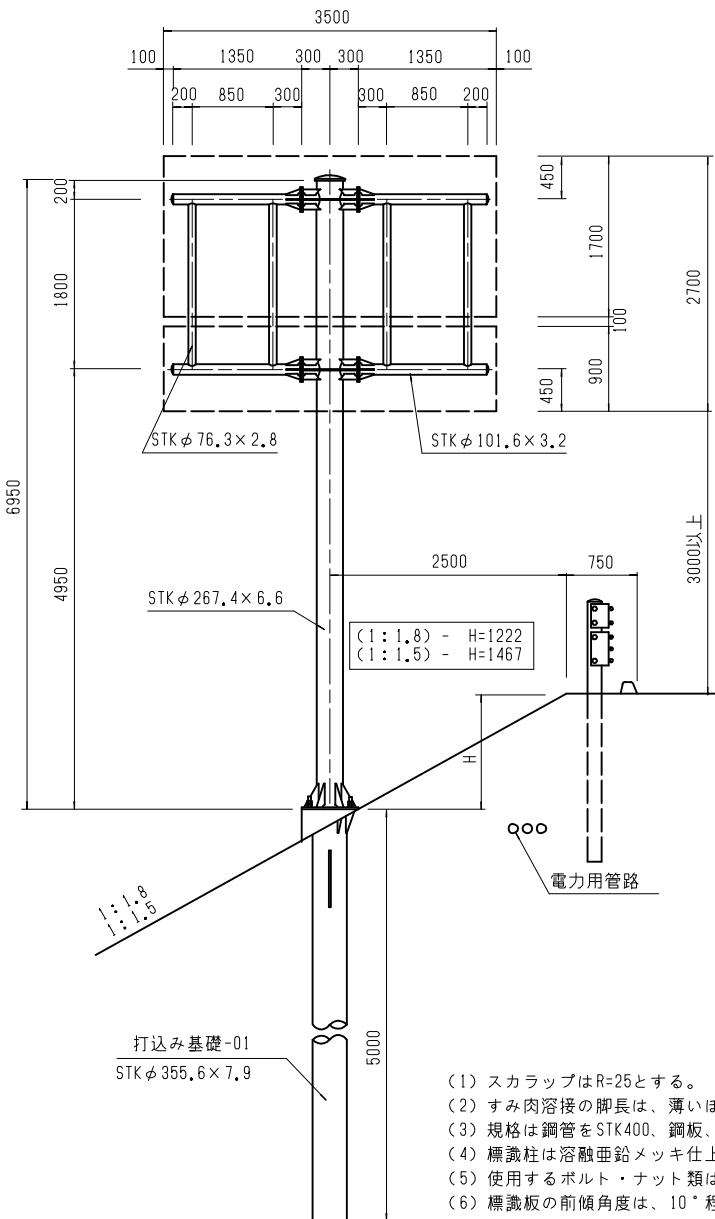
名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 6290	266.70	1	266.7
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					
小計 (1)					348.4
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 2590	20.20	4	80.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ 76.3 × 2.8 × 636	3.23	4	12.9
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					
小計 (2)					195.5
フランジボルト	M16	L=70 (W.N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					
アンカーボルト	M30	× 1000	6.07	8	48.6
アンカー PL	6	× 650 × 650	16.57	2	33.1
アンカー合計					
アンカー合計					81.7
総合計					
総合計					631.1

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 8個  
\* 左右2枚取り付け 2枚×4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

盛土 - 標識板下高さ3000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 3.0mに適用)

設置図 S=1/80

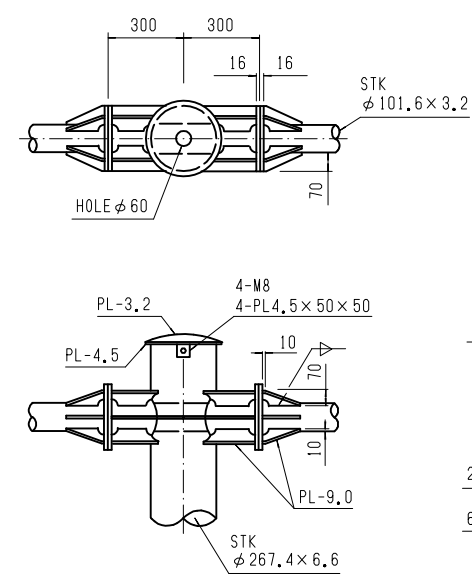


高規格道路  
(自専道)

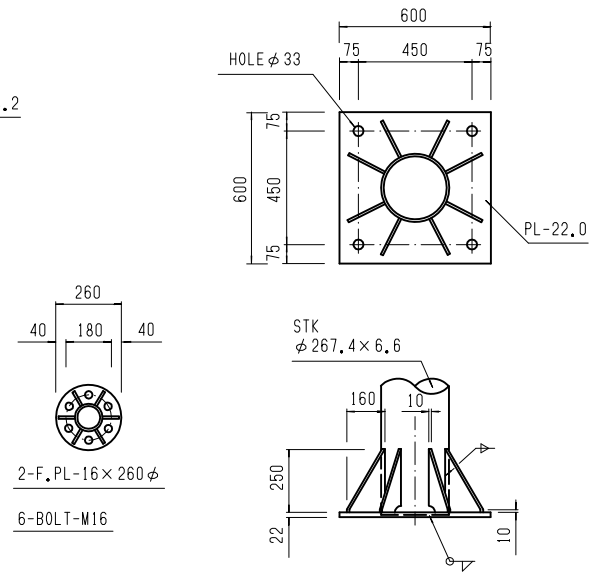
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱-01

梁・柱の取合詳細図 S=1/30



柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)  
 \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。  
 \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>  
 \* 土の内部摩擦角 25~35°  
 \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 6940	294.26	1	294.3
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					376.0
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1340	10.45	4	41.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					178.9
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					560.4

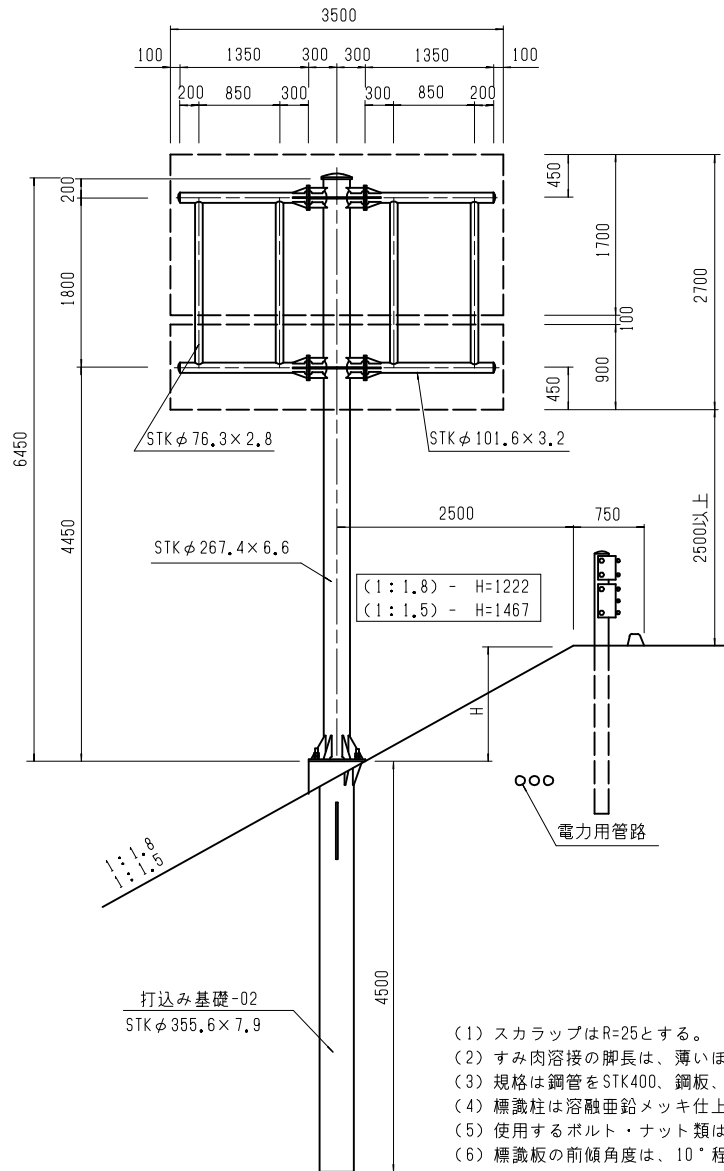
- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種H0Z35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

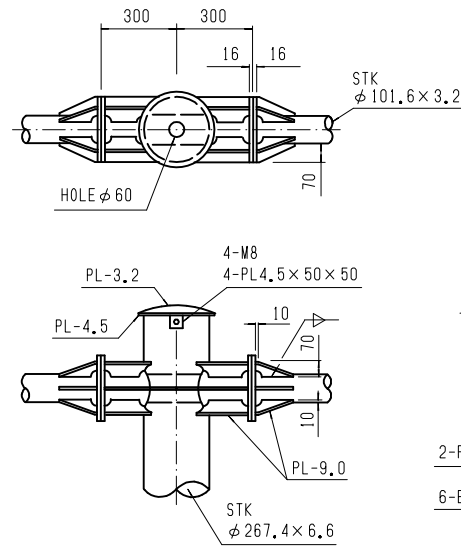
\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。  
 \* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

盛土 - 標識板下高さ2500mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5mに適用)

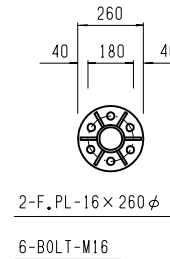
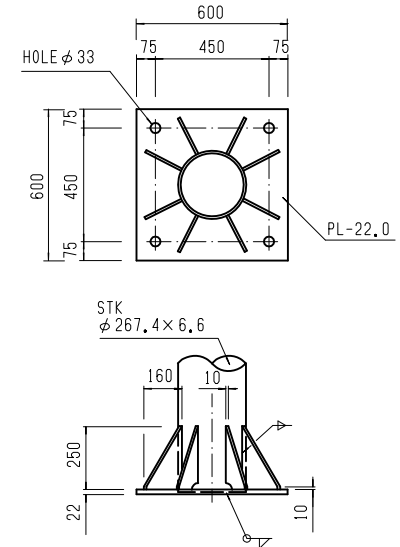
設置図 S=1/80



梁・柱の取合詳細図 S=1/30



柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 6440	273.06	1	273.1
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					354.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1340	10.45	4	41.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					178.9
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					539.2

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融垂鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融垂鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クランプ型プラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

切土 - 標識板下高さ 2000 mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 2.0m に適用)

高規格道路  
(自専道)

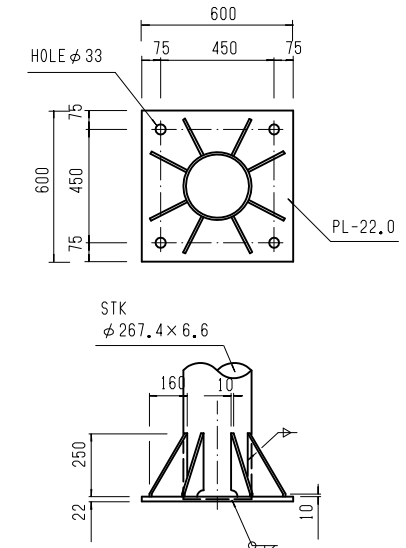
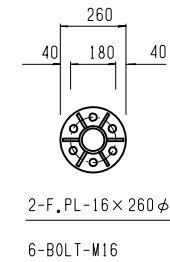
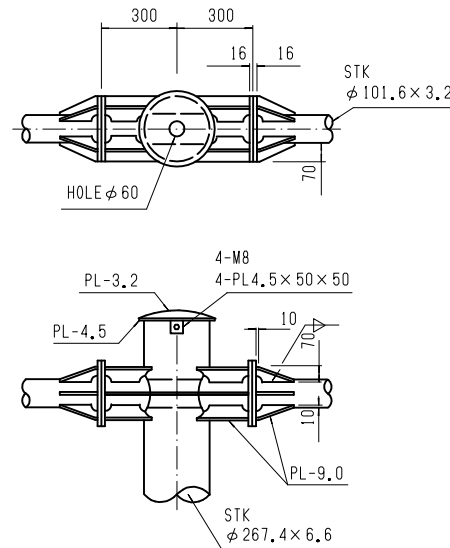
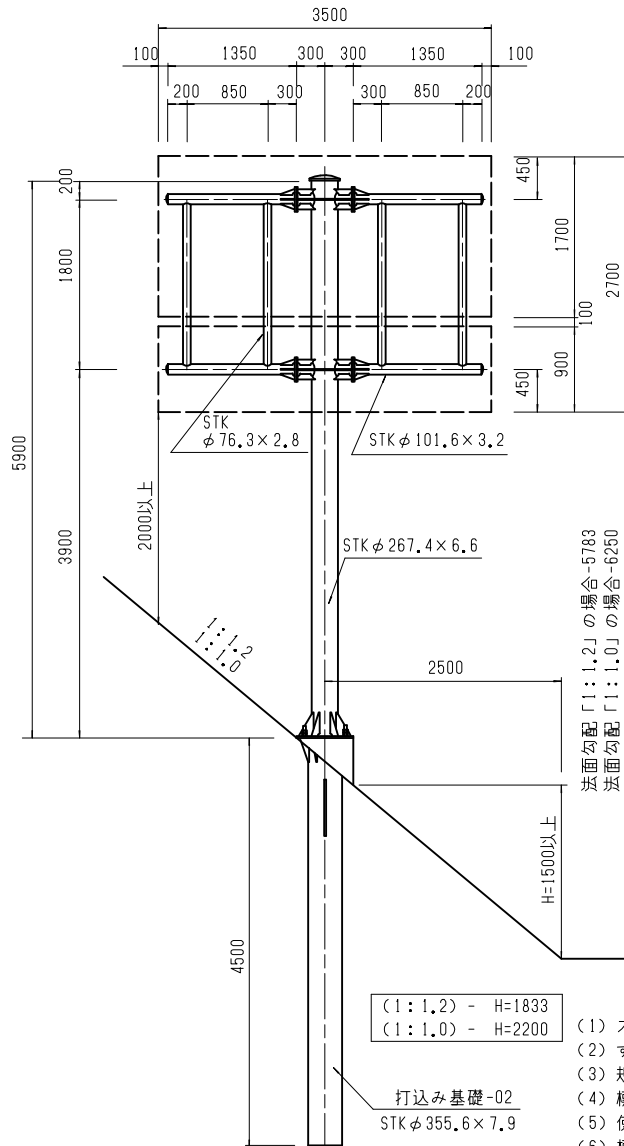
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 03

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種H0Z35以上とする。 標識板取付金具
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

クランプ型ブラケット 4 個

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 5890	249.74	1	249.7
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1340	10.45	4	41.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					
フランジボルト	M16	L=70 (W. N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					
					515.8

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

高規格道路  
(自専道)  
図面記号  
名称

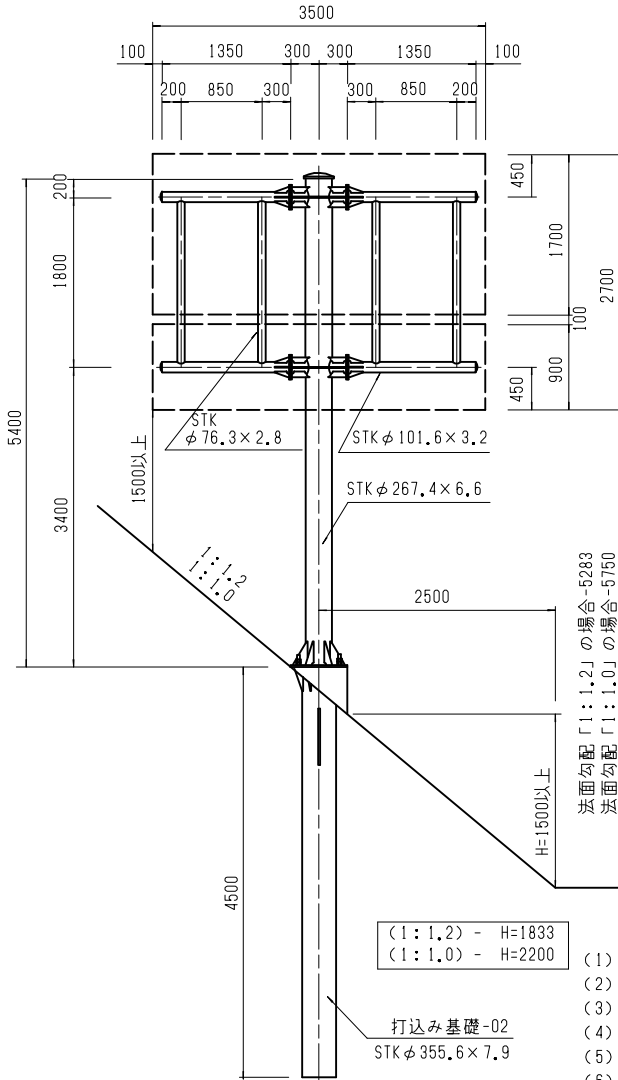
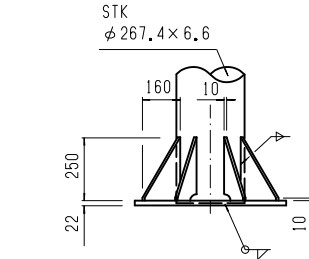
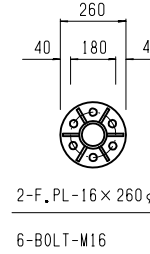
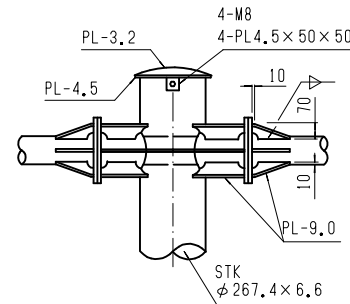
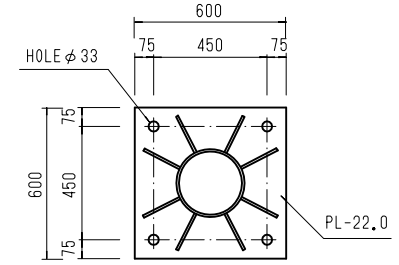
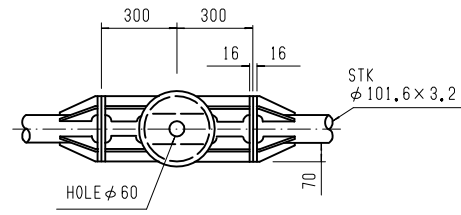
支柱詳細図  
路側柱 - 04

切土 - 標識板下高さ1500mm  
(0m ≦ 積雪深 ≦ 1.5mに適用)

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 5390	228.54	1	228.5
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					310.2
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1340	10.46	4	41.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					178.9
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					494.6

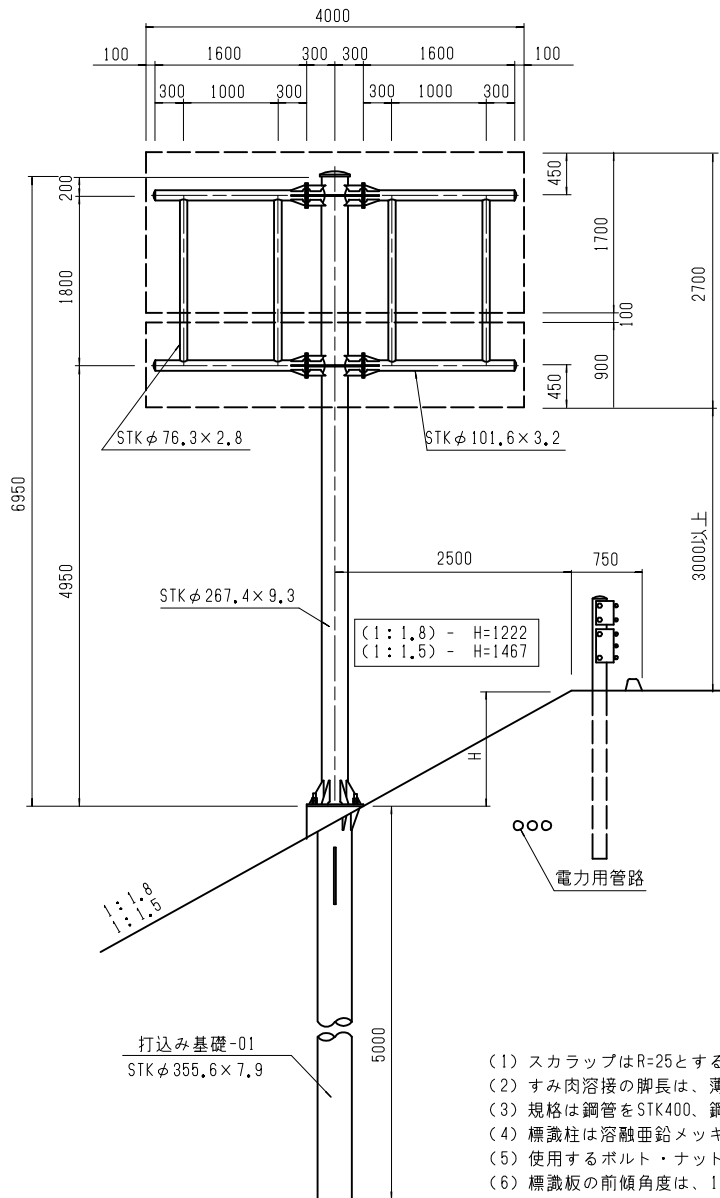
\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。



盛土 - 標識板下高さ3000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 3.0mに適用)

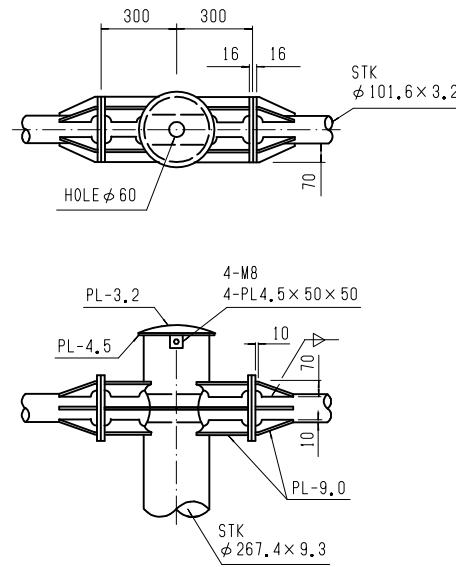
設置図 S=1/80



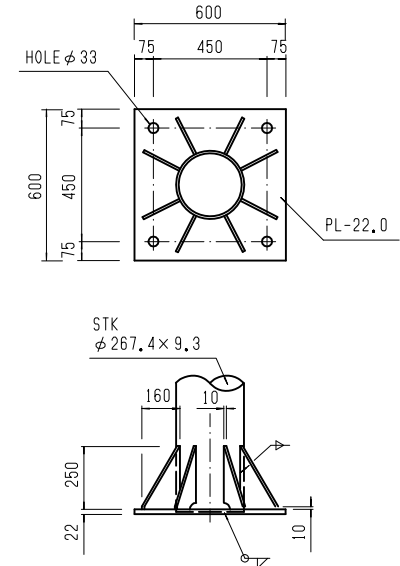
- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱-05
----------------	------------	-----------------

梁・柱の取合詳細図 S=1/30



柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec(路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 9.3 × 6940	410.85	1	410.9
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					492.6
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1590	12.40	4	49.6
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					186.7
フランジボルト	M16	L=70 (W.N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					684.8

標識板取付金具

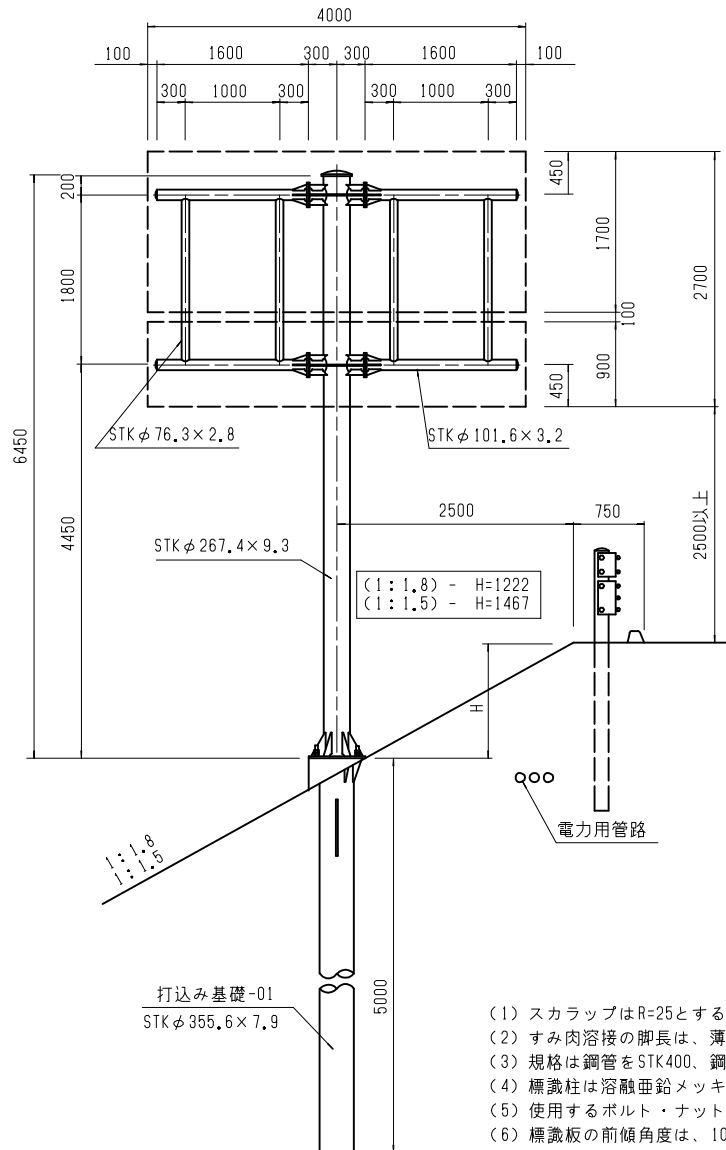
クランプ型プレート 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

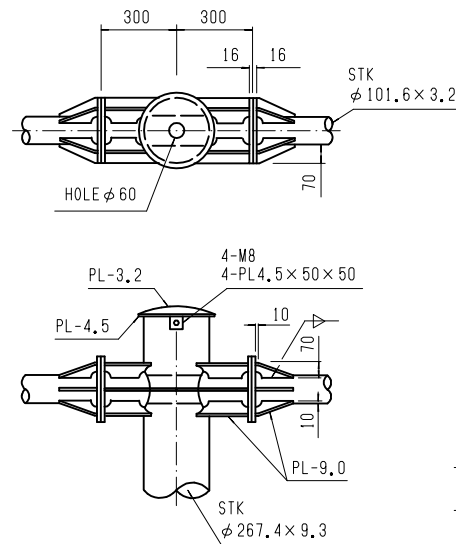
\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

盛土 - 標識板下高さ 2500 mm  
(0 m ≤ 積雪深 ≤ 1.5 m に適用)

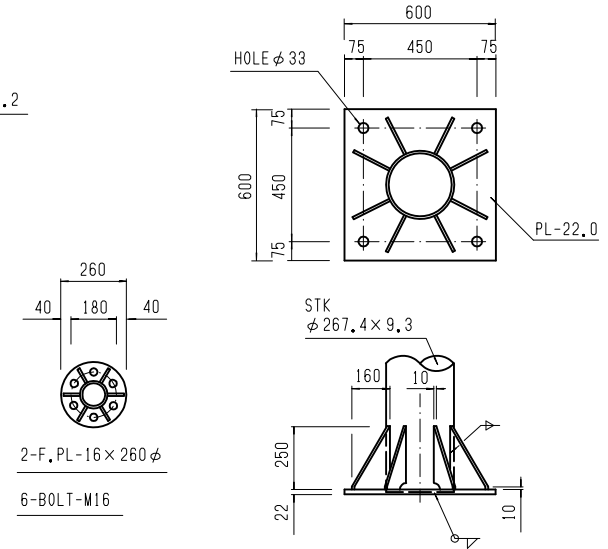
設置図 S = 1/80



梁・柱の取合詳細図 S = 1/30



柱脚部詳細図 S = 1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 - 40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 9.3 × 6440	381.25	1	381.3
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					463.0
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1590	12.40	4	49.6
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	16.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					186.7
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					655.2

標識板取付金具

クランプ型プラケット 4 個

- (1) スクラップは R=25 とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管を STK400、鋼板、形鋼、ボルトは SS400 とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ 2 種 H0Z35 以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10° 程度とする。

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質 (切土で軟岩など) 条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

切土 - 標識板下高さ2000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 2.0mに適用)

高規格道路  
(自専道)

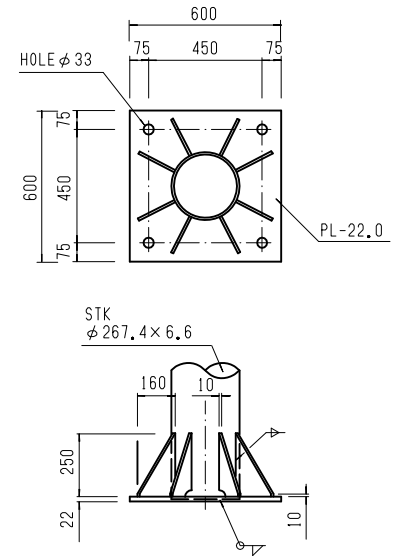
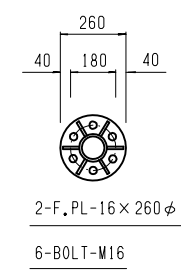
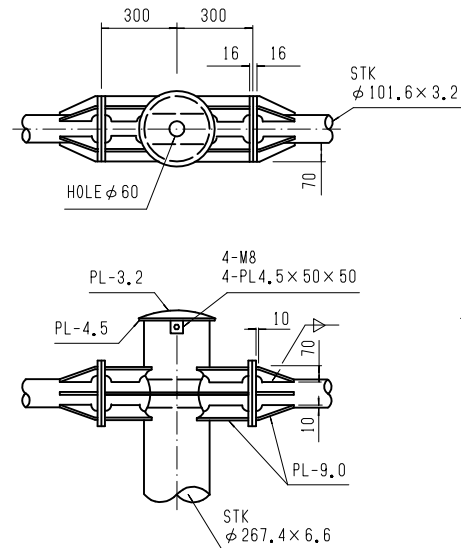
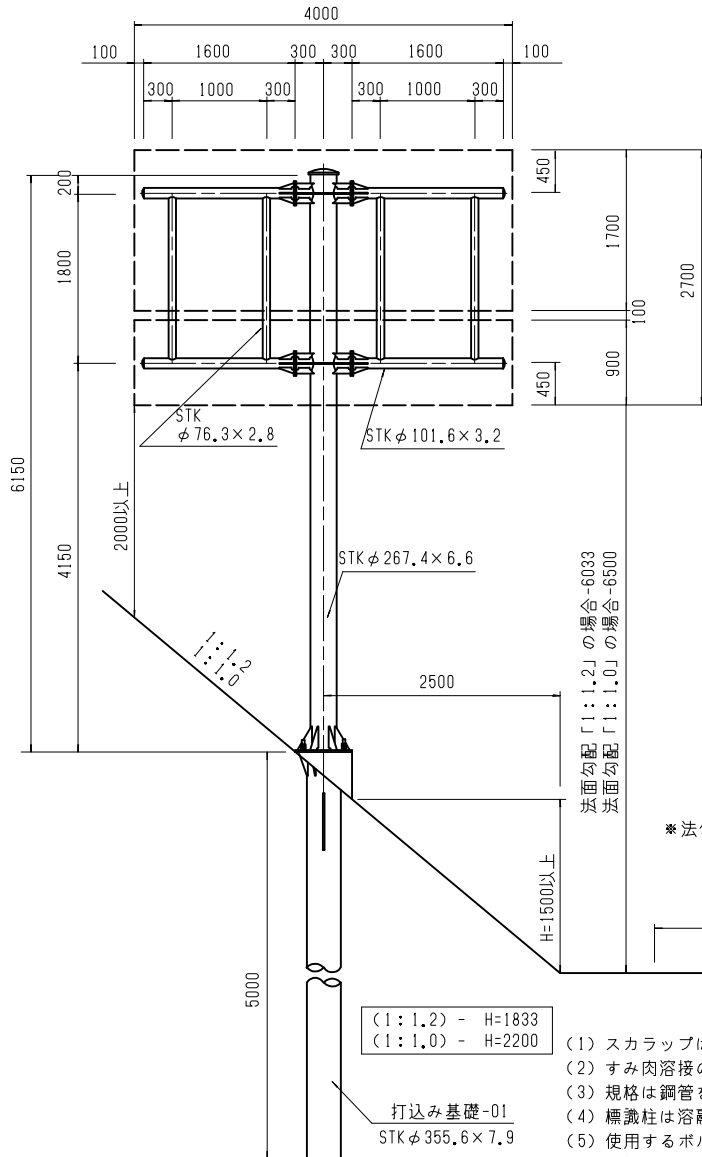
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 07

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec(路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上とする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 6140	260.34	1	260.3
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					342.0
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1340	10.46	4	41.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					178.9
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					526.4

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

切土 - 標識板下高さ 1500 mm  
(0 m ≦ 積雪深 ≦ 1.5 m に適用)

高規格道路  
(自専道)

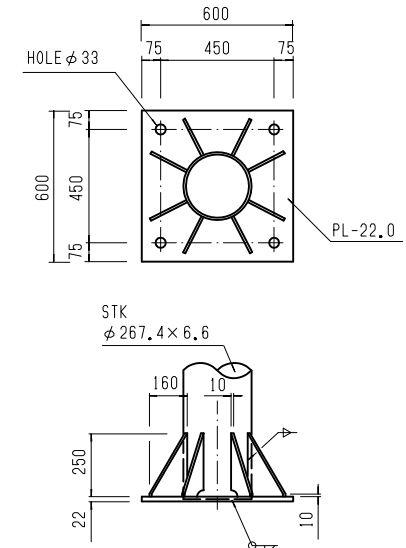
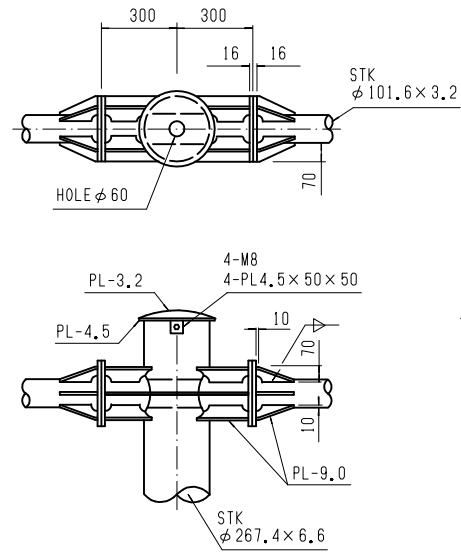
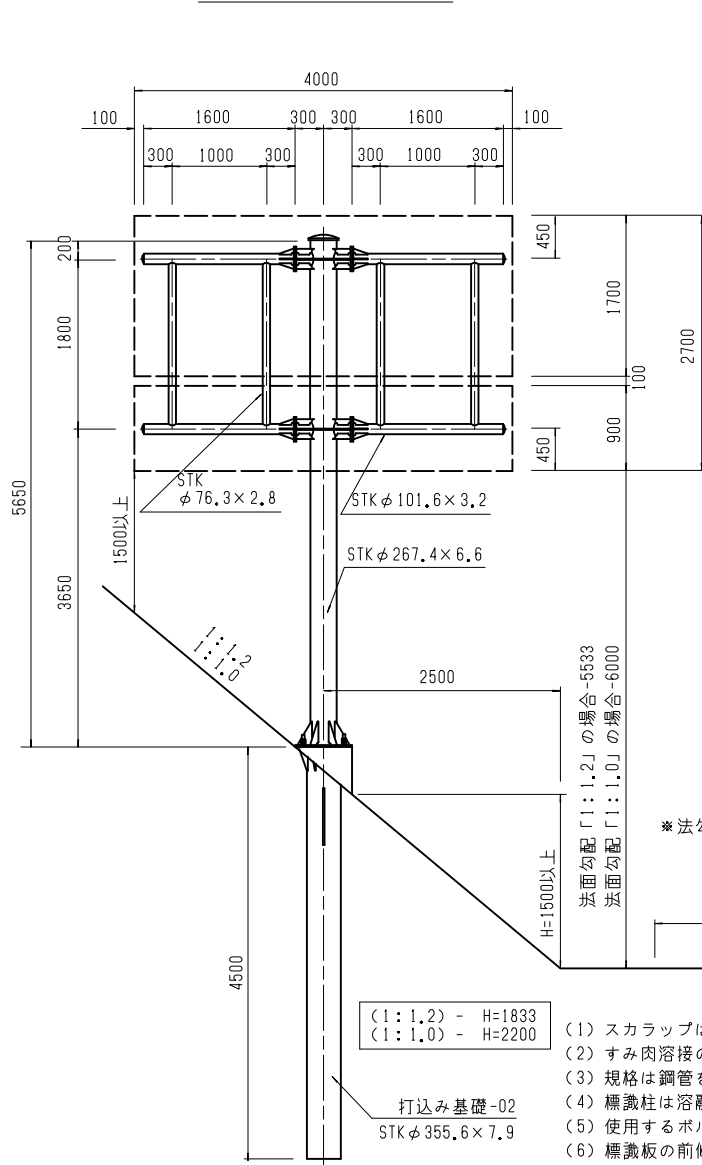
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 08

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 - 40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

- (1) スカラップは R=25 とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管を STK400、鋼板、形鋼、ボルトは SS400 とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上とする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上 2種 HDZ35 以上とする。 標識板取付金具
- (6) 標識板の前傾角度は、10° 程度とする。

クランプ型ブラケット 4 個

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 5640	239.14	1	239.1
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					320.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1340	10.46	4	41.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 280φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					178.9
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					505.2

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質 (切土で軟岩など) 条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

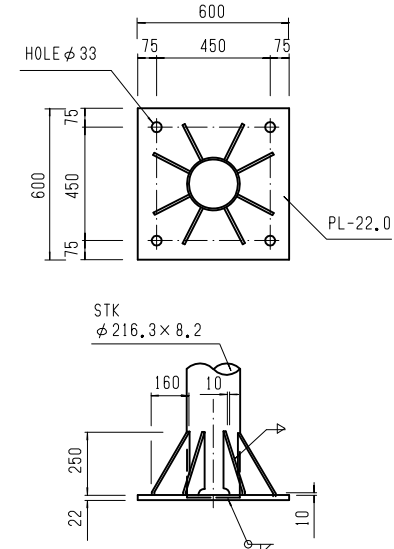
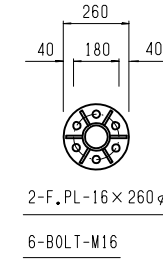
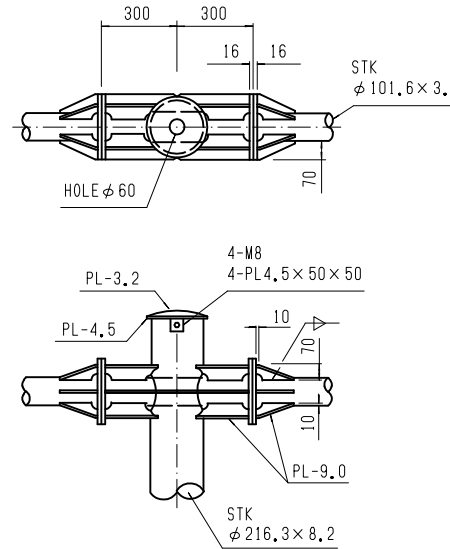
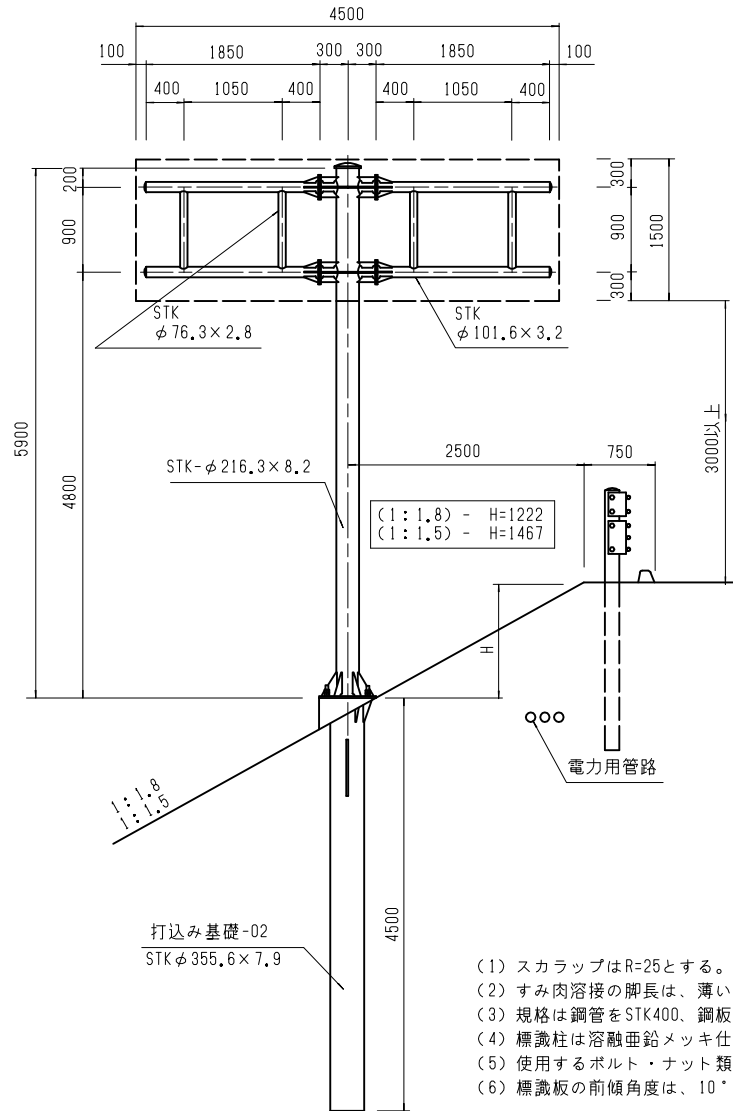
盛土 - 標識板下高さ 3000 mm  
 (1.5 m < 積雪深 ≤ 3.0 m に適用)

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 09
----------------	------------	-------------------

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec(路側柱)とする.
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 × 8.2 × 5890	247.97	1	248.0
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 × 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					328.4
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1840	14.35	4	57.4
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 836	4.25	4	17.0
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					176.2
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					510.1

- (1) スクラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

盛土 - 標識板下高さ2500mm  
(0m ≦ 積雪深 ≦ 1.5mに適用)

高規格道路  
(自専道)

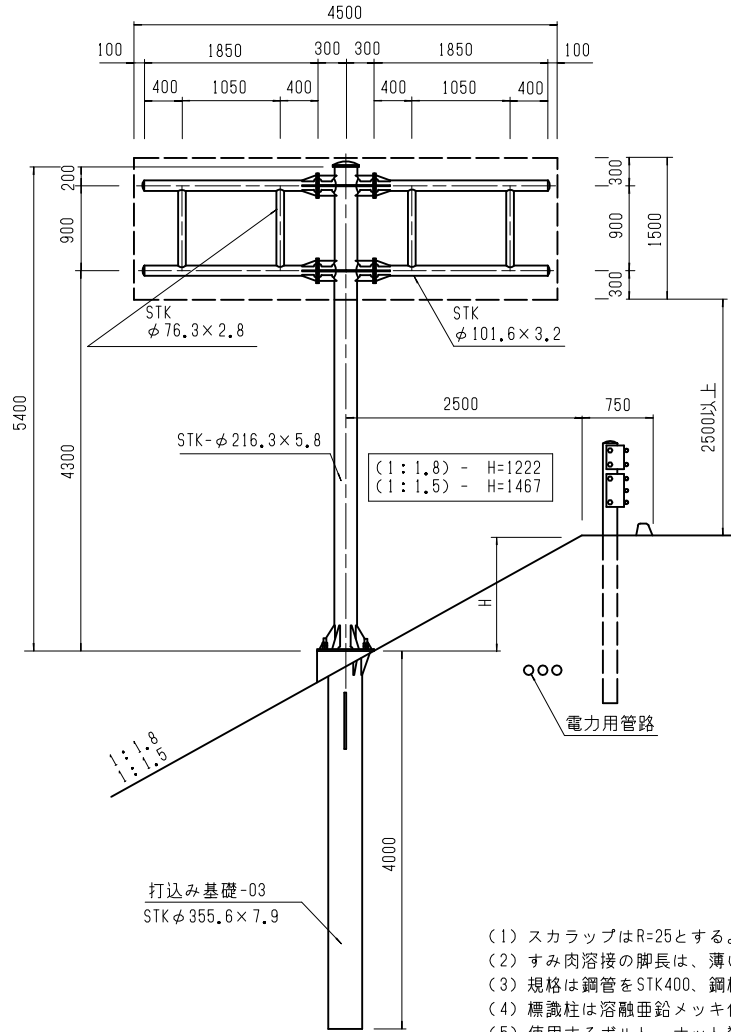
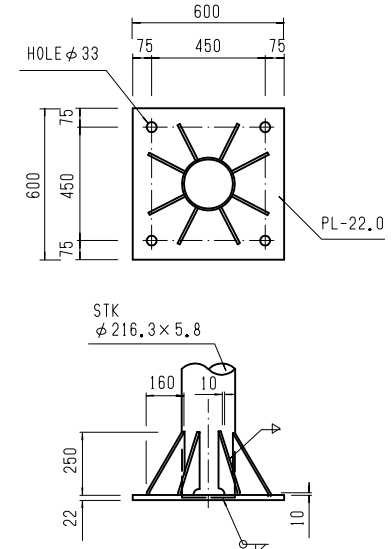
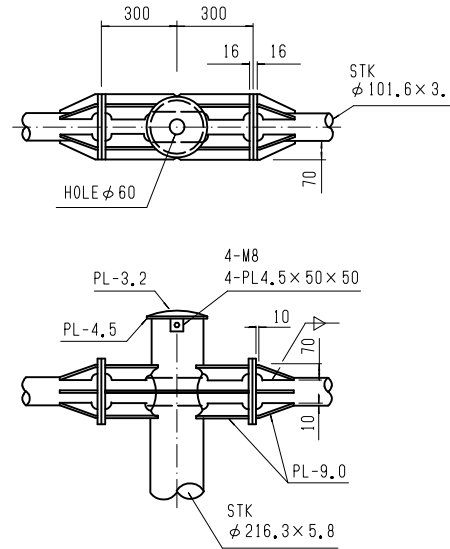
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 10

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec(路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25°~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 × 5.8 × 5390	162.24	1	162.2
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 × 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					242.6
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1840	14.35	4	57.4
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 836	4.25	4	17.0
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					176.2
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					424.9

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

切土 - 標識板下高さ 2000 mm  
(1.5 m < 積雪深 ≤ 2.0 m に適用)

高規格道路  
(自専道)

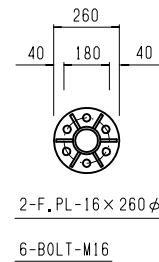
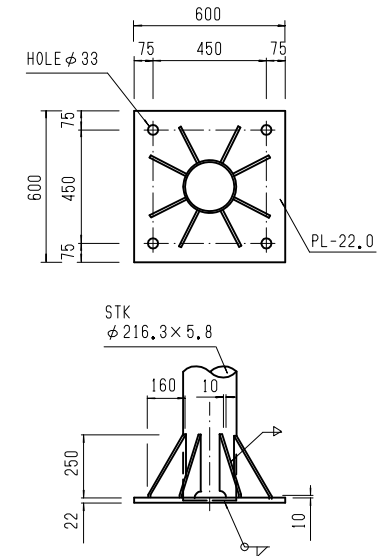
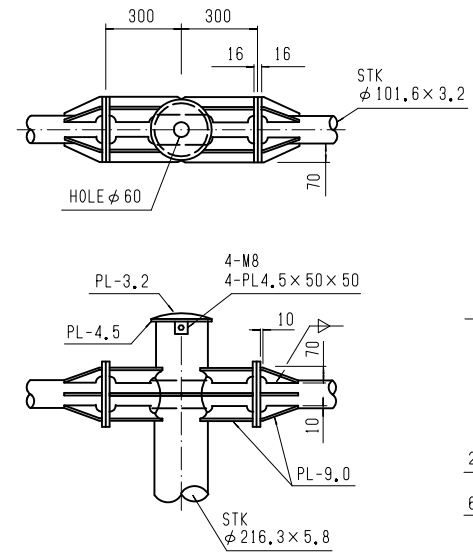
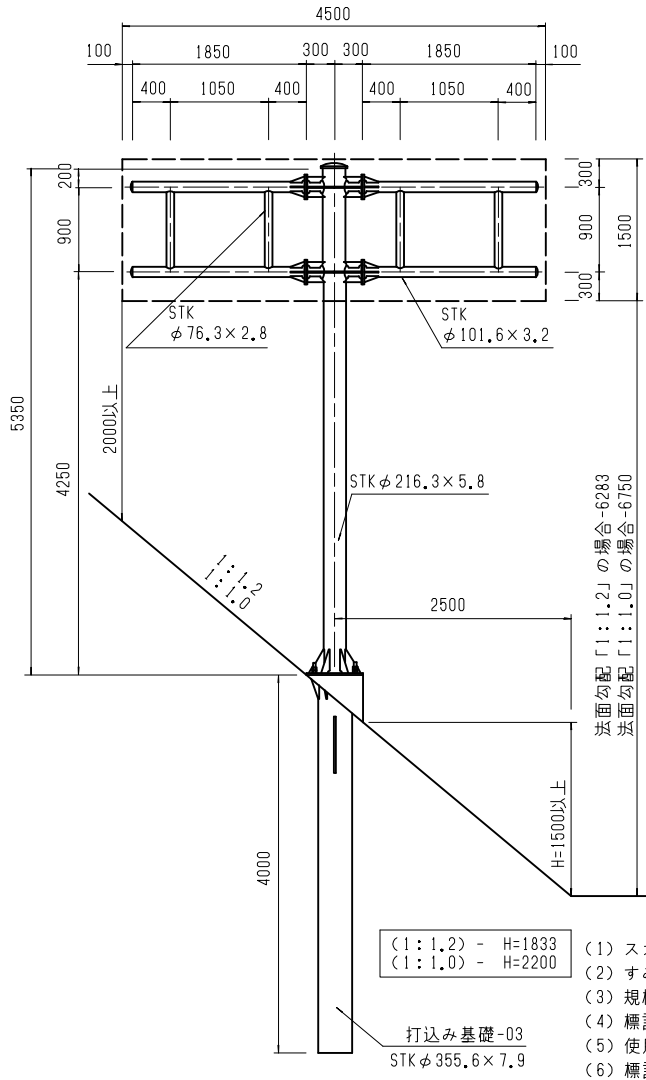
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 11

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)  
 \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。  
 \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>  
 \* 土の内部摩擦角 25~35°  
 \* 標準貫入試験値 10~30

\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クラブ型ブラケット 4個

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 × 5.8 × 5340	160.73	1	160.7
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 × 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					241.1
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1840	14.35	4	57.4
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ 76.3 × 2.8 × 836	4.25	4	17.0
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					176.2
フランジボルト	M16	L=70 (W. N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					422.8

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質 (切土で軟岩など) 条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

切土 - 標識板下高さ 1500 mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5m に適用)

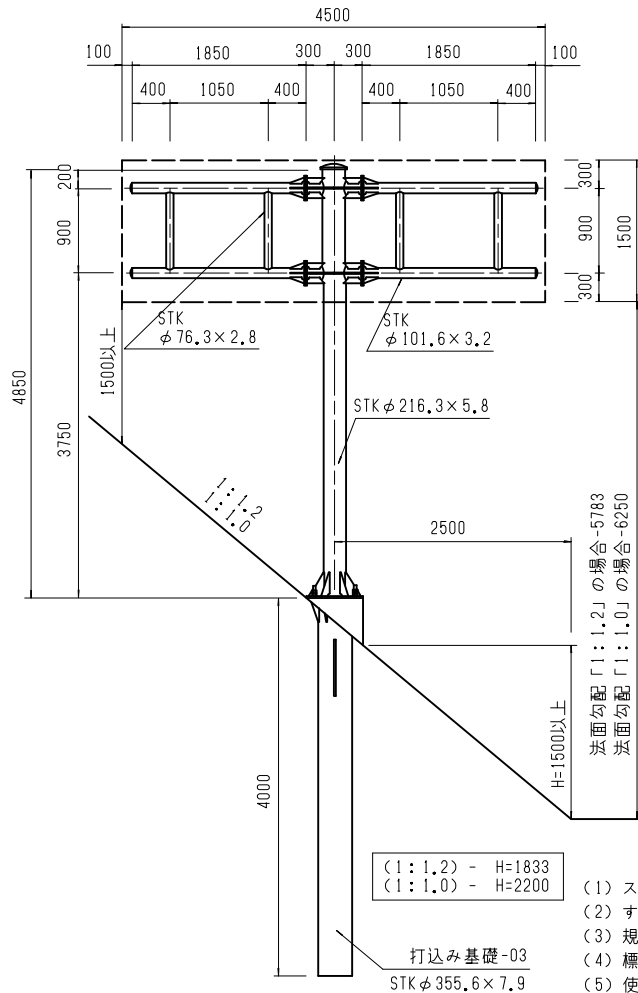
高規格道路  
(自専道)  
図面記号  
名称

支柱詳細図  
路側柱 - 12

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30

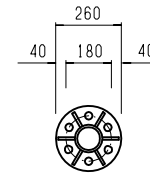
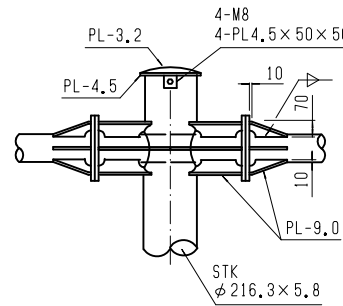
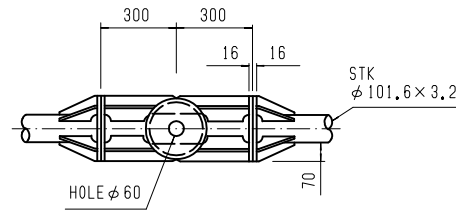


\*法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

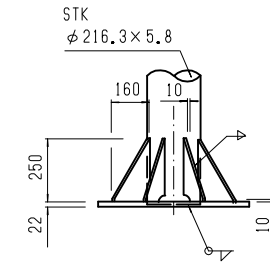
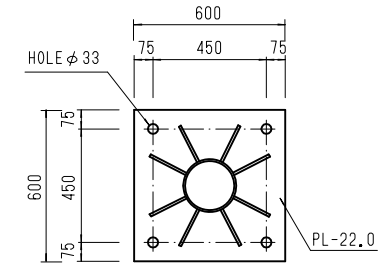
打込み基礎-03  
STKφ355.6×7.9

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。 標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。



2-F. PL-16×260φ

6-BOLT-M16



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 × 5.8 × 4840	145.68	1	145.7
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 × 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					226.1
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1840	14.35	4	57.4
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 836	4.25	4	17.0
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					176.2
フランジボルト	M16	L=70 (W. N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					407.8

\*標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\*道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。



盛土 - 標識板下高さ 3000 mm  
(1.5 m < 積雪深 ≤ 3.0 m に適用)

高規格道路  
(自専道)

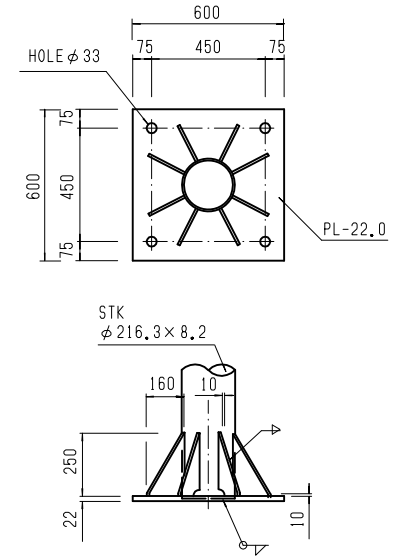
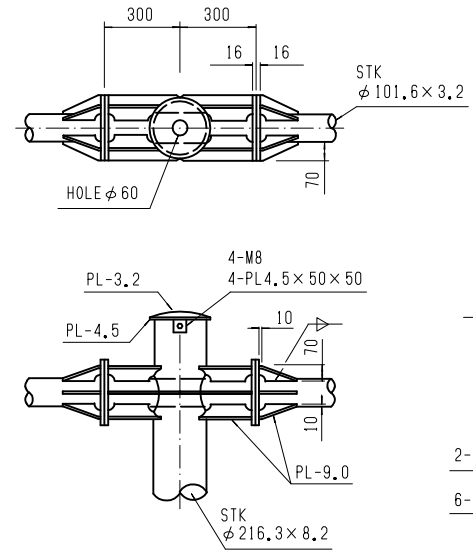
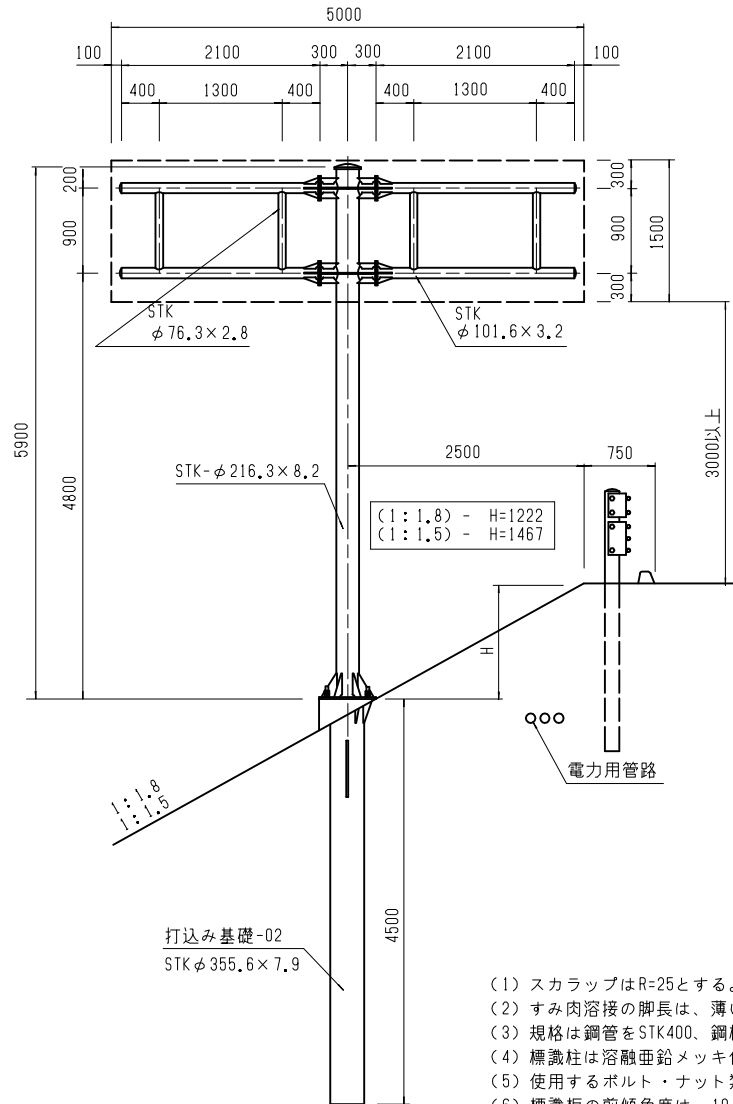
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 13

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)  
 \* 設計風速-40m/sec (路側柱) とする。  
 \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>  
 \* 土の内部摩擦角 25~35°  
 \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 × 8.2 × 5890	247.97	1	248.0
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 × 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					328.4
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 2090	16.30	4	65.2
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 836	4.25	4	17.0
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					184.0
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					517.9

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上とする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

盛土 - 標識板下高さ2500mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5mに適用)

高規格道路  
(自専道)

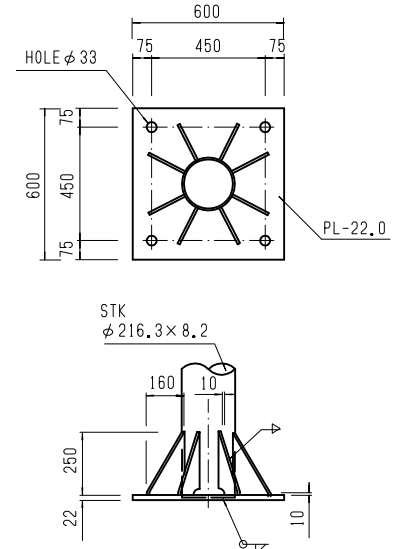
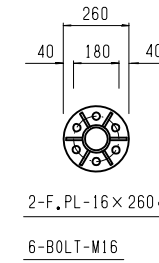
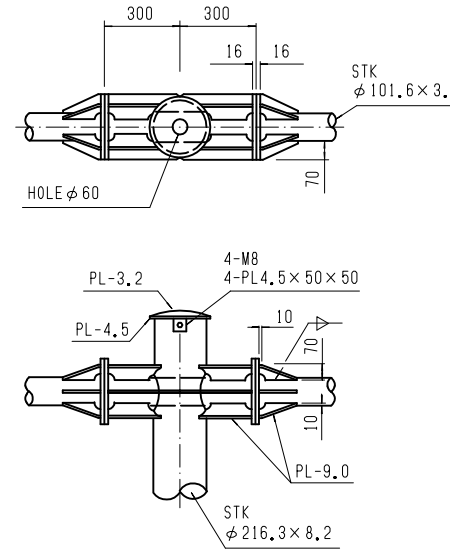
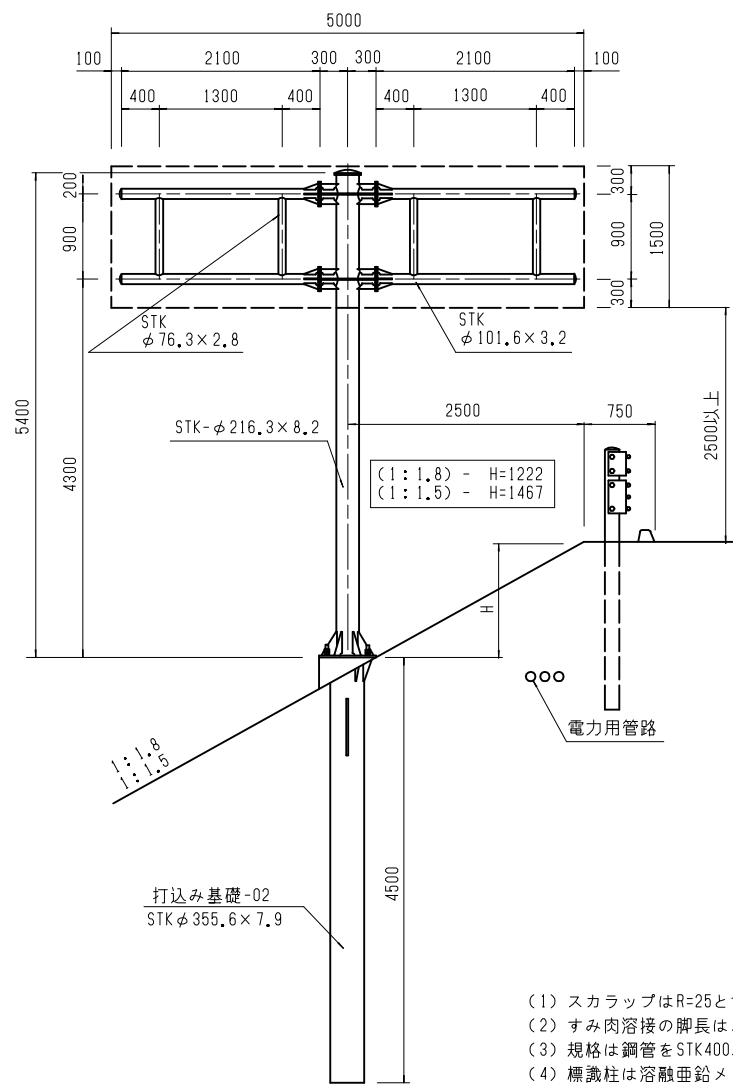
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 14

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)  
 \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。  
 \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>  
 \* 土の内部摩擦角 25~35°  
 \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 × 8.2 × 5390	226.92	1	226.9
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 × 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					307.3
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 2090	16.30	4	65.2
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 836	4.25	4	17.0
フランジ	PL	16 × 280φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					184.0
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					496.8

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

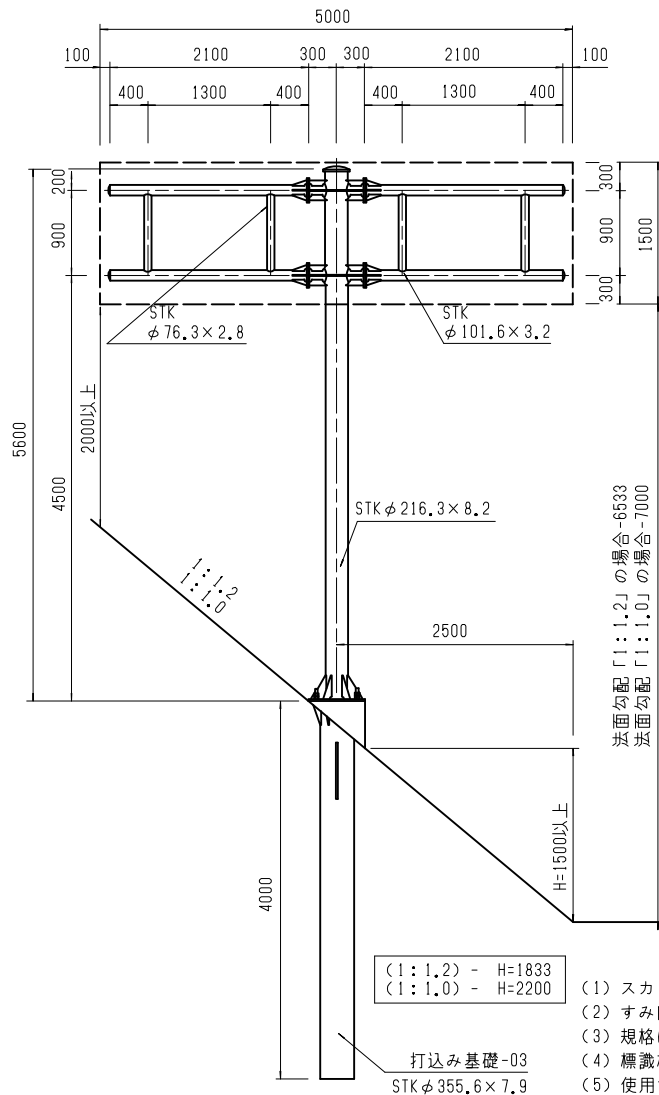
切土 - 標識板下高さ 2000 mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 2.0m に適用)

高規格道路  
(自専道)

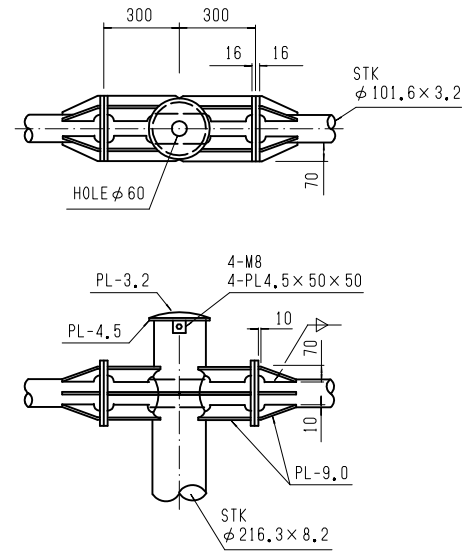
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 15

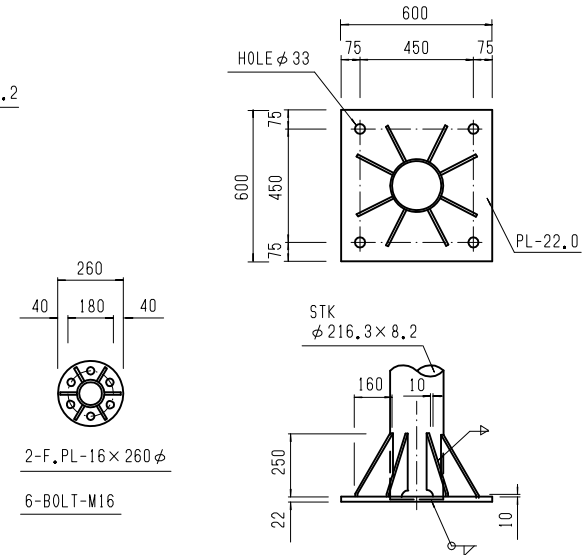
設置図 S=1/80



梁・柱の取合詳細図 S=1/30



柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 × 8.2 × 5590	235.34	1	235.3
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 × 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					315.7
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 2090	16.30	4	65.2
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 836	4.25	4	17.0
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					184.0
フランジボルト	M16	L=70 (W.N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					505.2

- (1) スカラップは R=25 とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管を STK400、鋼板、形鋼、ボルトは SS400 とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ 2種 HDZ35 以上とする。 標識板取付金具
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。 クラウン型プラケット 4個

※ 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

※ 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

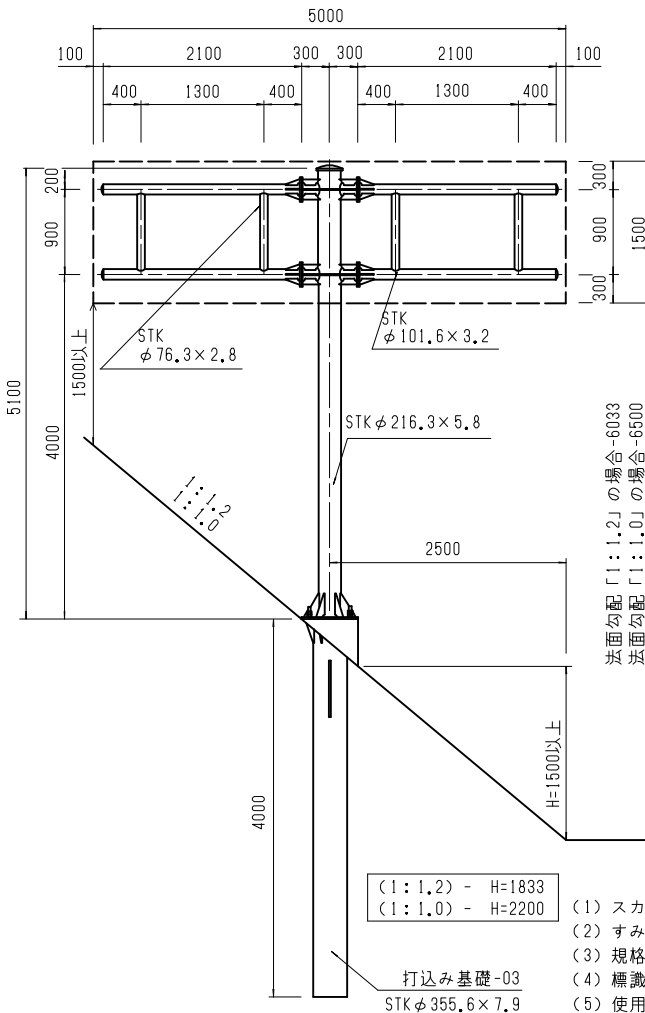
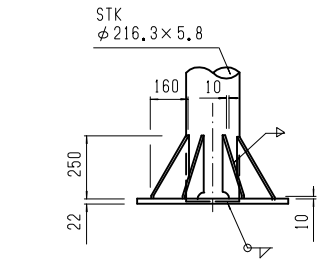
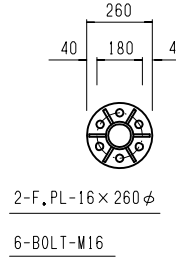
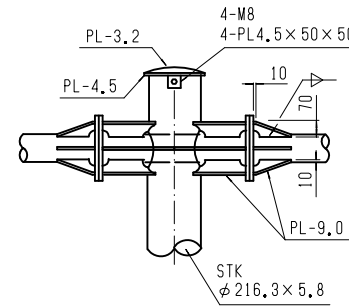
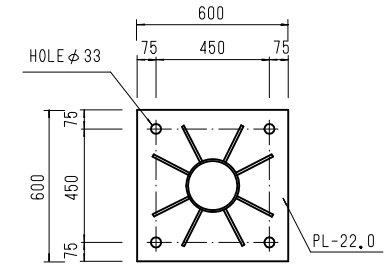
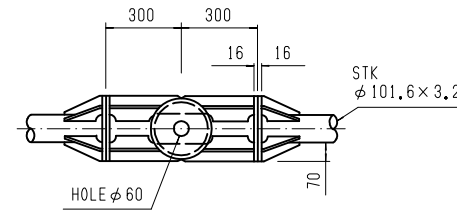
高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 16
----------------	------------	-------------------

切土 - 標識板下高さ 1500mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5m に適用)

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

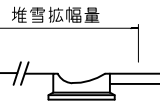
柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



法面勾配「1:1.2」の場合 - 6033  
法面勾配「1:1.0」の場合 - 6500

\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。



(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

打込み基礎-03  
STK φ355.6 x 7.9

- (1) スカラップは R=25 とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管を STK400、鋼板、形鋼、ボルトは SS400 とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ 2種 HDZ35 以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10° 程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4 個

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 - 40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 x 5.8 x 5090	153.21	1	153.2
ベース	PL	22 x 600 x 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 x 250 x 160 x 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 x 250 φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 x 240 φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 x 50 x 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					233.6
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 2090	16.30	4	65.2
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 x 2.8 x 836	4.25	4	17.0
フランジ	PL	16 x 260 φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 x 150 x 70 x 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 x 231 x 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 x 286 x 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 x 110 φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					184.0
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					423.1

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質 (切土で軟岩など) 条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

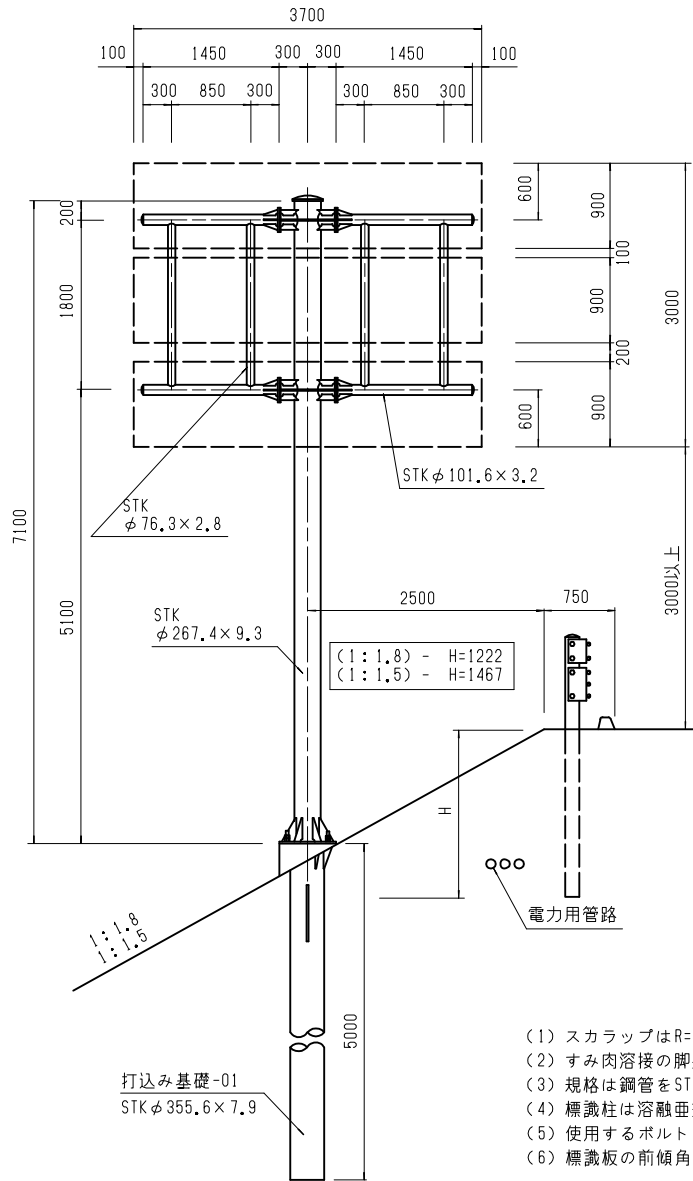
盛土 - 標識板下高さ3000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 3.0mに適用)

高規格道路  
(自専道)

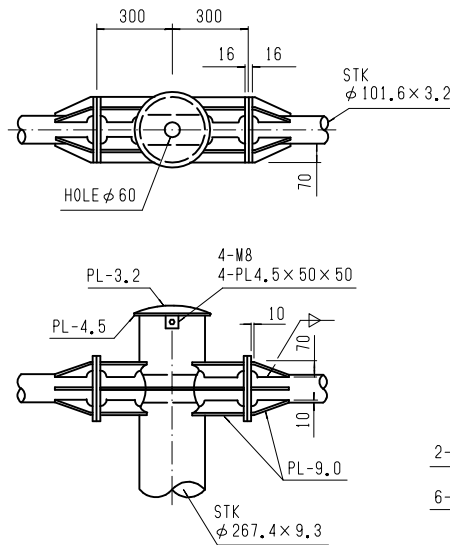
図面記号  
名称

支柱詳細図  
路側柱 - 17

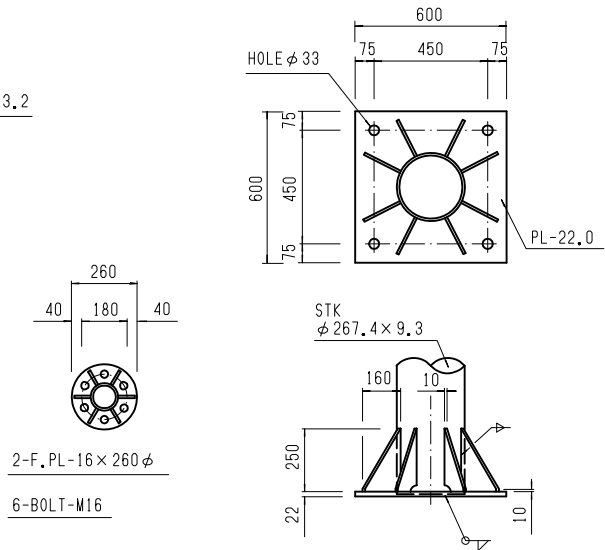
設置図 S=1/80



梁・柱の取合詳細図 S=1/30



柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 9.3 × 7090	419.73	1	419.7
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					501.4
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1440	11.23	4	44.9
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					182.0
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					688.9

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クラブ型プラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

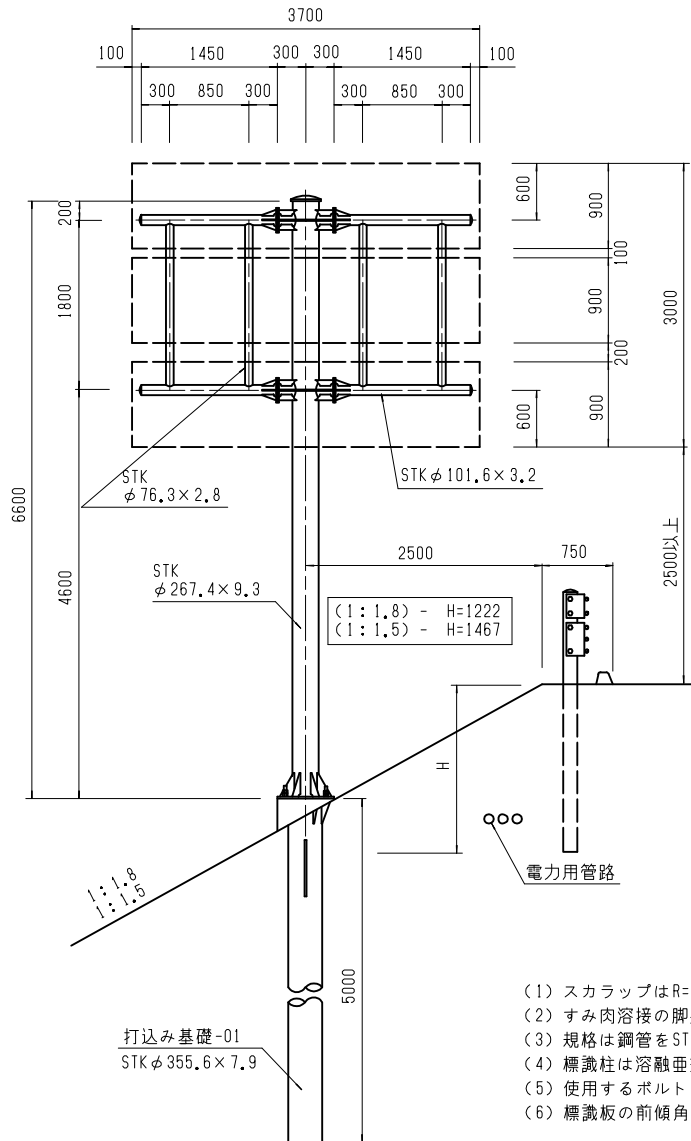
盛土 - 標識板下高さ 2500 mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5m に適用)

高規格道路  
(自専道)

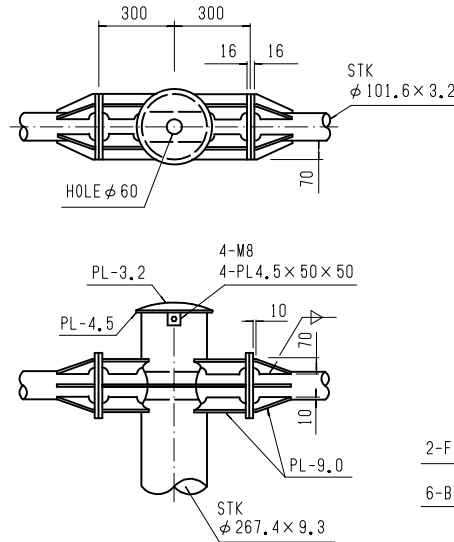
図面記号  
名称

支柱詳細図  
路側柱 - 18

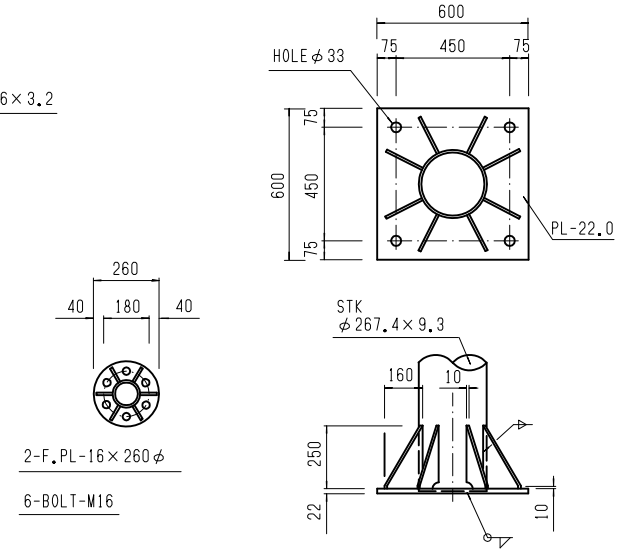
設置図 S=1/80



梁・柱の取合詳細図 S=1/30



柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 9.3 × 6590	390.13	1	390.1
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					471.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1440	11.23	4	44.9
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					182.0
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					659.3

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クラブ型プラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

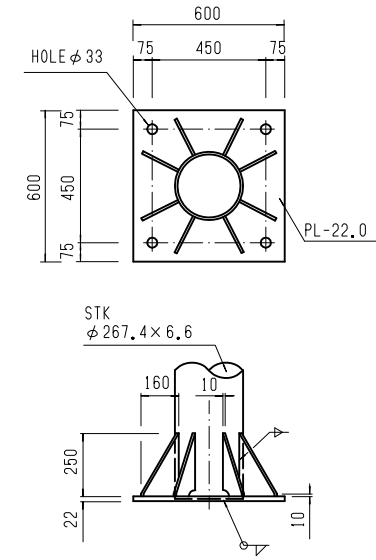
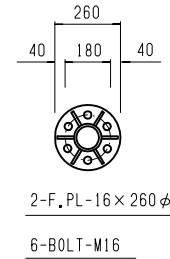
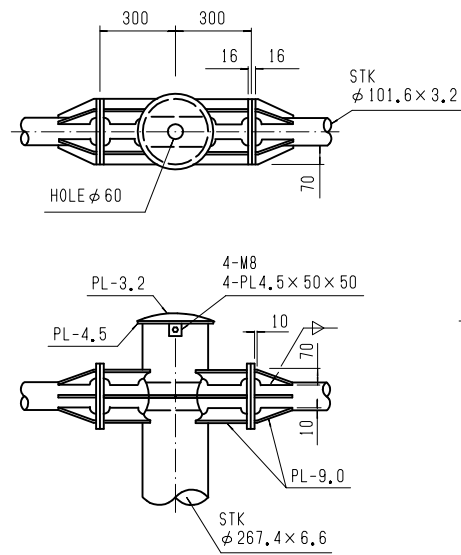
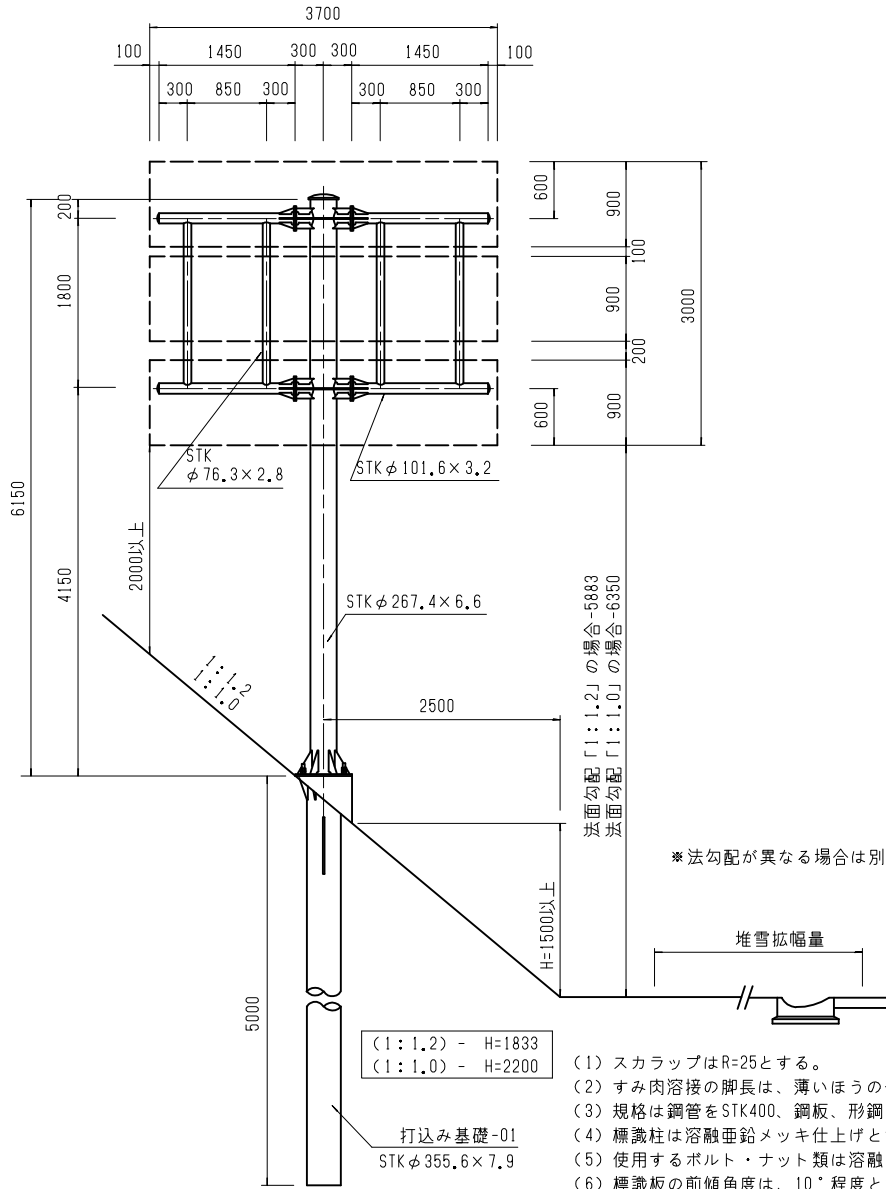
切土 - 標識板下高さ 2000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 2.0m に適用)

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 19
----------------	------------	-------------------

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 6140	260.34	1	260.3
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1440	11.23	4	44.9
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 280φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ					
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					
フランジボルト	M16	L=70 (W.N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					
					529.5

- (1) スクラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。標識板取付金具
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

クランプ型プラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

切土 - 標識板下高さ 1500mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5m に適用)

高規格道路  
(自専道)

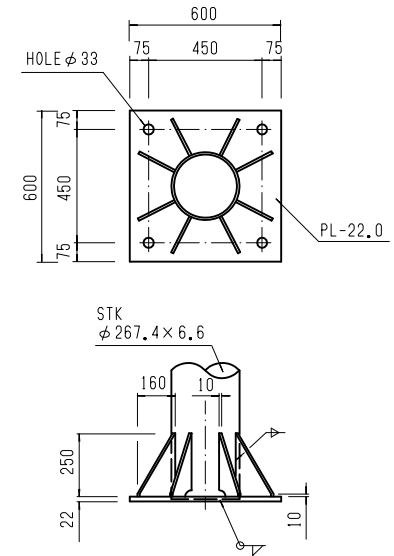
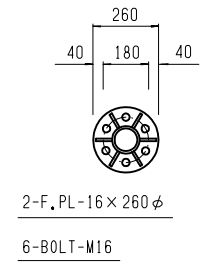
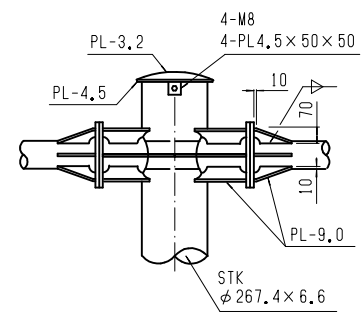
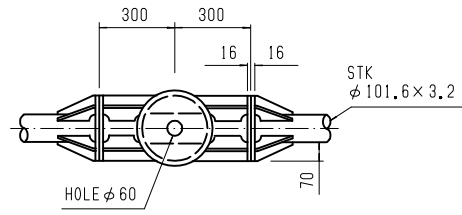
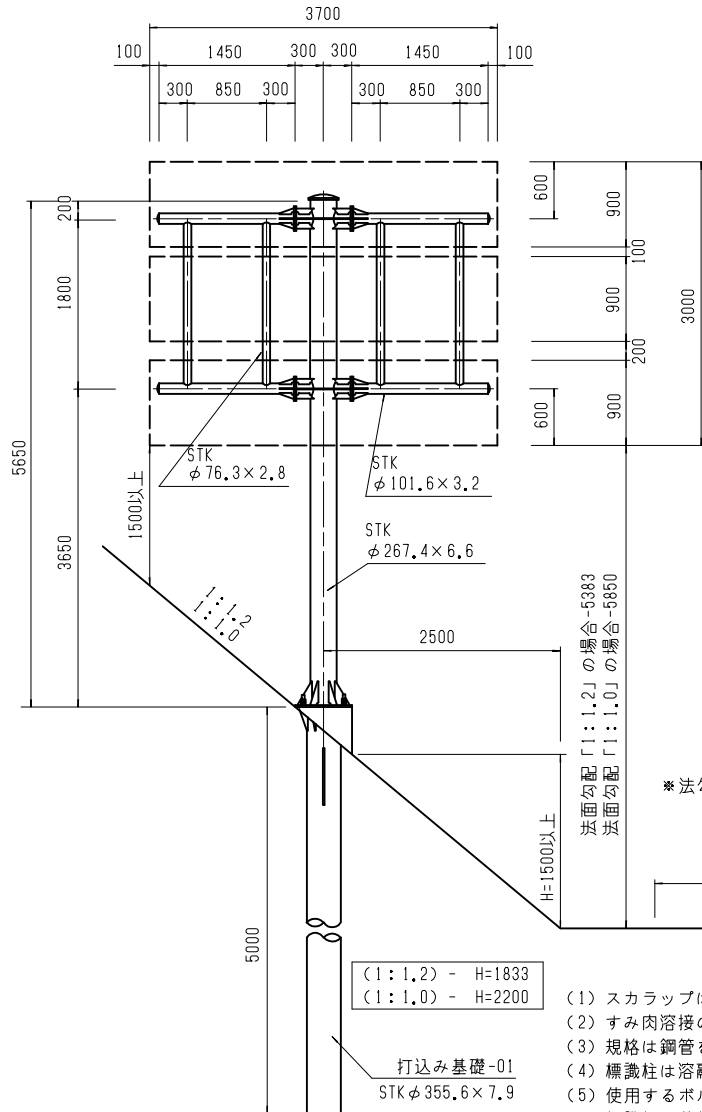
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 20

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1,2) - H=1833  
(1:1,0) - H=2200

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上とする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 5640	239.14	1	239.1
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					320.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1440	11.23	4	44.9
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					182.0
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					508.3

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。



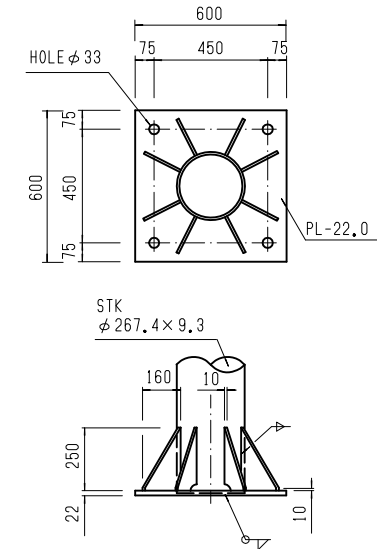
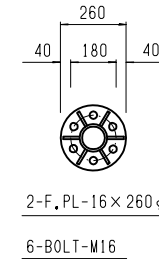
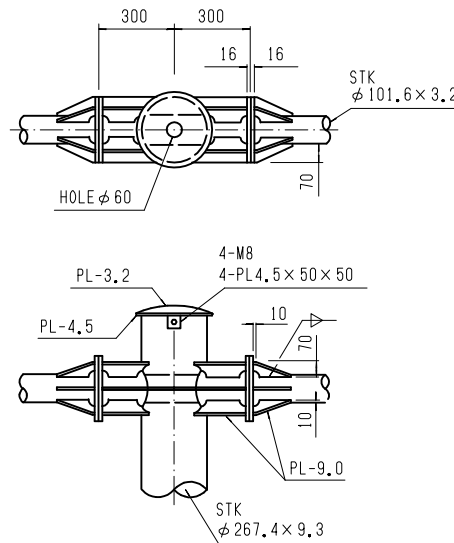
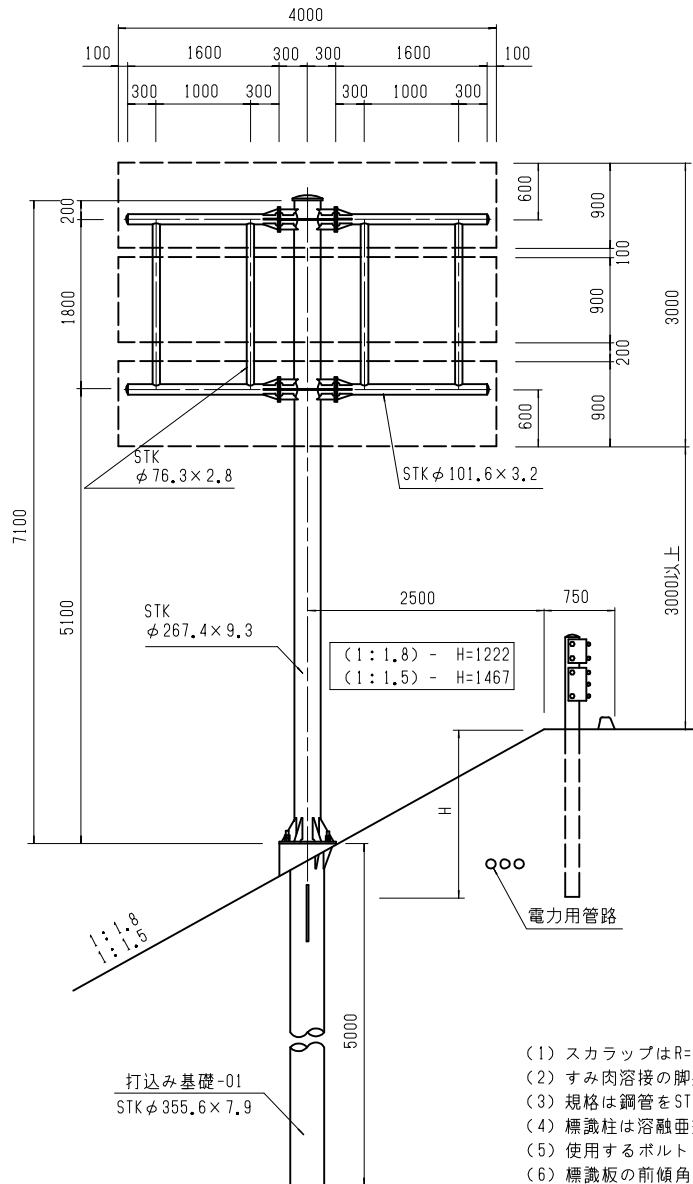
盛土 - 標識板下高さ 3000 mm  
 (1.5m < 積雪深 ≤ 3.0m に適用)

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 21
----------------	------------	-------------------

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 9.3 × 7090	419.73	1	419.7
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					501.4
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1590	12.40	4	49.6
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					186.7
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					693.6

- (1) スクラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クラブ型プラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

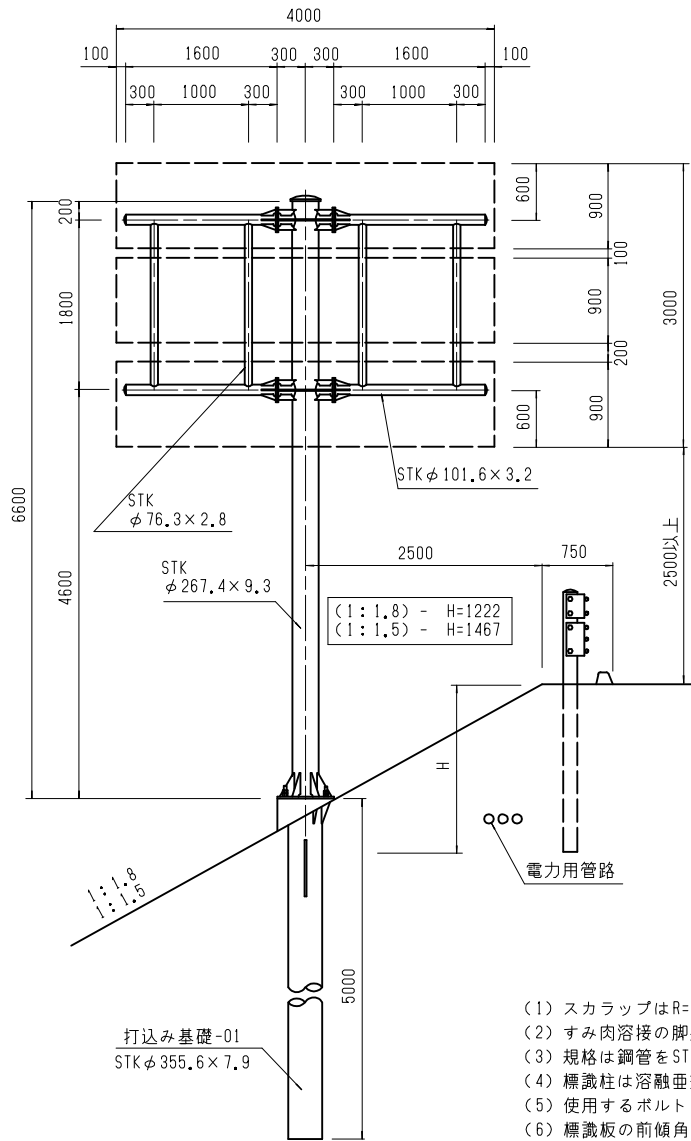
盛土 - 標識板下高さ 2500 mm  
(0 m ≤ 積雪深 ≤ 1.5 m に適用)

高規格道路  
(自専道)

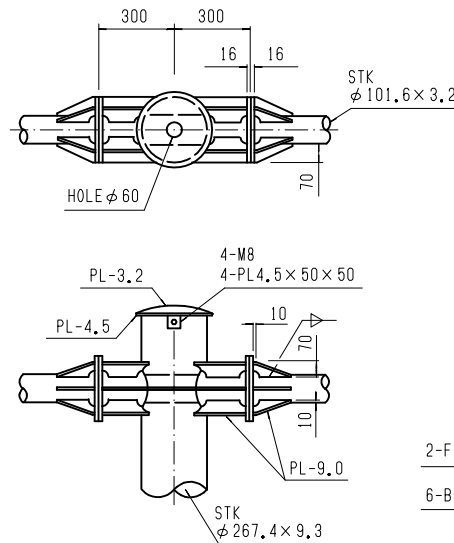
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 22

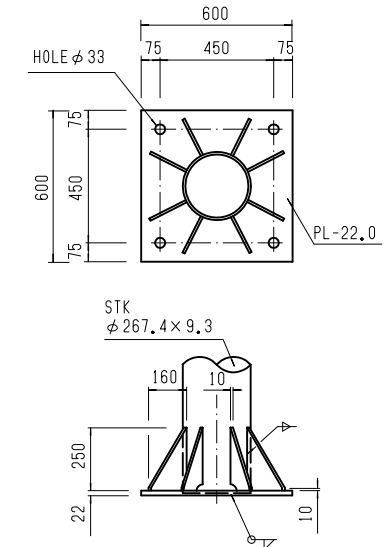
設置図 S=1/80



梁・柱の取合詳細図 S=1/30



柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 9.3 × 6590	390.13	1	390.1
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					471.8
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1590	12.40	4	49.6
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					186.7
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					664.0

- (1) スクラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

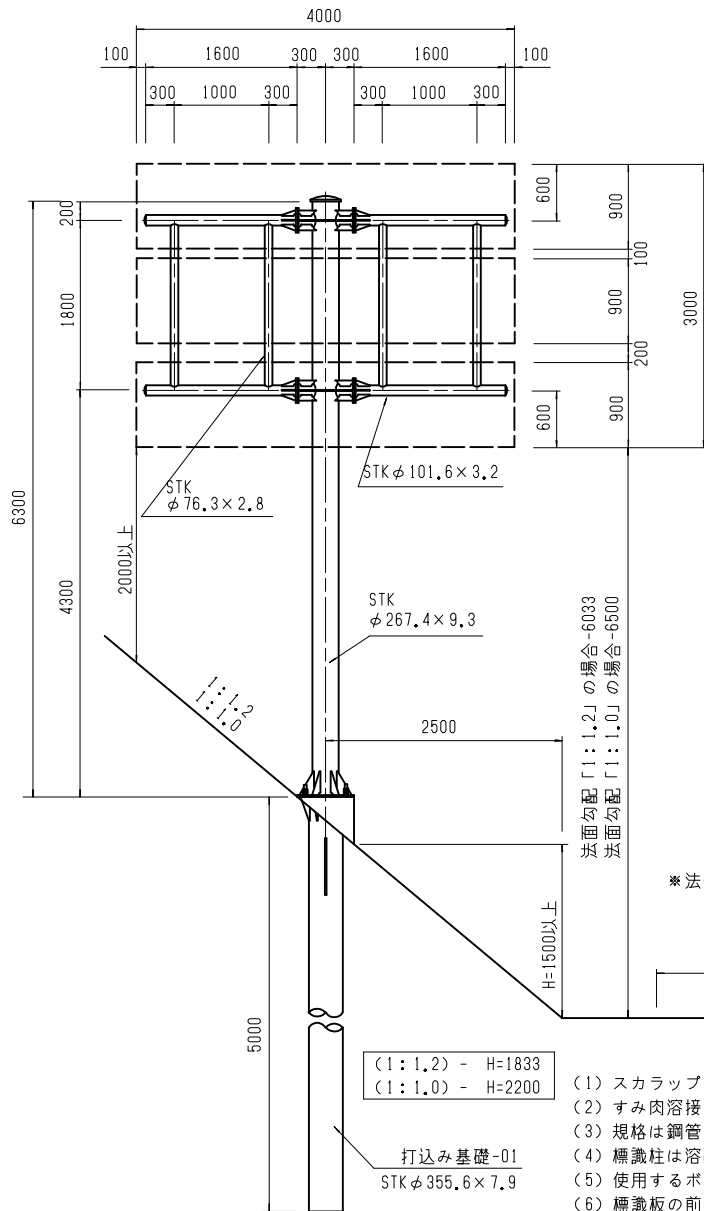
クラブ型プラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

切土 - 標識板下高さ 2000 mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 2.0m に適用)

設置図 S=1/80



\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

打込み基礎-01  
STKφ355.6×7.9

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。標識板取付金具
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

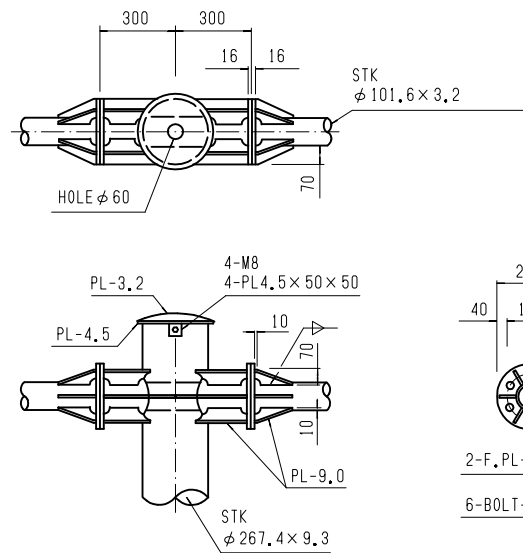
クランプ型プラケット 4個

高規格道路  
(自専道)

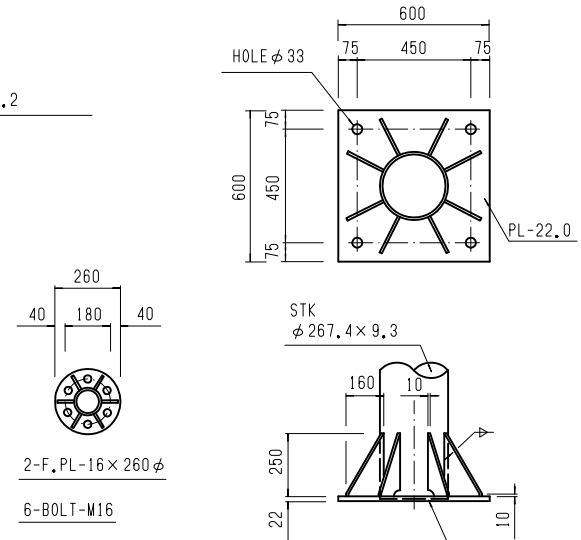
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱-23

梁・柱の取合詳細図 S=1/30



柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m³
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 9.3 × 6290	372.37	1	372.4
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					454.1
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1590	12.40	4	49.6
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					186.7
フランジボルト	M16	L=70 (W.N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					646.3

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

切土 - 標識板下高さ 1500mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5m に適用)

高規格道路  
(自専道)

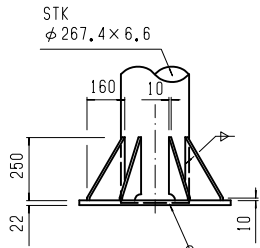
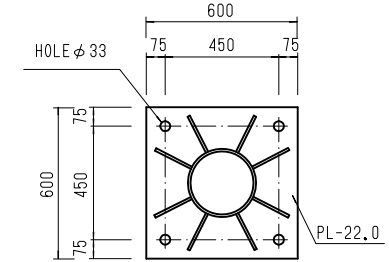
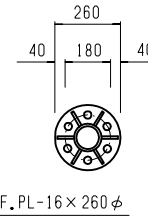
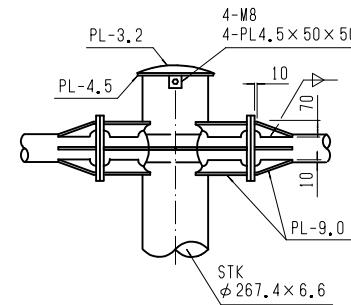
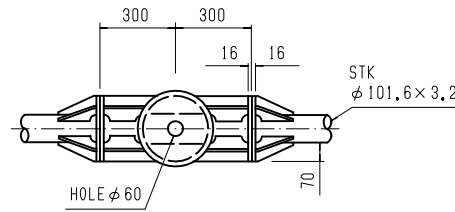
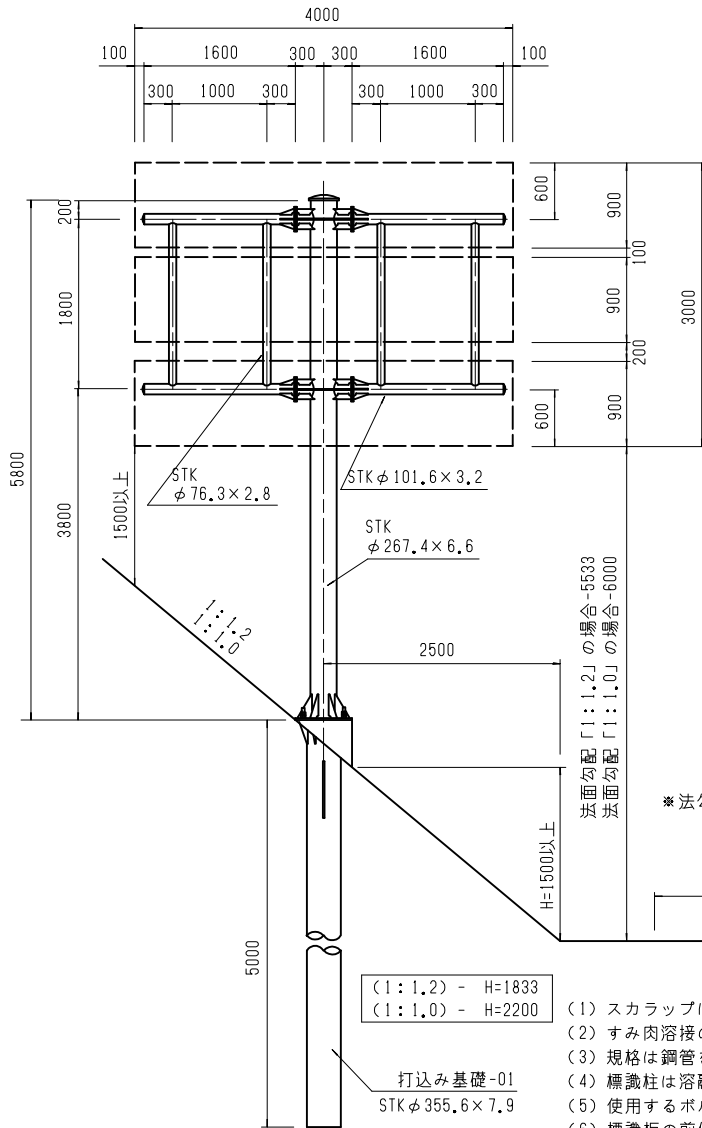
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 24

設置図 S=1/80

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ267.4 × 6.6 × 5790	245.50	1	245.5
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8
キャップ	PL	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					327.2
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 1590	12.40	4	49.6
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1736	8.82	4	35.3
フランジ	PL	16 × 280φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					186.7
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					519.4

\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

盛土 - 標識板下高さ3000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 3.0mに適用)

高規格道路  
(自専道)

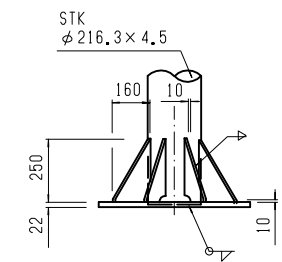
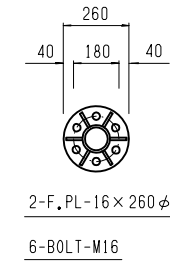
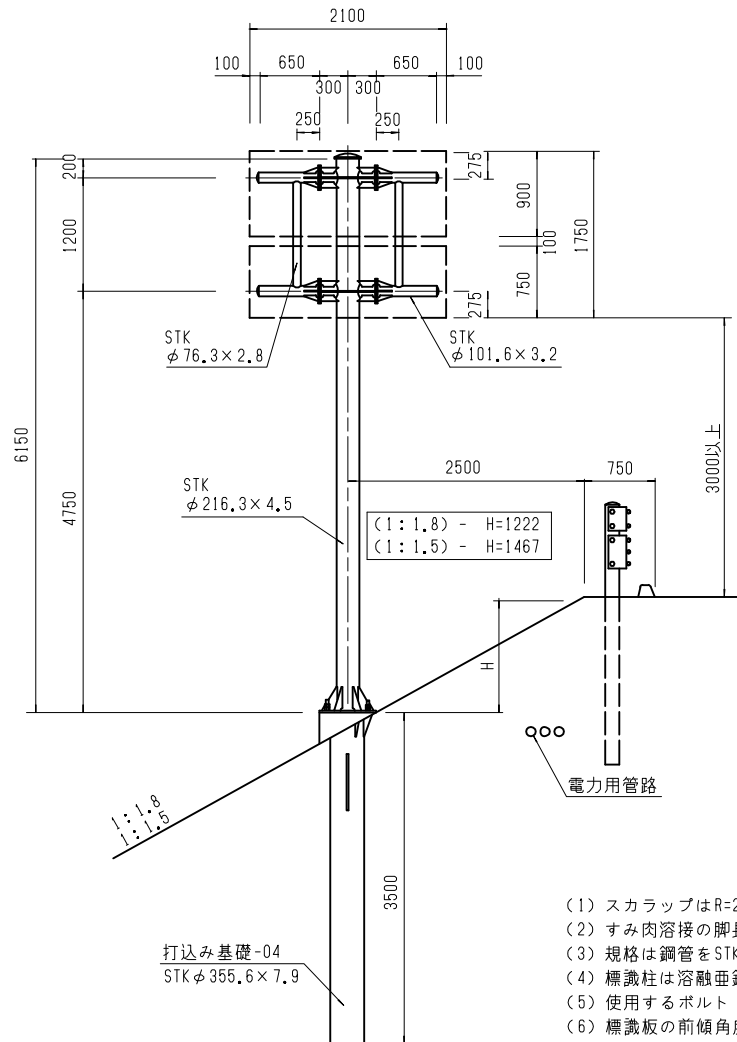
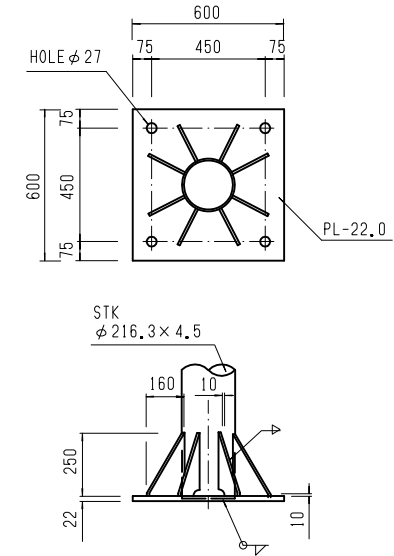
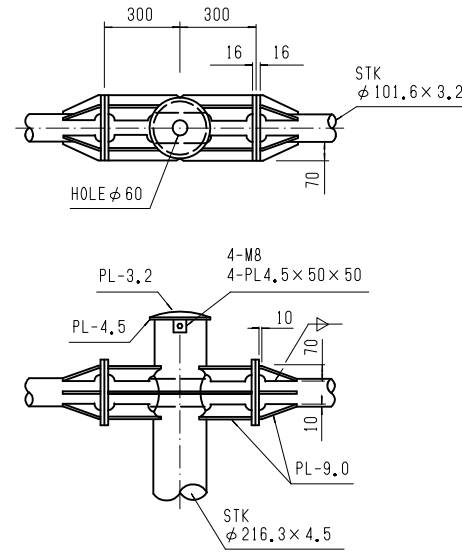
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 25

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)  
 \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。  
 \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>  
 \* 土の内部摩擦角 25~35°  
 \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 × 4.5 × 6140	144.29	1	144.3
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 × 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					224.7
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 640	4.99	4	20.0
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1136	5.77	2	11.5
フランジ	PL	16 × 280φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					133.3
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					363.5

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具  
クランプ型ブラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。  
 \* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

盛土 - 標識板下高さ 2500 mm  
(0m ≦ 積雪深 ≦ 1.5m に適用)

高規格道路  
(自専道)

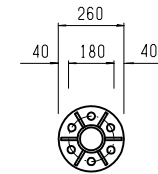
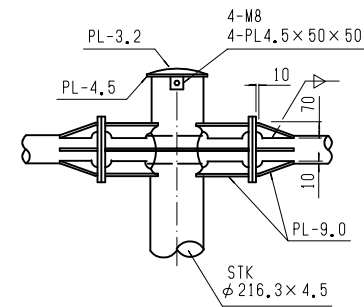
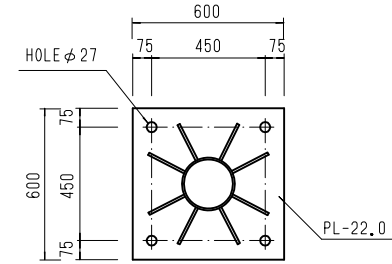
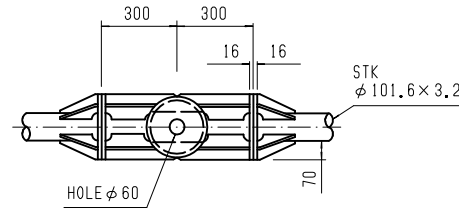
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱 - 26

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

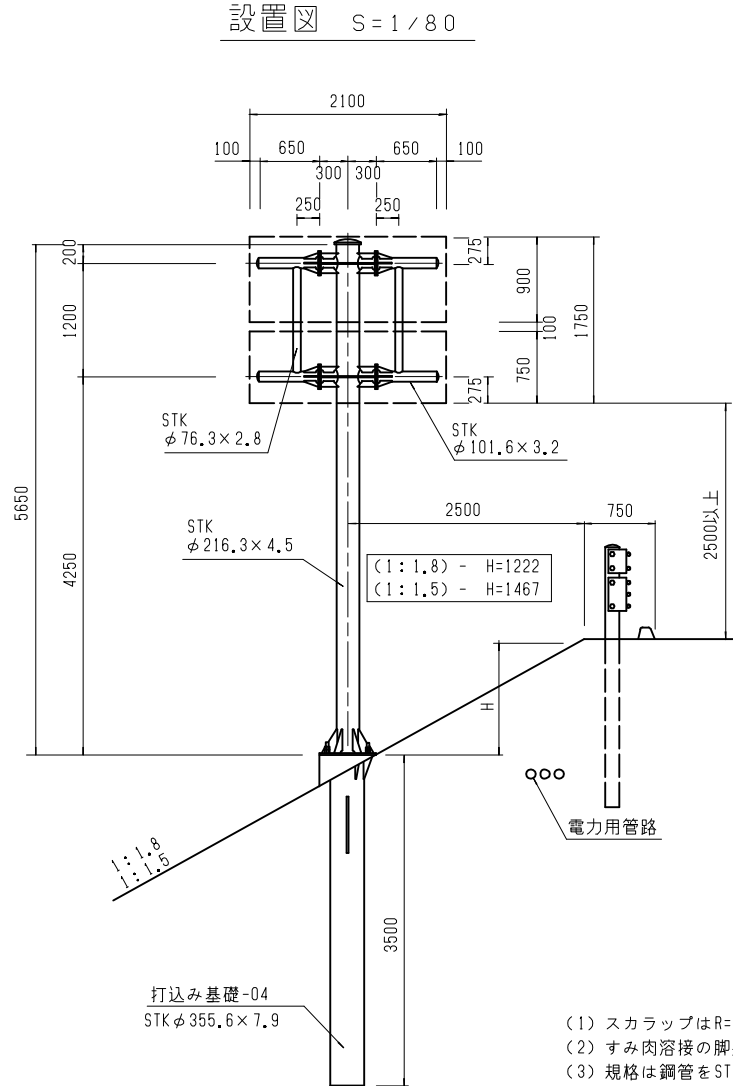
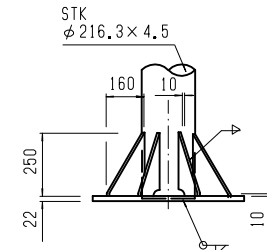
柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



2-F.PL-16 x 260 φ

6-BOLT-M16



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 x 4.5 x 5640	132.54	1	132.5
ベース	PL	22 x 600 x 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 x 250 x 160 x 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 x 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 x 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 x 50 x 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					212.9
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 640	4.99	4	20.0
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ 76.3 x 2.8 x 1136	5.77	2	11.5
フランジ	PL	16 x 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 x 150 x 70 x 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 x 231 x 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 x 286 x 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 x 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					133.3
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					351.7

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クラブ型ブラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

高規格道路  
(自専道)  
図面記号  
名称

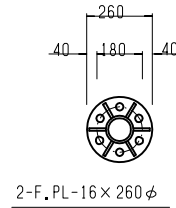
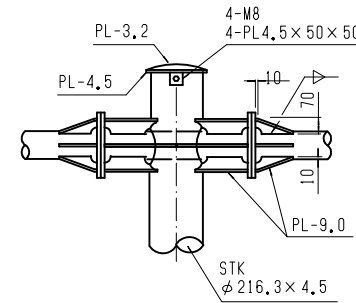
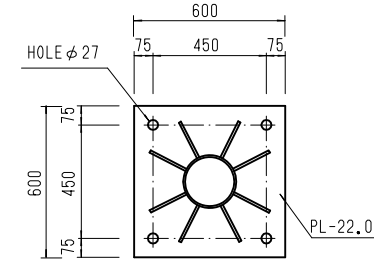
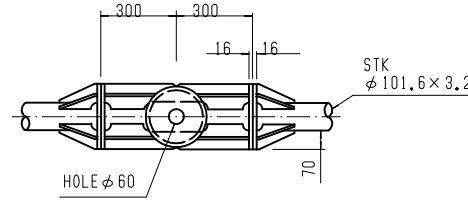
支柱詳細図  
路側柱 - 27

切土 - 標識板下高さ 2000 mm  
(1.5 m < 積雪深 ≤ 2.0 m に適用)

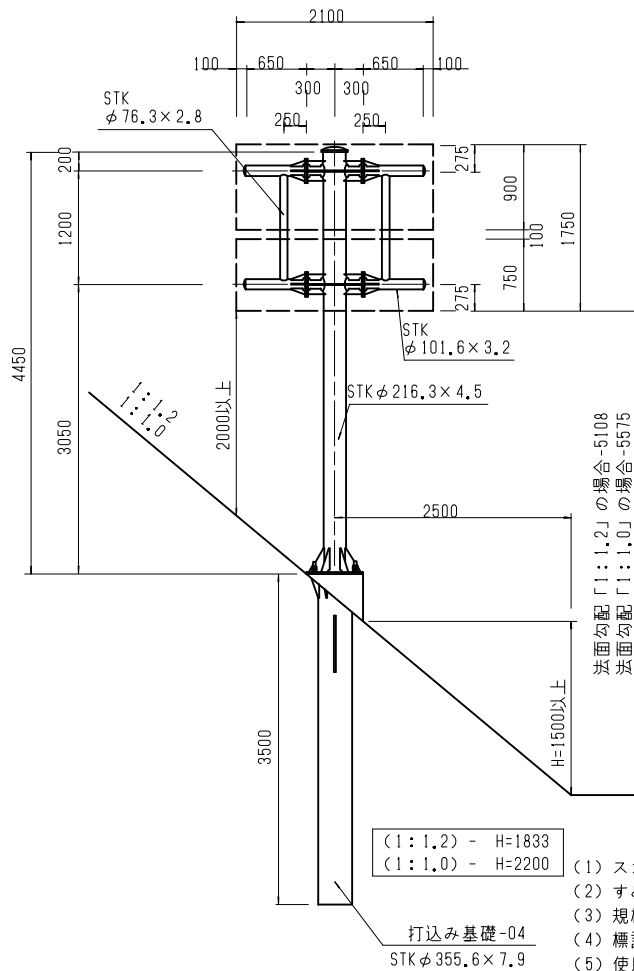
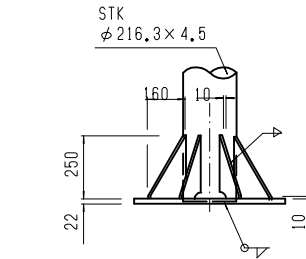
梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



6-BOLT-M16



\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クランプ型プラケット 4個

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 × 4.5 × 3940	104.34	1	104.34
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 × 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 × 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					
					184.7
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 640	4.99	4	20.0
梁材	STK	φ101.6 × 3.2 × 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 × 2.8 × 1136	5.77	2	11.5
フランジ	PL	16 × 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 × 231 × 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 × 286 × 70	1.41	8	11.3
キャップ					
キャップ	PL	3.2 × 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					
					133.3
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					
					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					323.5

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

高規格道路  
(自専道)

図面記号  
名称

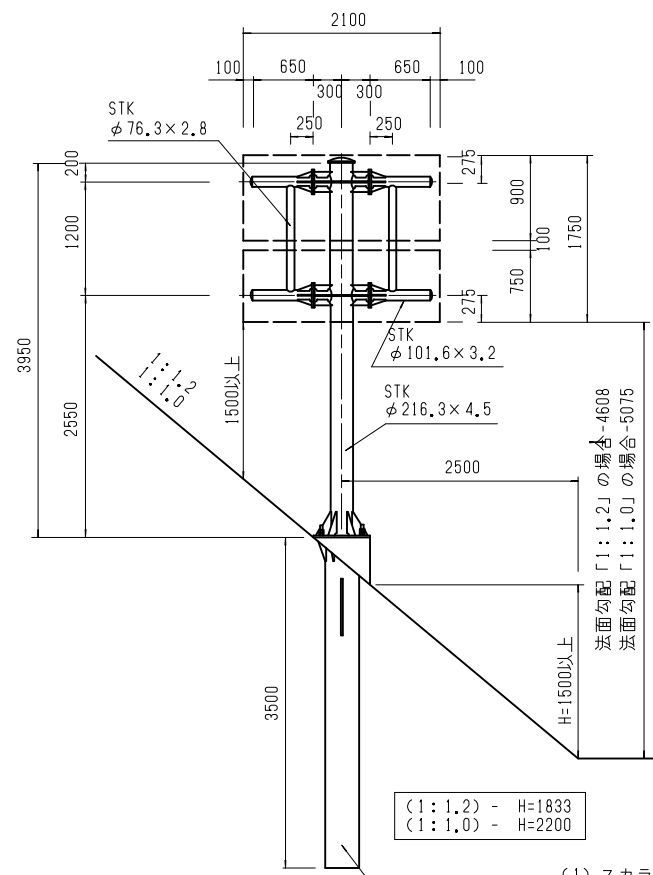
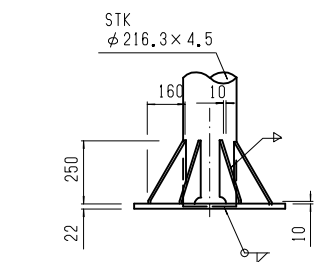
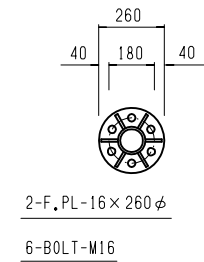
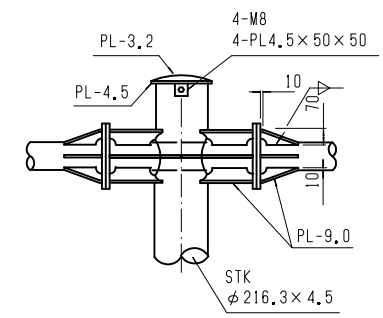
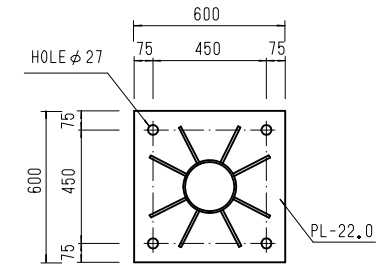
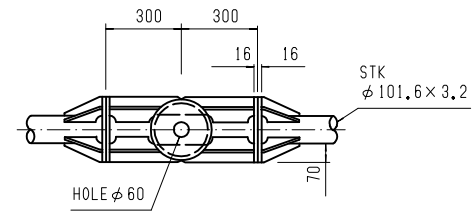
支柱詳細図 路側柱 - 28

切土 - 標識板下高さ 1500mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5m に適用)

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

打込み基礎-04  
STK φ355.6 x 7.9

- (1) スクラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 4個

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 x 4.5 x 3940	92.59	1	92.6
ベース	PL	22 x 600 x 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 x 250 x 160 x 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 x 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 x 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 x 50 x 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					173.0
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 640	4.99	4	20.0
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 x 2.8 x 1136	5.77	2	11.5
フランジ	PL	16 x 260φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 x 150 x 70 x 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 x 231 x 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 x 286 x 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 x 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					133.3
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					311.8

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。



盛土 - 標識板下高さ3000mm  
 (1.5m < 積雪深 ≤ 3.0mに適用)

高規格道路  
 (自専道)

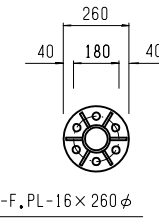
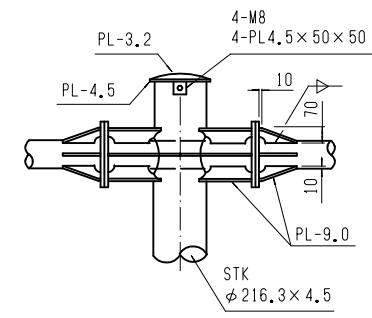
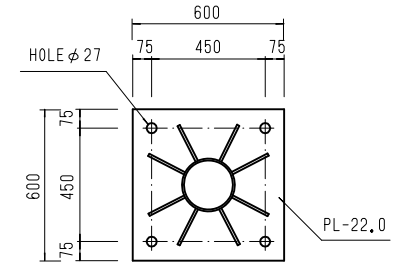
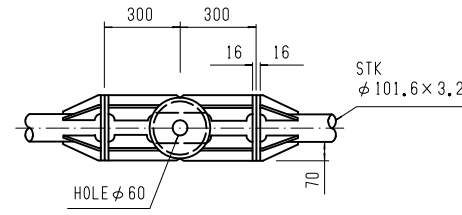
図面記号  
 名称

支柱詳細図 路側柱 - 29

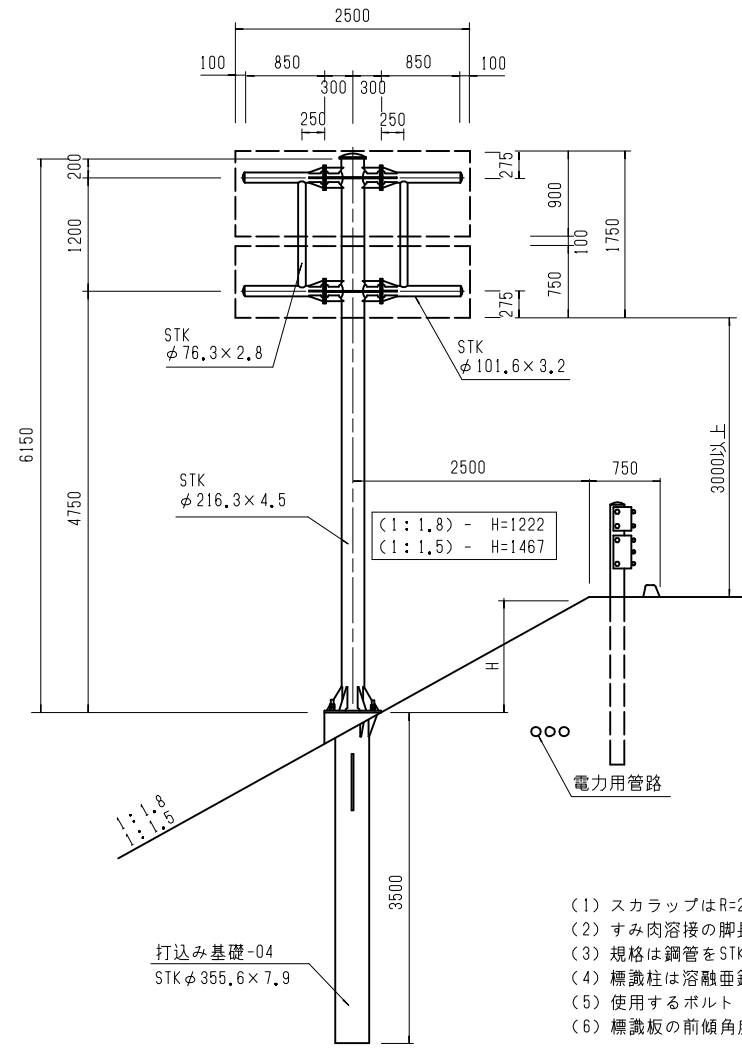
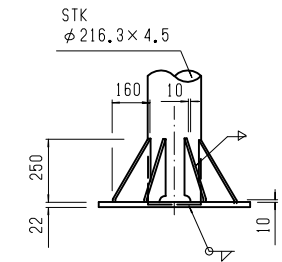
梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



6-BOLT-M16



(1:1.8) - H=1222  
 (1:1.5) - H=1467

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 4個

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m³
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 x 4.5 x 6140	144.29	1	144.3
ベース	PL	22 x 600 x 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 x 250 x 160 x 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 x 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 x 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 x 50 x 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					224.7
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 840	6.55	4	26.2
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 x 2.8 x 1136	5.77	2	11.5
フランジ	PL	16 x 280φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 x 150 x 70 x 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 x 231 x 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 x 286 x 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 x 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					139.5
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					369.7

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

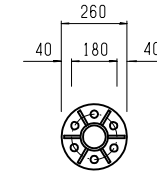
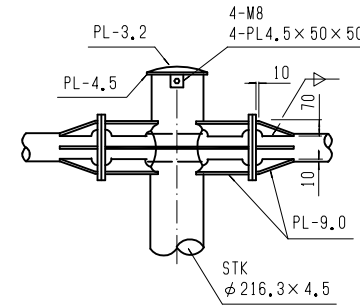
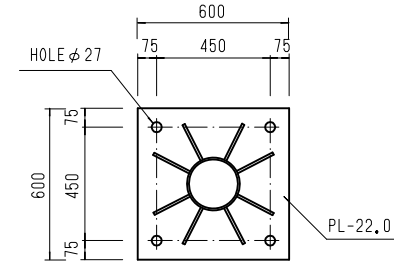
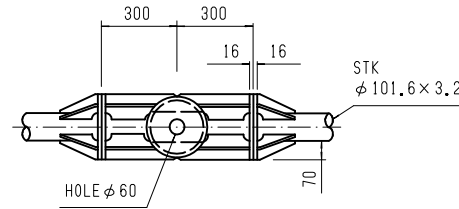
盛土 - 標識板下高さ2500mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5mに適用)

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 30
----------------	------------	-------------------

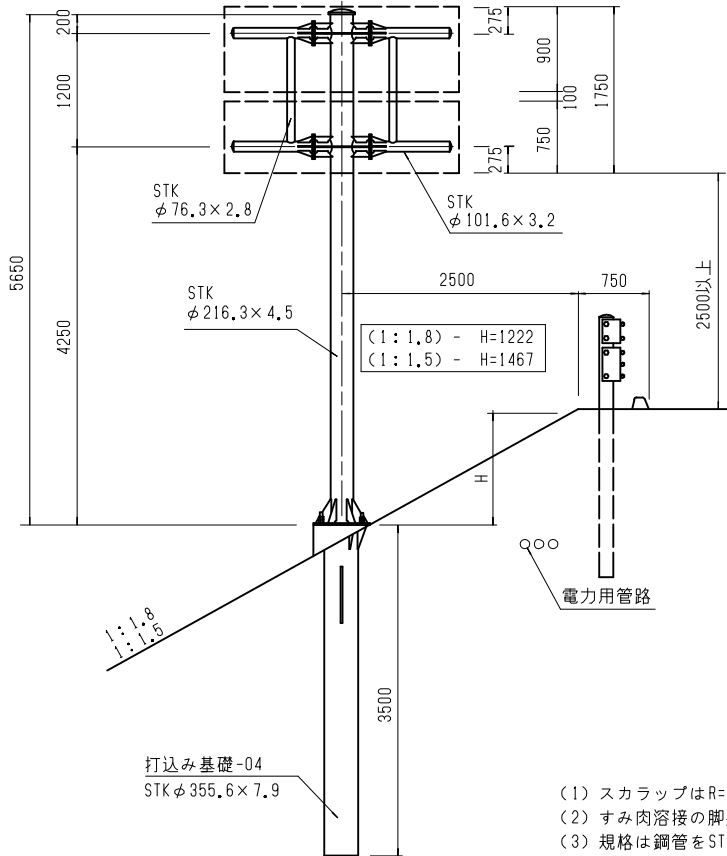
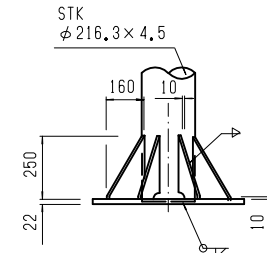
梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



2-F.PL-16 x 260φ  
6-BOLT-M16



設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 x 4.5 x 5640	132.54	1	132.5
ベース	PL	22 x 600 x 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 x 250 x 160 x 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 x 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 x 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 x 50 x 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					212.9
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 840	6.55	4	26.2
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 x 2.8 x 1136	5.77	2	11.5
フランジ	PL	16 x 280φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 x 150 x 70 x 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 x 231 x 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 x 286 x 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 x 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					139.5
フランジボルト	M16	L=70 (W.N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					357.9

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 4個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

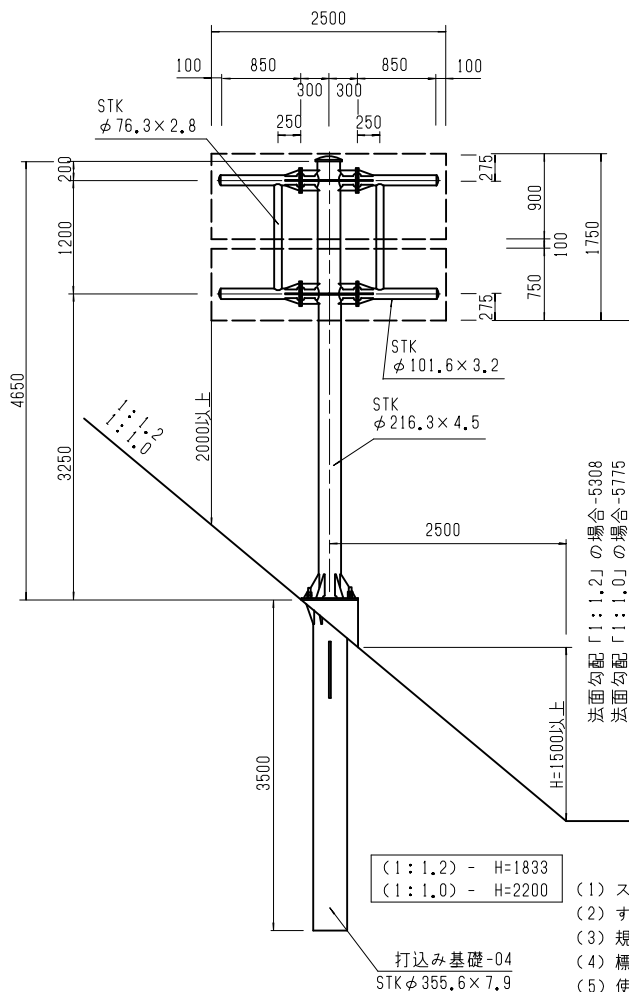
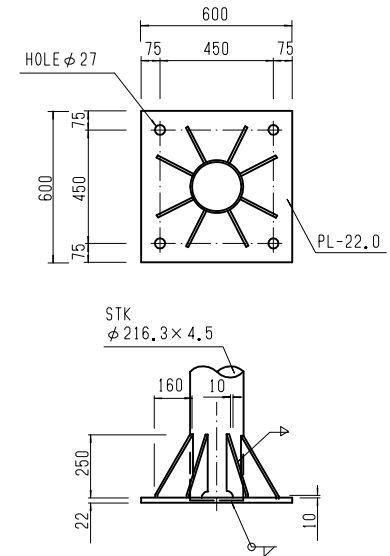
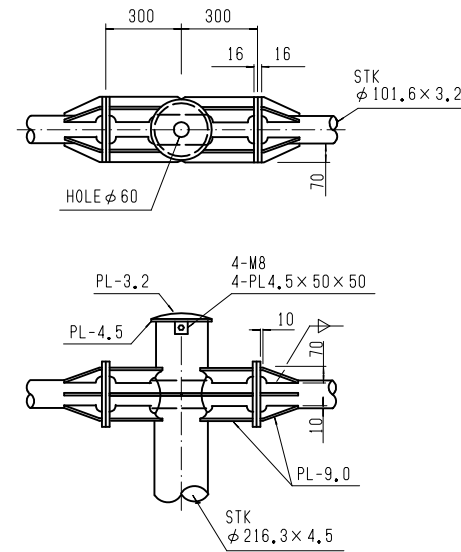
高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 31
----------------	------------	-------------------

切土 - 標識板下高さ2000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 2.0mに適用)

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種H0Z35以上とする。 標識板取付金具
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。 クラップ型ブラケット 4個

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 x 4.5 x 4640	109.04	1	109.0
ベース	PL	22 x 600 x 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 x 250 x 160 x 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 x 250 φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 x 240 φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 x 50 x 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					
					189.4
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 840	6.55	4	26.2
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 x 2.8 x 1136	5.77	2	11.5
フランジ	PL	16 x 280 φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 x 150 x 70 x 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 x 231 x 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 x 286 x 70	1.41	8	11.3
キャップ					
キャップ	PL	3.2 x 110 φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					
					139.5
フランジボルト		M16 L=70 (W.N)	0.227	24	5.448
キャップボルト		M8 L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					
					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					
					334.4

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

高規格道路  
(自専道)  
図面記号  
名称

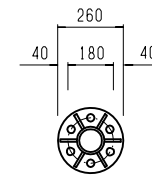
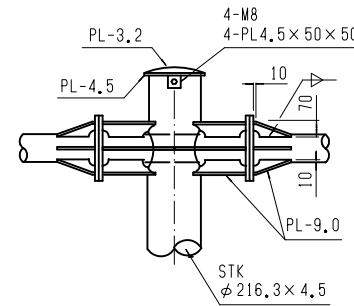
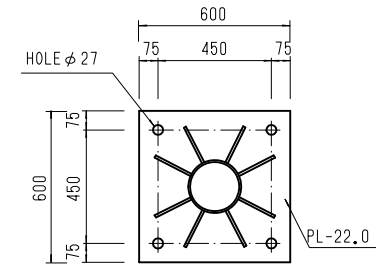
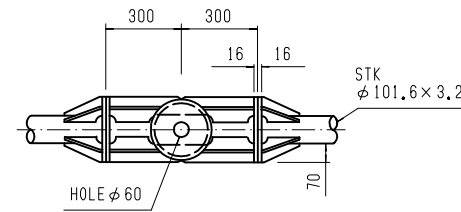
支柱詳細図  
路側柱 - 32

切土 - 標識板下高さ 1500mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5m に適用)

梁・柱の取合詳細図 S=1/30

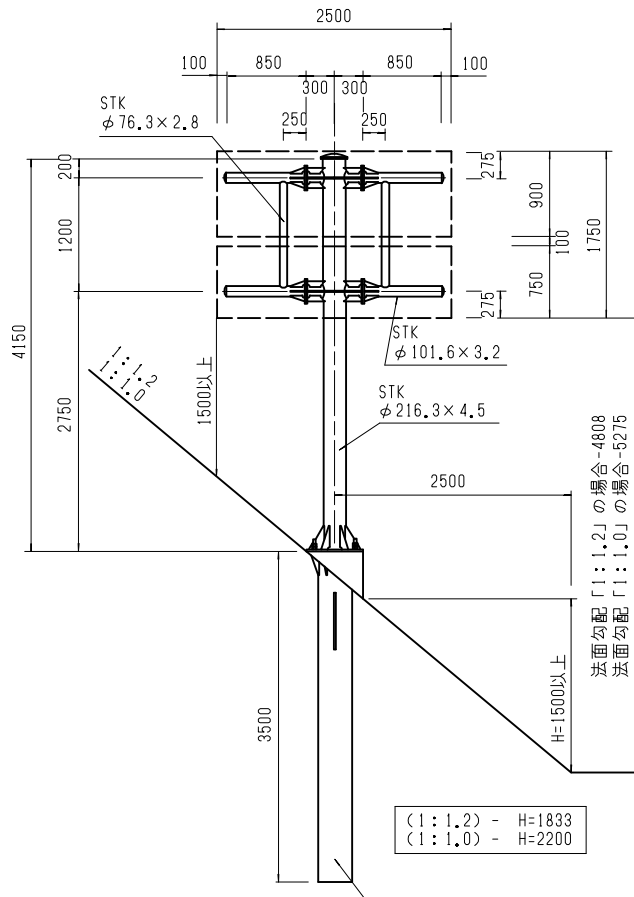
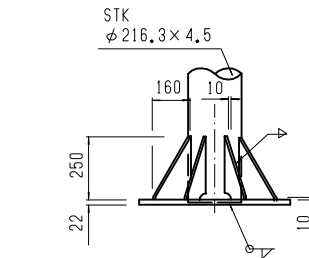
柱脚部詳細図 S=1/30

設置図 S=1/80



2-F, PL-16 x 260 φ

6-BOLT-M16



\* 法勾配が異なる場合は別途検討の事。

(1:1.2) - H=1833  
(1:1.0) - H=2200

打込み基礎-04  
STK φ355.6 x 7.9

- (1) スクラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、10°程度とする。

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 4個

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 -40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ216.3 x 4.5 x 4140	97.29	1	97.3
ベース	PL	22 x 600 x 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 x 250 x 160 x 1/2	1.88	8	15.0
キャップ	PL	3.2 x 250φ	1.23	1	1.2
キャップ	PL	4.5 x 240φ	1.60	1	1.6
キャップ	PL	4.5 x 50 x 50	0.09	4	0.4
小計 (1)					177.7
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 840	6.55	4	26.2
梁材	STK	φ101.6 x 3.2 x 580	4.52	2	9.0
ラチス材	STK	φ76.3 x 2.8 x 1136	5.77	2	11.5
フランジ	PL	16 x 280φ	6.67	8	53.4
フランジリブ	PL	9 x 150 x 70 x 1/2	0.37	24	8.9
フランジリブ	PL	9 x 231 x 70	1.14	16	18.2
フランジリブ	PL	9 x 286 x 70	1.41	8	11.3
キャップ	PL	3.2 x 110φ	0.24	4	1.0
小計 (2)					139.5
フランジボルト	M16	L=70 (W, N)	0.227	24	5.448
キャップボルト	M8	L=20 (SCREW)	0.013	4	0.052
小計 (3)					5.500
標識柱合計 (1) + (2) + (3)					322.7

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

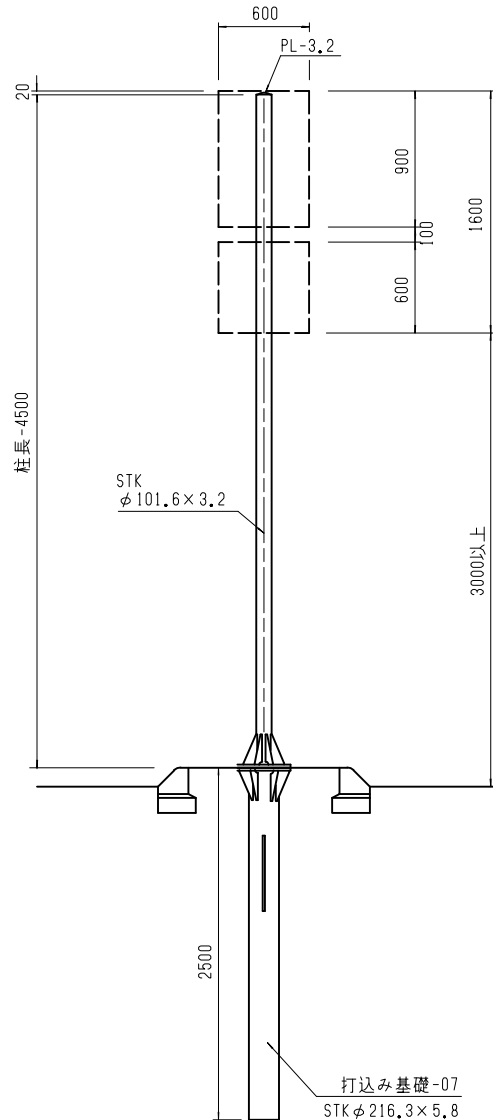
分岐部ノーズ-標識板下高さ3000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 3.0mに適用)

高規格道路  
(自専道)

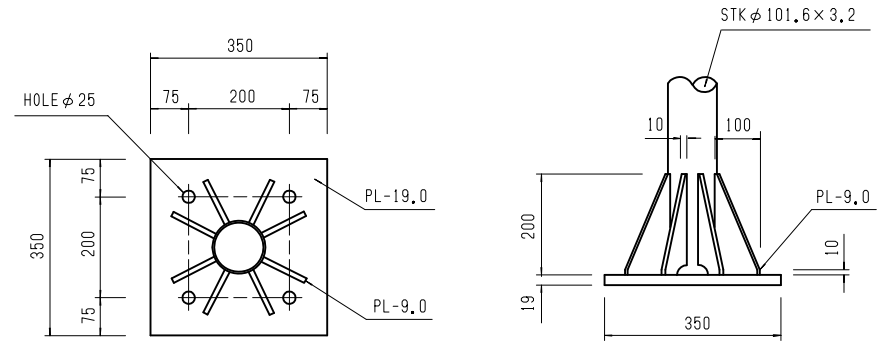
図面記号  
名称

支柱詳細図 路側柱-33

設置図 S=1/50



柱脚部詳細図 S=1/15



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融垂鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融垂鉛メッキ仕上げ2種H0Z35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、5°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec(路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ101.6 × 3.2 × 4490	35.02	1	35.0
ベース	PL	19 × 350 × 350	18.27	1	18.3
ベースリブ	PL	9 × 200 × 100 × 1/2	0.71	8	5.7
キャップ	PL	3.2 × 101.6φ	0.20	1	0.2
合計					59.2

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 2個

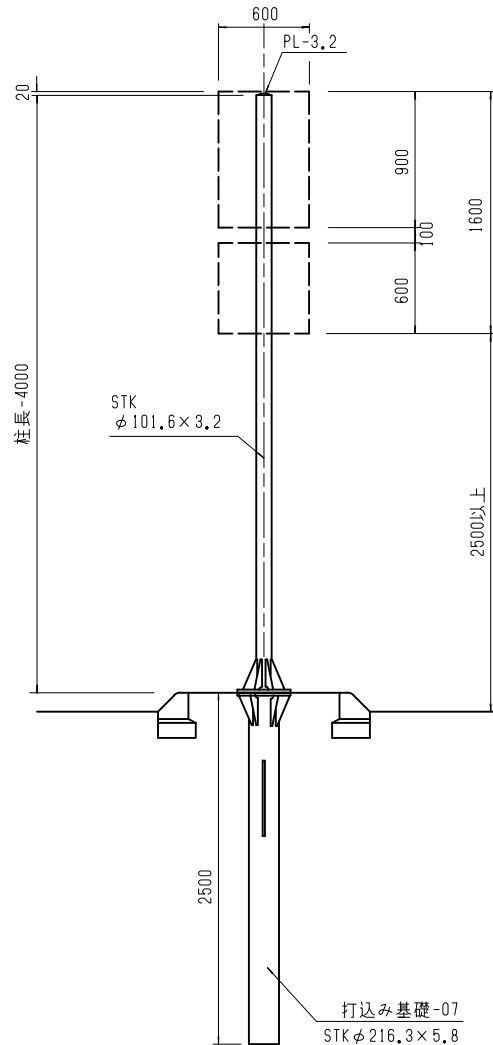
\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

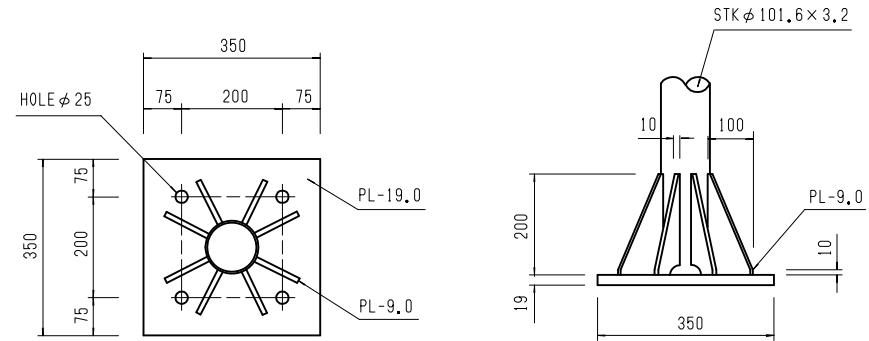
高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 34
----------------	------------	-------------------

分岐部ノーズ - 標識板下高さ2500mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5mに適用)

設置図 S=1/50



柱脚部詳細図 S=1/15



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、5°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ101.6 × 3.2 × 3390	31.12	1	31.1
ベース	PL	19 × 350 × 350	18.27	1	18.3
ベースリブ	PL	9 × 200 × 100 × 1/2	0.71	8	5.7
キャップ	PL	3.2 × 101.6φ	0.20	1	0.2
合 計					55.3

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 2 個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

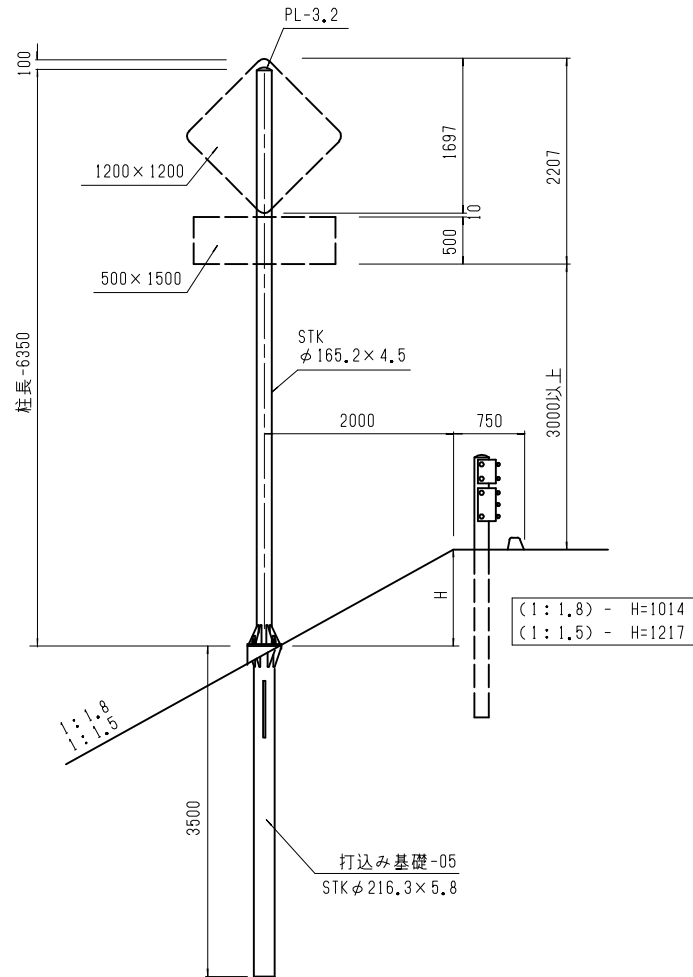
高規格道路  
(自専道)

図面記号  
名称

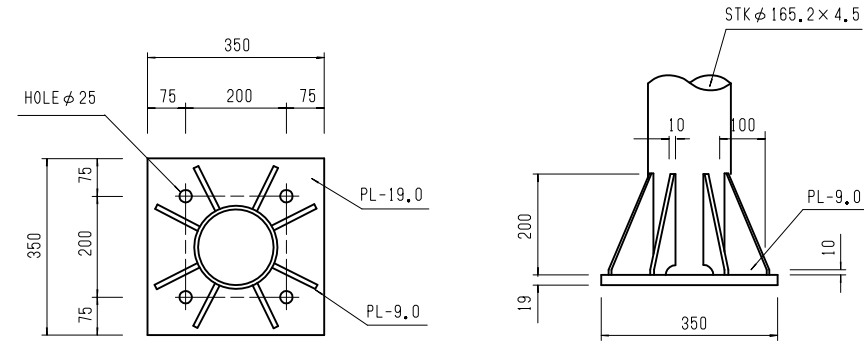
支柱詳細図 路側柱 - 35

盛土 - 標識板下高さ3000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 3.0mに適用)

設置図 S=1/80



柱脚部詳細図 S=1/15



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、5°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ165.2 × 4.5 × 6340	112.85	1	112.9
ベース	PL	19 × 350 × 350	18.27	1	18.3
ベースリブ	PL	9 × 200 × 100 × 1/2	0.71	8	5.7
キャップ	PL	3.2 × 139.8φ	0.54	1	0.5
合 計					137.4

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 2個

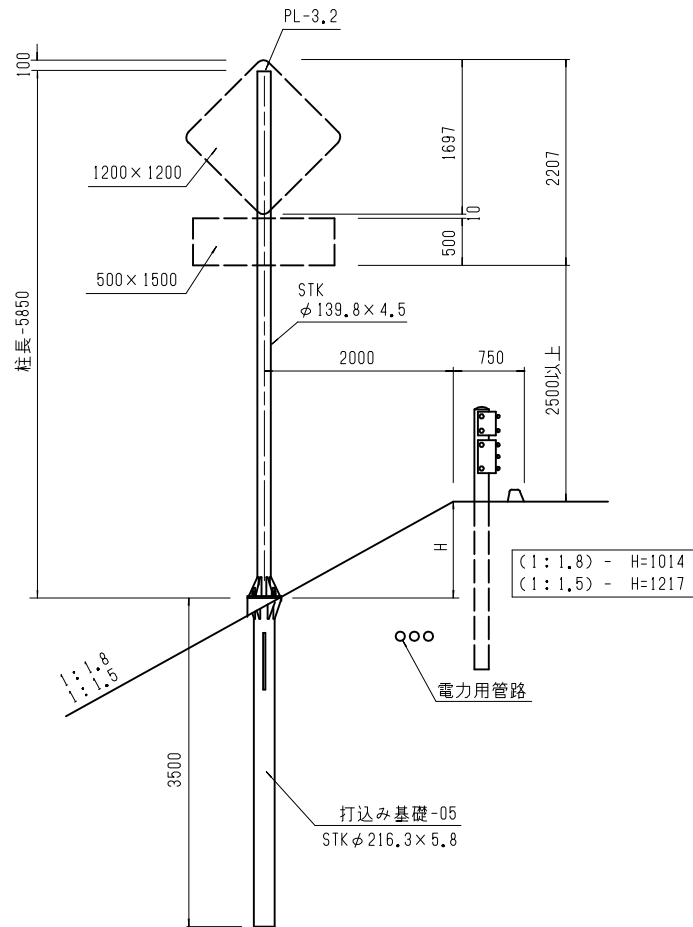
\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

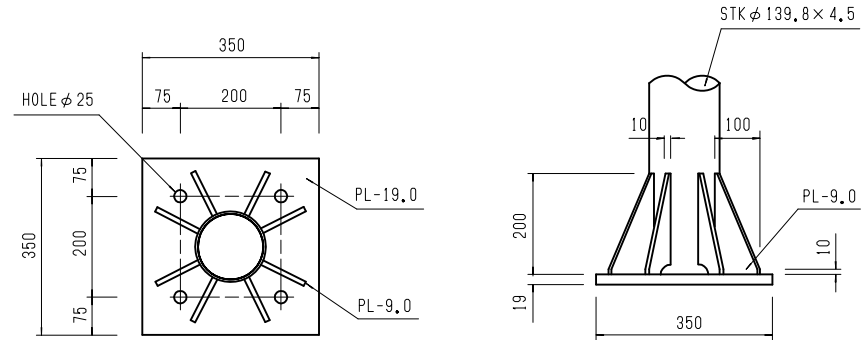
盛土 - 標識板下高さ2500mm  
(0m ≦ 積雪深 ≦ 1.5mに適用)

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 36
----------------	------------	-------------------

設置図 S=1/80



柱脚部詳細図 S=1/15



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種H0Z35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、5°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ139.8 × 4.5 × 5840	87.60	1	87.6
ベース	PL	19 × 350 × 350	18.27	1	18.3
ベースリブ	PL	9 × 200 × 100 × 1/2	0.71	8	5.7
キャップ	PL	3.2 × 139.8φ	0.39	1	0.4
合 計					112.0

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 2個

\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

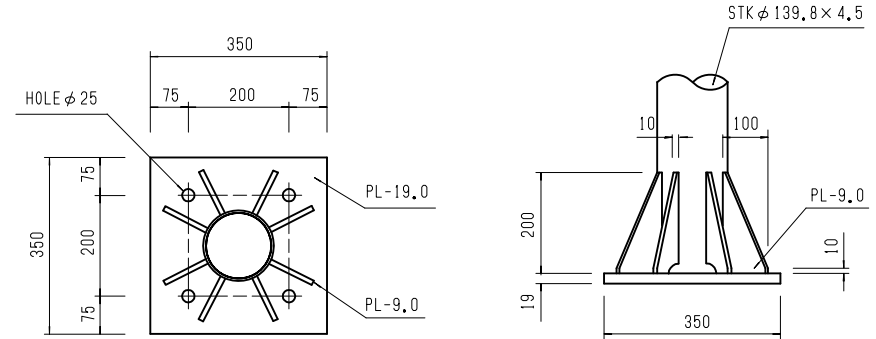
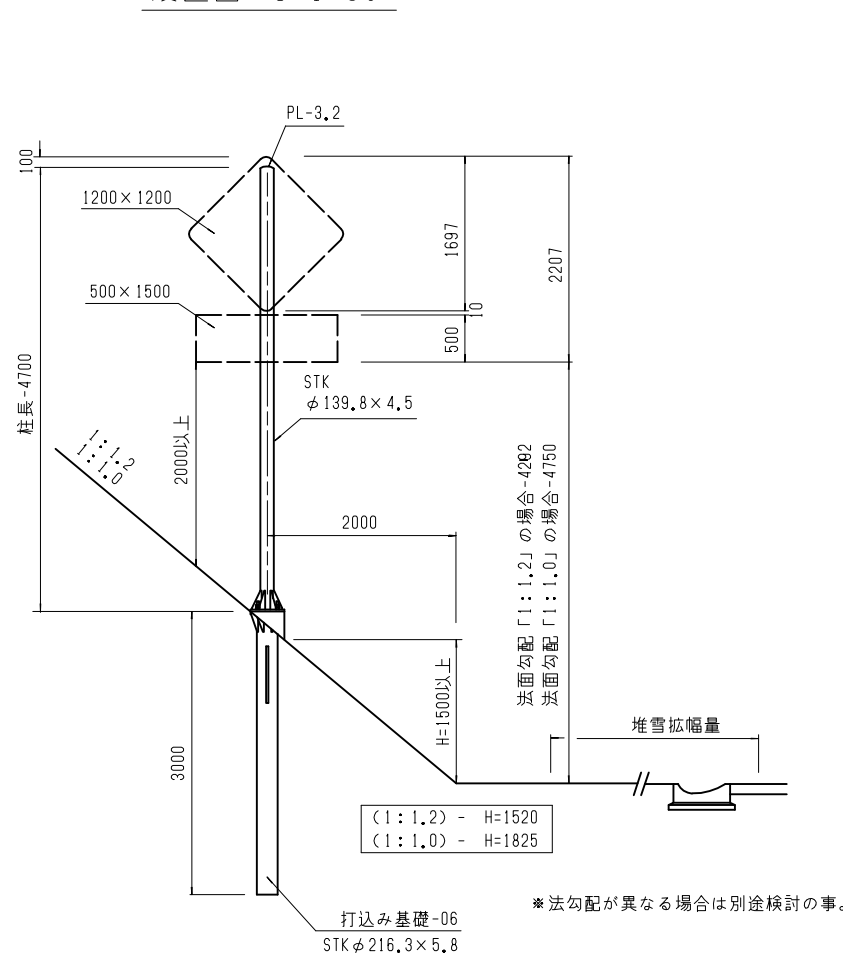


高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 37
----------------	------------	-------------------

切土 - 標識板下高さ2000mm  
(1.5m < 積雪深 ≤ 2.0mに適用)

柱脚部詳細図 S=1/15

設置図 S=1/80



- (1) スカラップはR=25とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、5°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速-40m/sec (路側柱)とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ139.8 × 4.5 × 4690	70.35	1	70.4
ベース	PL	19 × 350 × 350	18.27	1	18.3
ベースリブ	PL	9 × 200 × 100 × 1/2	0.71	8	5.7
キャップ	PL	3.2 × 139.8φ	0.39	1	0.4
合 計					94.8

標識板取付金具

クランプ型ブラケット 2個

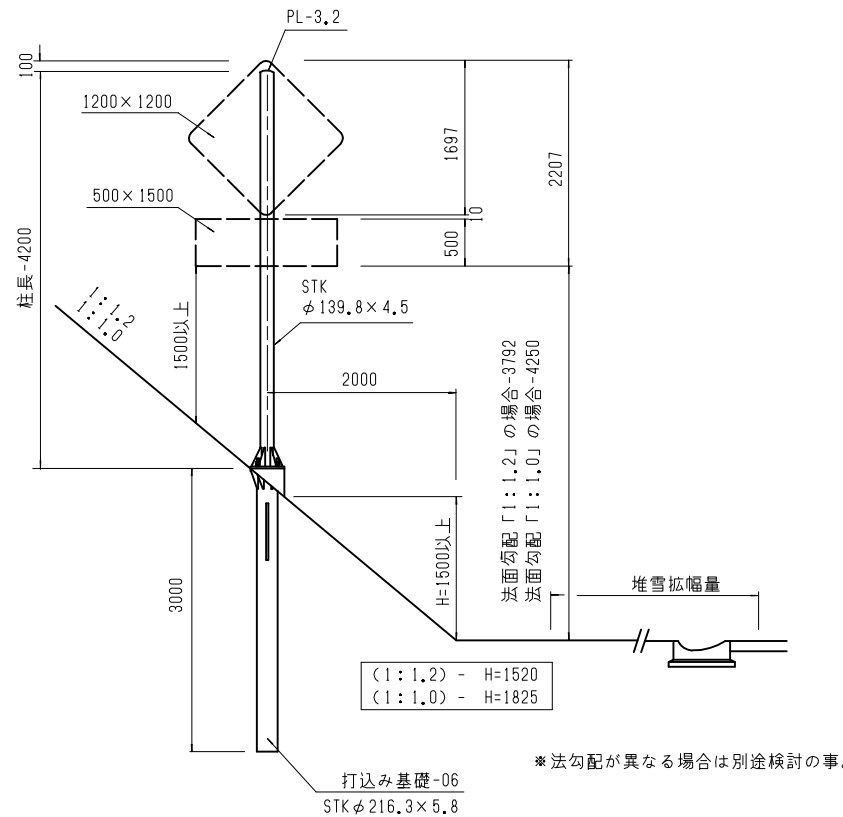
\* 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

\* 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

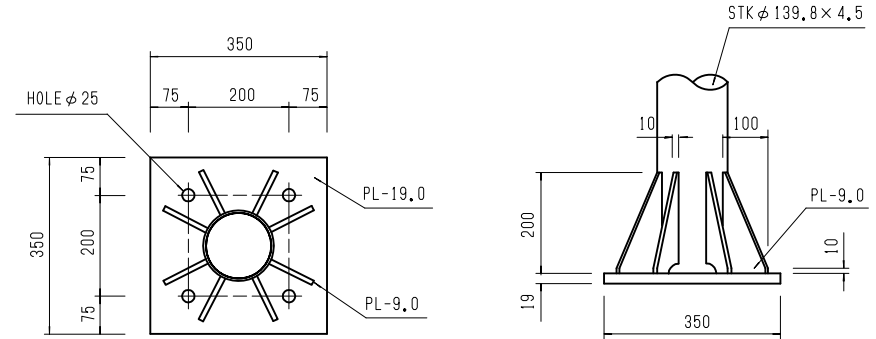
高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	支柱詳細図 路側柱 - 38
----------------	------------	-------------------

切土 - 標識板下高さ 1500 mm  
(0m ≤ 積雪深 ≤ 1.5m に適用)

設置図 S=1/80



柱脚部詳細図 S=1/15



- (1) スカラップは R=25 とする。
- (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
- (3) 規格は鋼管を STK400、鋼板、形鋼、ボルトは SS400 とする。
- (4) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H8461)
- (5) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種 HDZ35 以上とする。
- (6) 標識板の前傾角度は、5°程度とする。

設計条件 (設計条件が異なる場合は別途検討の事)

- \* 設計風速 - 40m/sec (路側柱) とする。
- \* 土の単位体積重量 17~19kN/m<sup>3</sup>
- \* 土の内部摩擦角 25~35°
- \* 標準貫入試験値 10~30

名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
柱	STK	φ139.8 × 4.5 × 4190	62.85	1	62.9
ベース	PL	19 × 350 × 350	18.27	1	18.3
ベースリブ	PL	9 × 200 × 100 × 1/2	0.71	8	5.7
キャップ	PL	3.2 × 139.8φ	0.39	1	0.4
合 計					87.3

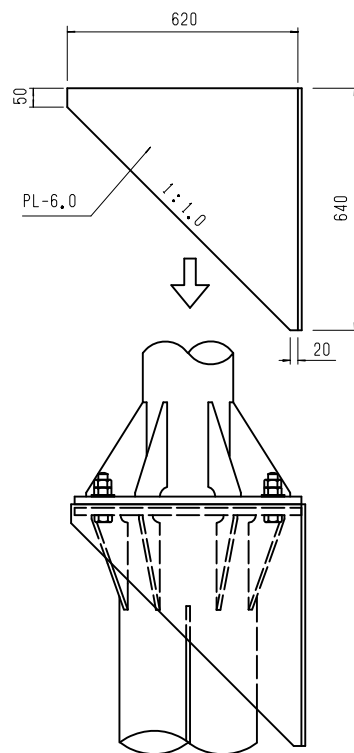
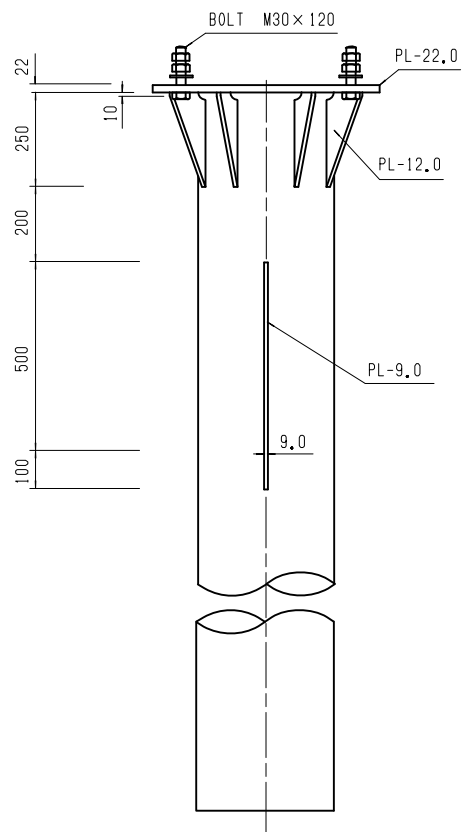
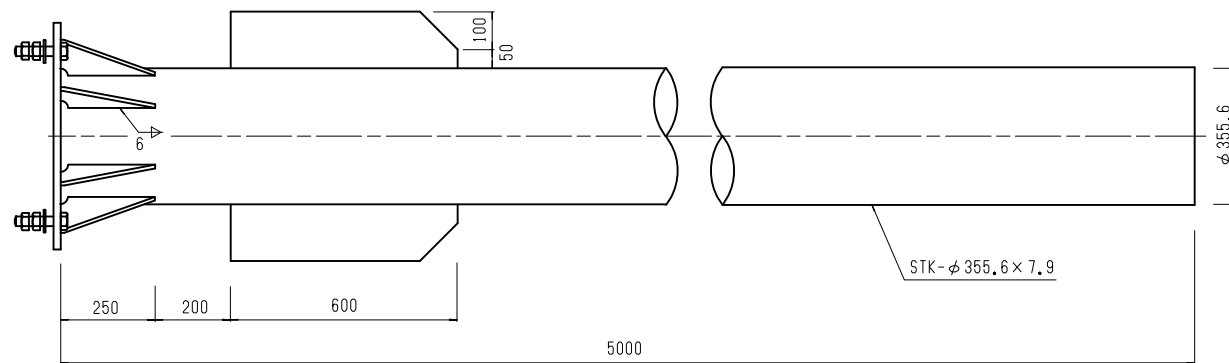
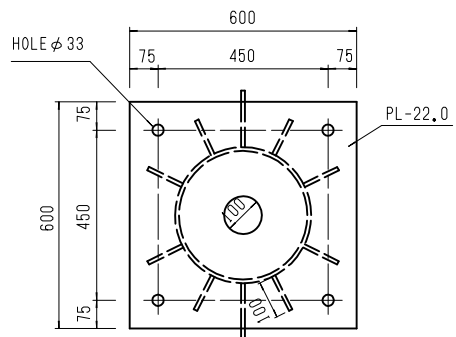
標識板取付金具

クランプ型ブラケット 2 個

※ 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。

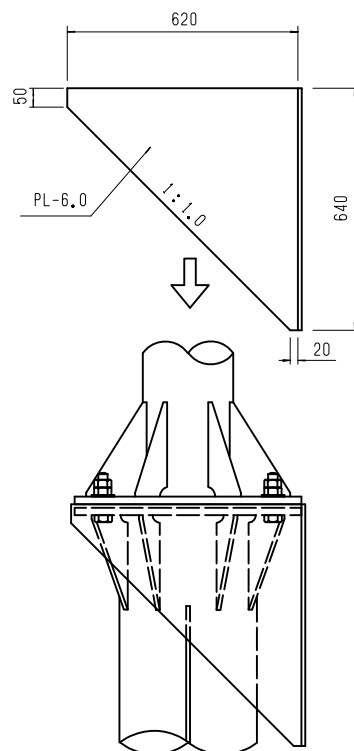
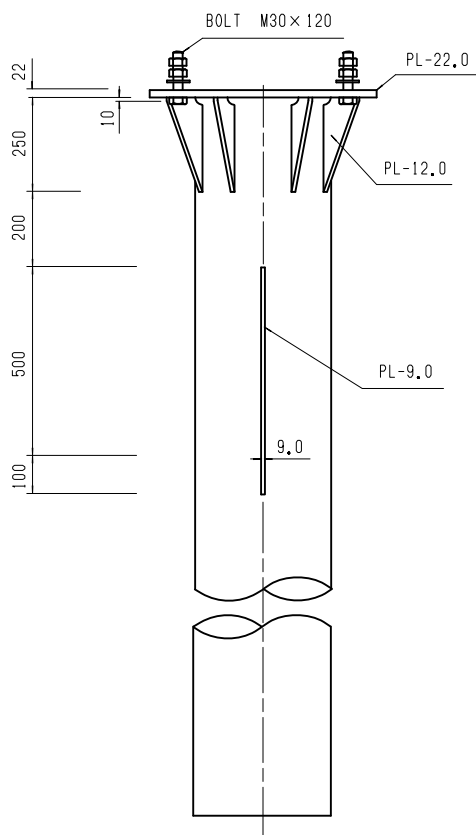
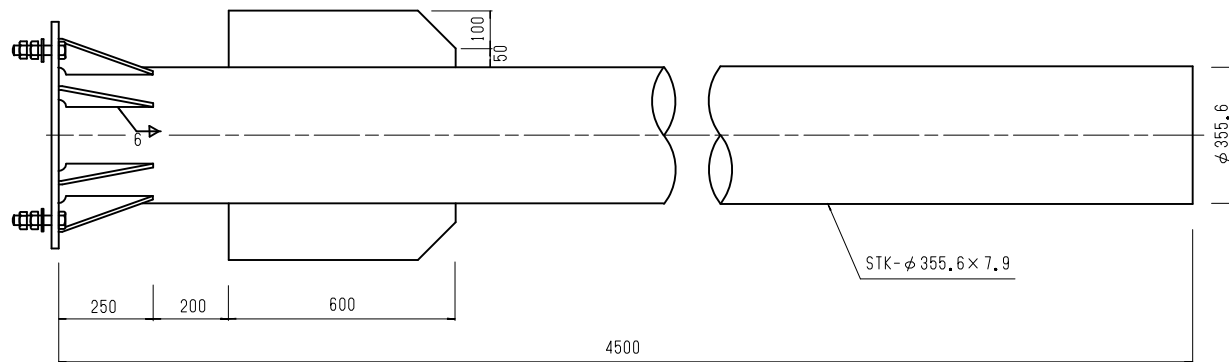
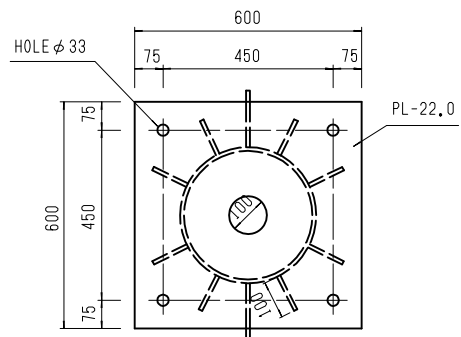
※ 道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図	打込み基礎 - 01
----------------	------------	-------	------------



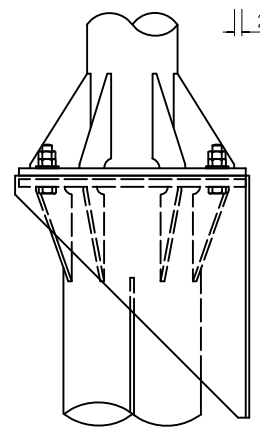
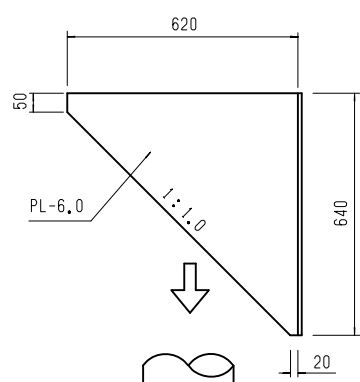
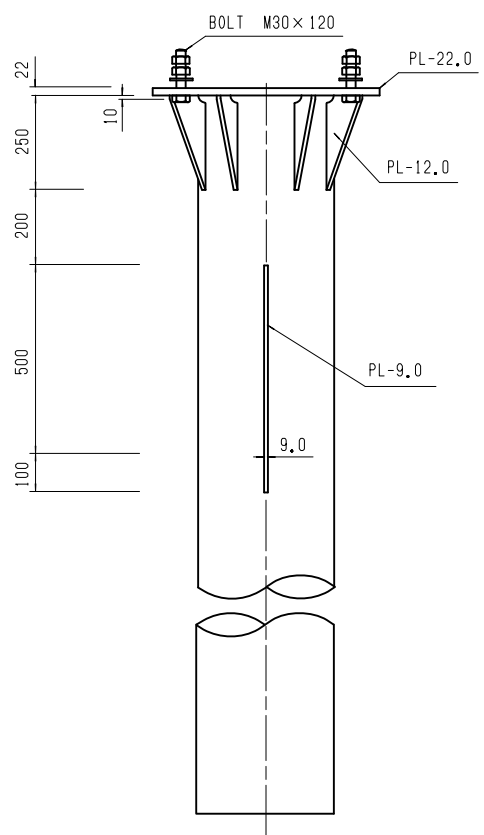
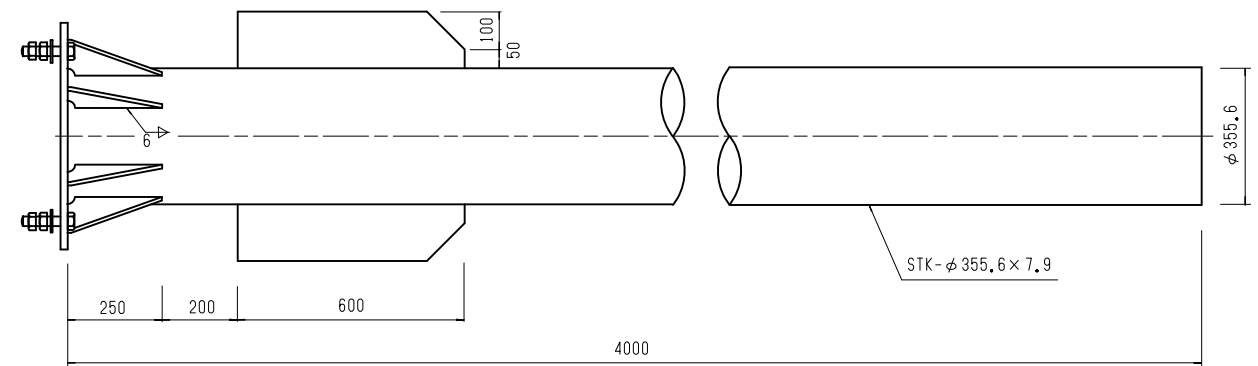
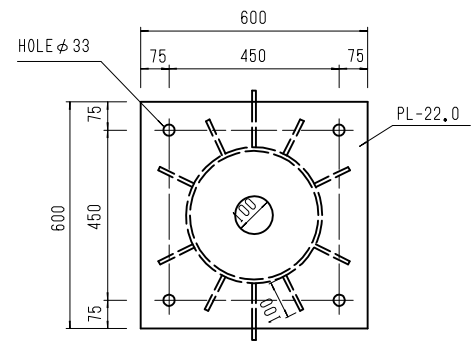
名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
鋼管	STK	$\phi 355.6 \times 7.9 \times 5000$	338.50	1	338.5
ベース	PL	$22 \times 600 \times 600$	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	$12 \times 250 \times 100 \times 1/2$	1.18	8	9.4
回り止め	PL	$9 \times 600 \times 150$	6.36	2	12.7
ボルト	M30	L=120 (W, N)	—	4	—
小計 (1)					422.8
化粧枠	PL	$6 \times 620 \times 620$	18.11	1	18.1
化粧枠	PL	$6 \times 620 \times 640$	18.69	1	18.7
化粧枠	PL	$6 \times 620 \times 640 \times 1/2$	9.34	2	18.7
小計 (2)					55.5
総合計 (1) + (2)					481.0

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図	打込み基礎 - 02
----------------	------------	-------	------------



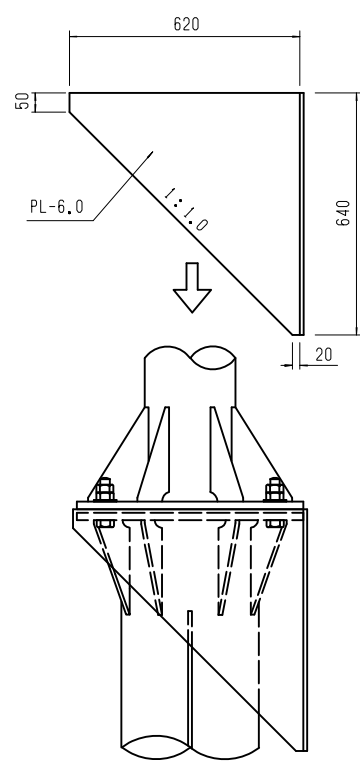
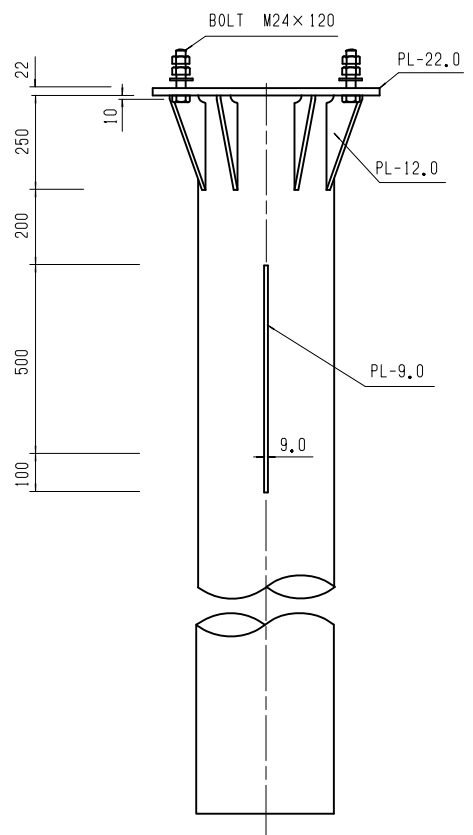
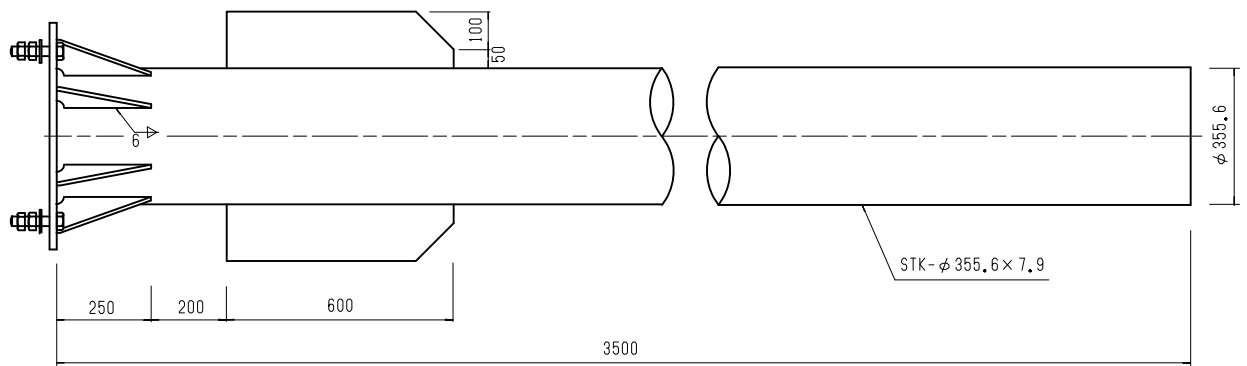
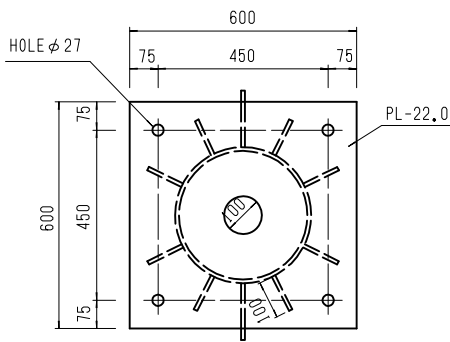
名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
鋼管	STK	φ355.6 × 7.9 × 4500	304.65	1	304.6
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 100 × 1/2	1.18	8	9.4
回り止め	PL	9 × 600 × 150	6.36	2	12.7
ボルト	M30	L=120 (W, N)	—	4	—
小計 (1)					389.0
化粧枠	PL	6 × 620 × 620	18.11	1	18.1
化粧枠	PL	6 × 620 × 640	18.69	1	18.7
化粧枠	PL	6 × 620 × 640 × 1/2	9.34	2	18.7
小計 (2)					55.5
総合計 (1) + (2)					447.2

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図	打込み基礎 - 03
----------------	------------	-------	------------



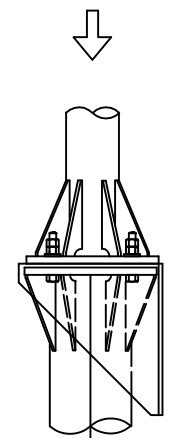
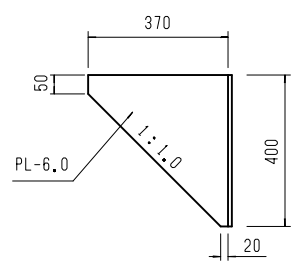
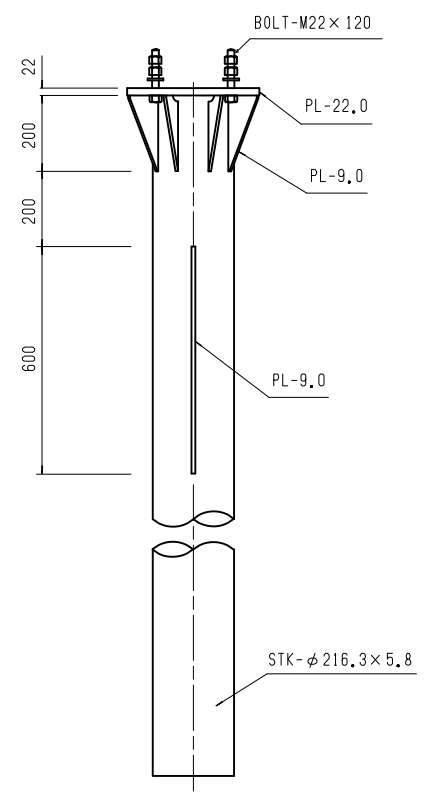
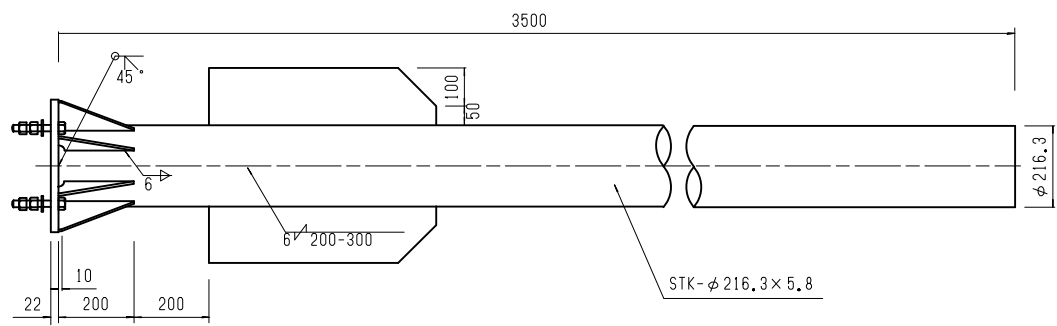
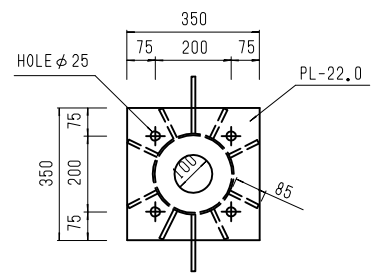
名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
鋼管	STK	φ355.6 × 7.9 × 4000	270.80	1	270.8
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 100 × 1/2	1.18	8	9.4
回り止め	PL	9 × 600 × 150	6.36	2	12.7
ボルト	M30	L=120 (W, N)	—	4	—
小計 (1)					355.1
化粧鉄	PL	6 × 620 × 620	18.11	1	18.1
化粧鉄	PL	6 × 620 × 640	18.69	1	18.7
化粧鉄	PL	6 × 620 × 640 × 1/2	9.34	2	18.7
小計 (2)					55.5
総合計 (1) + (2)					413.3

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図	打込み基礎 - 04
----------------	------------	-------	------------



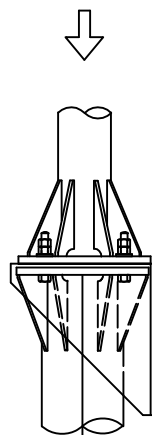
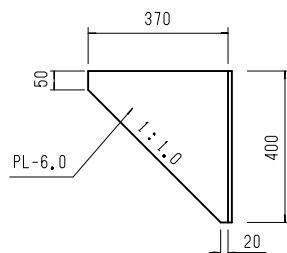
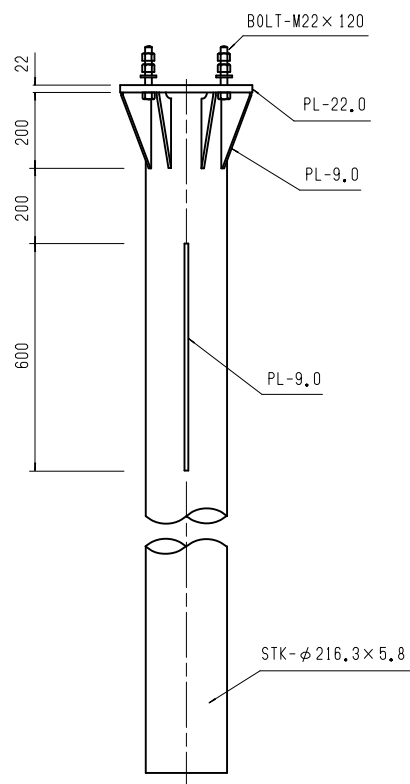
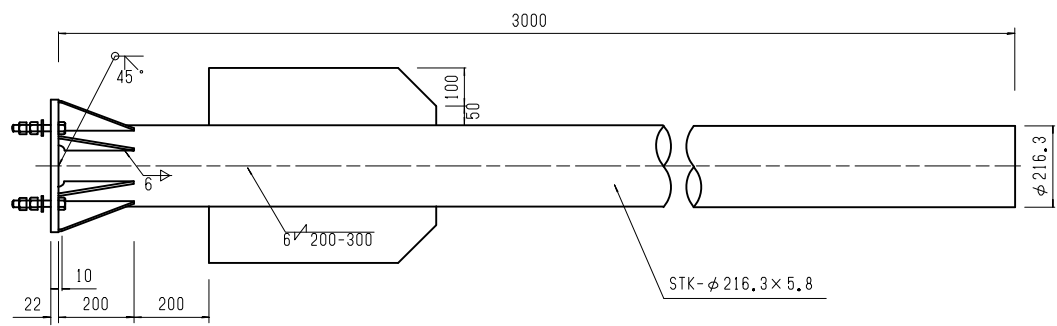
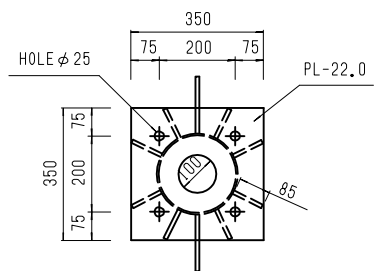
名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
鋼管	STK	φ355.6 × 7.9 × 3500	236.95	1	237.0
ベース	PL	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2
ベースリブ	PL	12 × 250 × 100 × 1/2	1.18	8	9.4
回り止め	PL	9 × 600 × 150	6.36	2	12.7
ボルト		M24 L=120 (W, N)	—	4	—
小計 (1)					321.3
化粧枠	PL	6 × 620 × 620	18.11	1	18.1
化粧枠	PL	6 × 620 × 640	18.69	1	18.7
化粧枠	PL	6 × 620 × 640 × 1/2	9.34	2	18.7
小計 (2)					55.5
総合計 (1) + (2)					378.5

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図 打込み基礎 - 05
----------------	------------	---------------------



名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
鋼管	STK	φ216.3 × 5.8 × 3500	105.35	1	105.4
ベース	PL	22 × 350 × 350	21.16	1	21.2
ベースリブ	PL	9 × 200 × 85 × 1/2	0.60	8	4.8
回り止め	PL	9 × 600 × 150	6.36	2	12.7
ボルト		M22 L=120 (W, N)	—	4	—
小計 (1)					144.1
化粧鉄	PL	6 × 370 × 370	6.45	1	6.5
化粧鉄	PL	6 × 370 × 400	6.97	1	7.0
化粧鉄	PL	6 × 370 × 400 × 1/2	3.49	2	7.0
小計 (2)					20.5
総合計 (1) + (2)					167.0

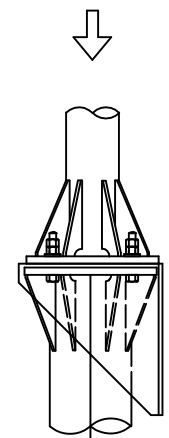
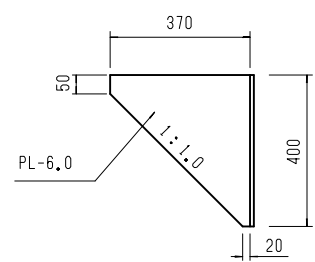
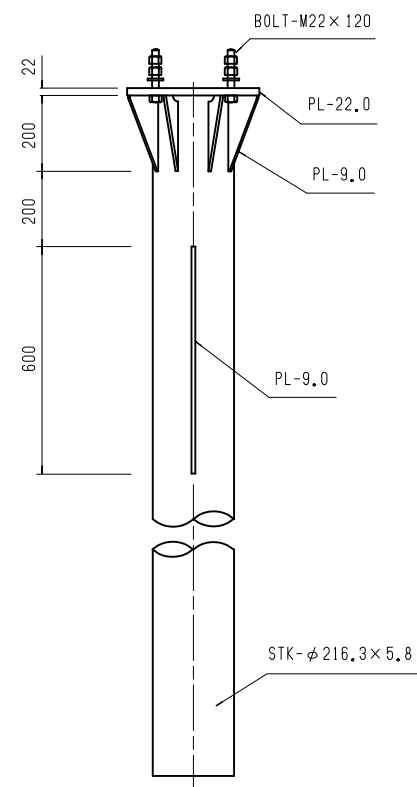
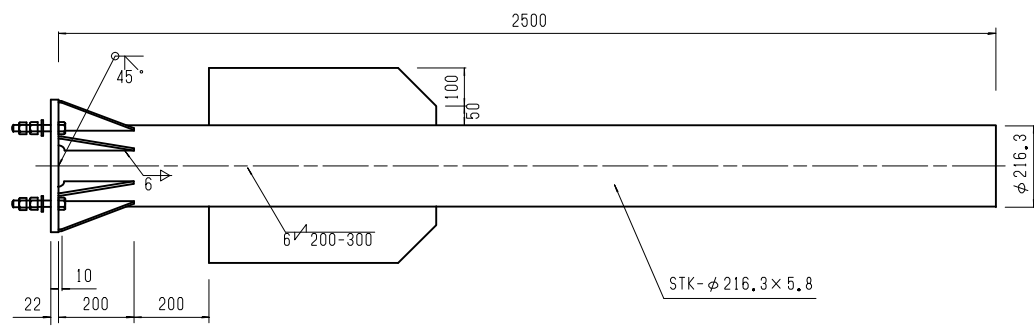
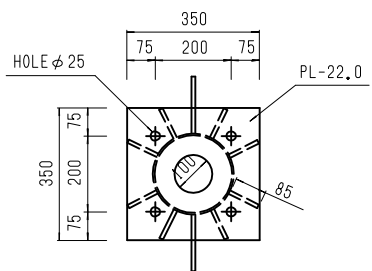
高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図	打込み基礎 - 06
----------------	------------	-------	------------



名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
鋼管	STK	φ216.3 × 5.8 × 3000	90.30	1	90.3
ベース	PL	22 × 350 × 350	21.16	1	21.2
ベースリブ	PL	9 × 200 × 85 × 1/2	0.60	8	4.8
回り止め	PL	9 × 600 × 150	6.36	2	12.7
ボルト		M22 L=120 (W, N)	—	4	—
小計 (1)					129.0
化粧枠	PL	6 × 370 × 370	6.46	1	6.5
化粧枠	PL	6 × 370 × 400	6.97	1	7.0
化粧枠	PL	6 × 370 × 400 × 1/2	3.49	2	7.0
小計 (2)					20.5
総合計 (1) + (2)					151.9



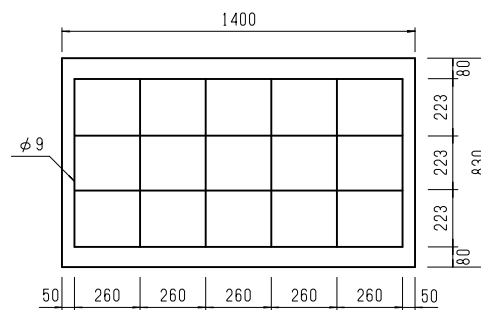
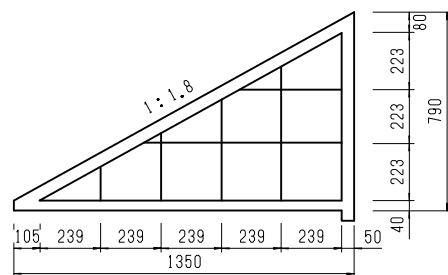
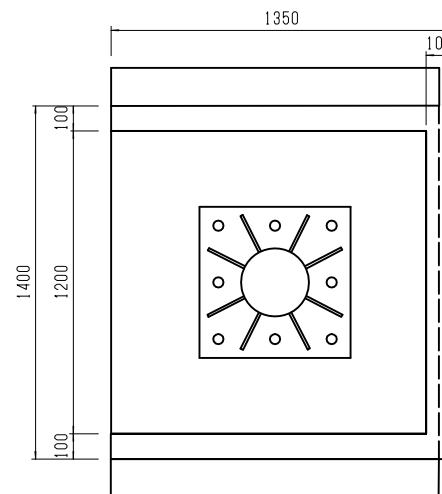
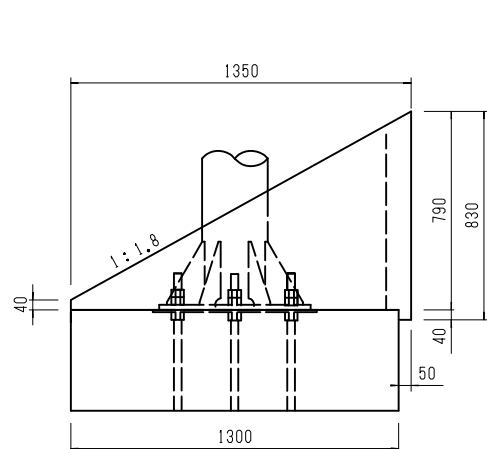
高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図 打込み基礎 - 07
----------------	------------	---------------------



名称	種別	断面・寸法 (mm)	単重量 (kg)	数量	重量 (kg)
鋼管	STK	φ216.3 × 5.8 × 2500	75.25	1	75.3
ベース	PL	22 × 350 × 350	21.16	1	21.2
ベースリブ	PL	9 × 200 × 85 × 1/2	0.60	8	4.8
回り止め	PL	9 × 600 × 150	6.36	2	12.7
ボルト		M22 L=120 (W, N)	—	4	—
小計 (1)					114.0
化粧枠	PL	6 × 370 × 370	6.45	1	6.5
化粧枠	PL	6 × 370 × 400	6.97	1	7.0
化粧枠	PL	6 × 370 × 400 × 1/2	3.49	2	7.0
小計 (2)					20.5
総合計 (1) + (2)					135.9

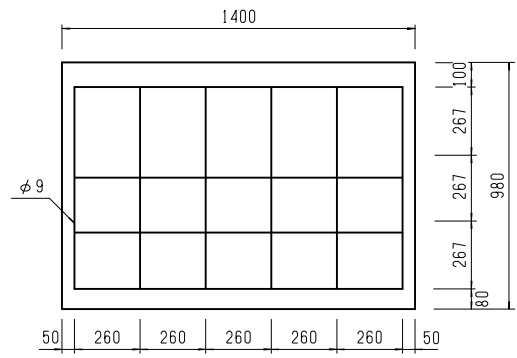
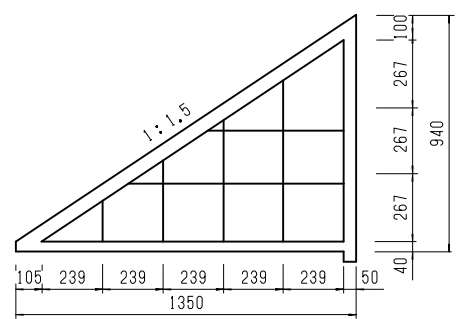
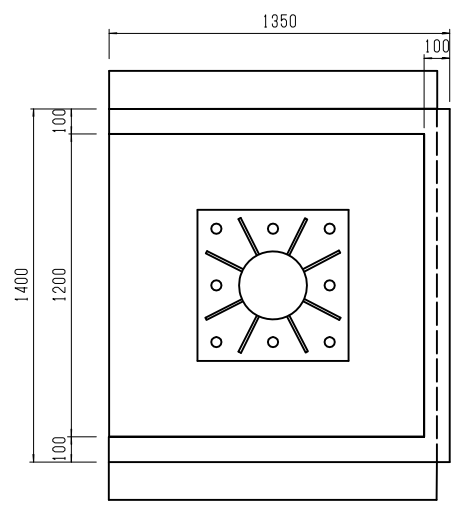
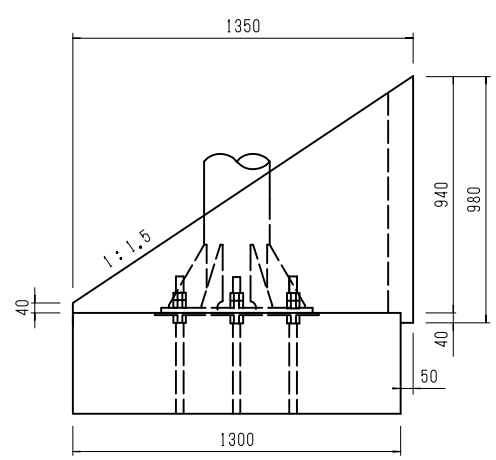
高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図 法止めブロック-01
----------------	------------	---------------------

法止めブロック 法面勾配 - 1 : 1.8 用 S=1/30



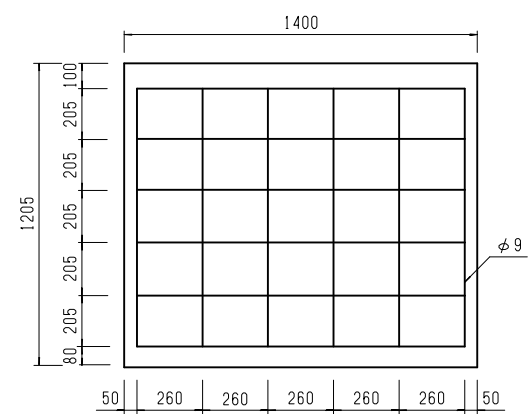
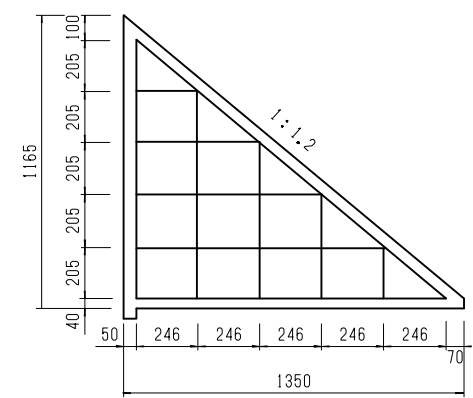
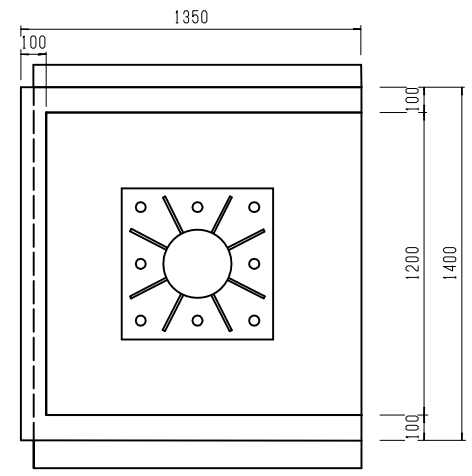
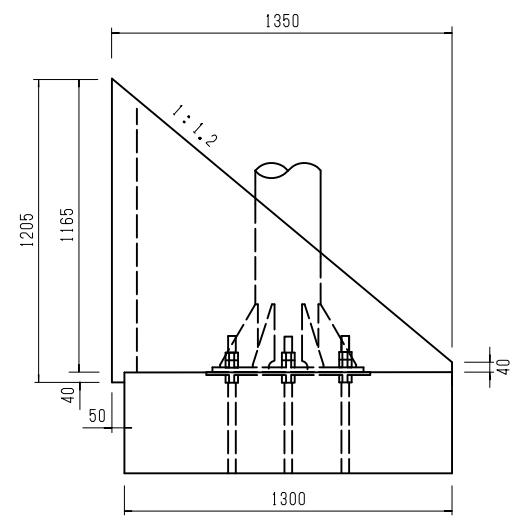
高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図 法止めブロック-02
----------------	------------	---------------------

法止めブロック 法面勾配 - 1 : 1.5 用 S=1/30



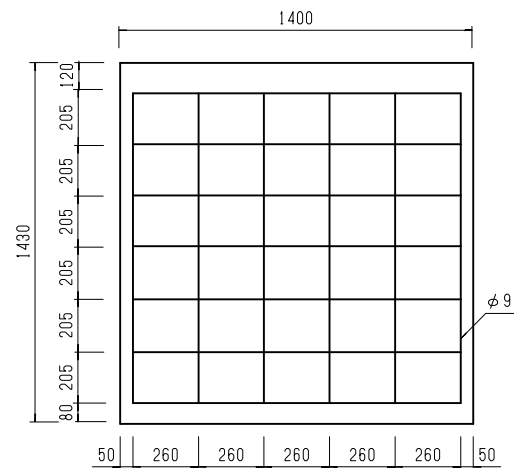
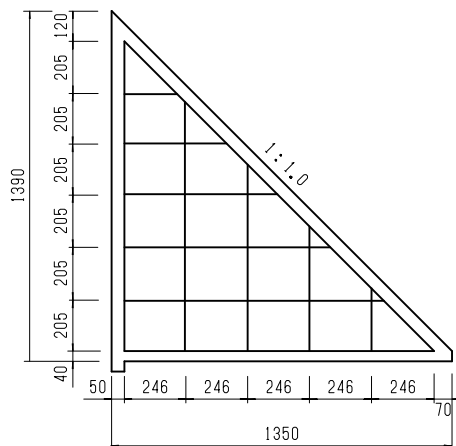
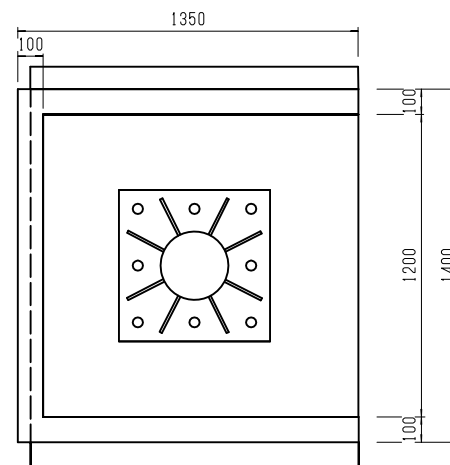
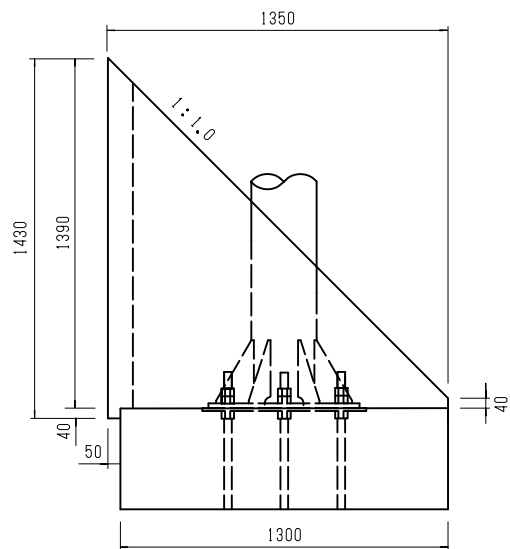
高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図 法止めブロック-03
----------------	------------	---------------------

法止めブロック 法面勾配 - 1 : 1.2 用 S=1/30

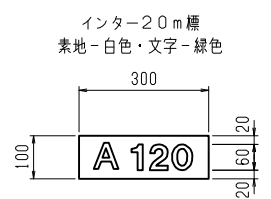
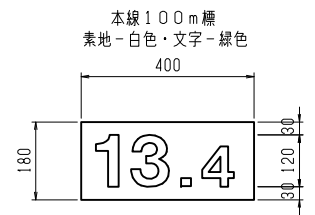
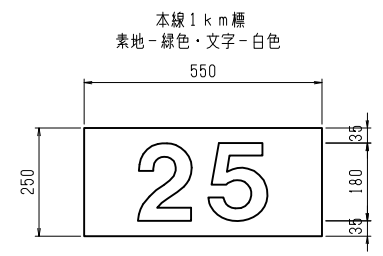
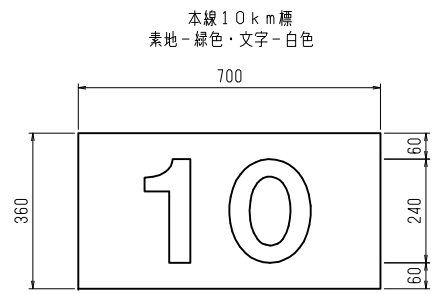


高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	基礎詳細図 法止めブロック-04
----------------	------------	------------------

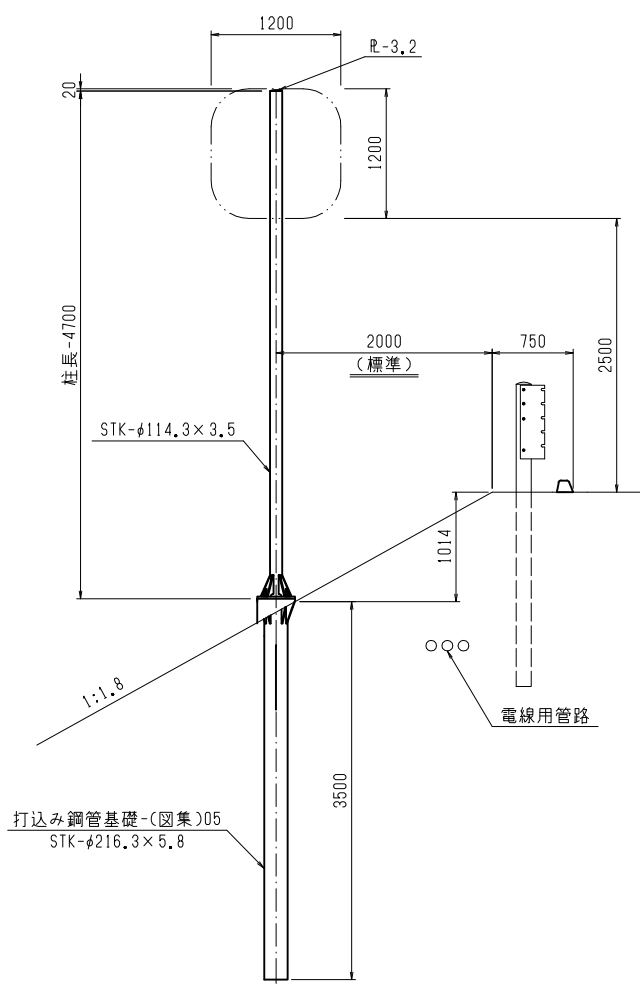
法止めブロック 法面勾配 - 1 : 1.0 用 S=1/30



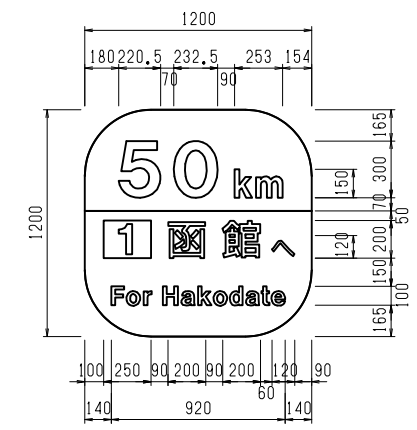
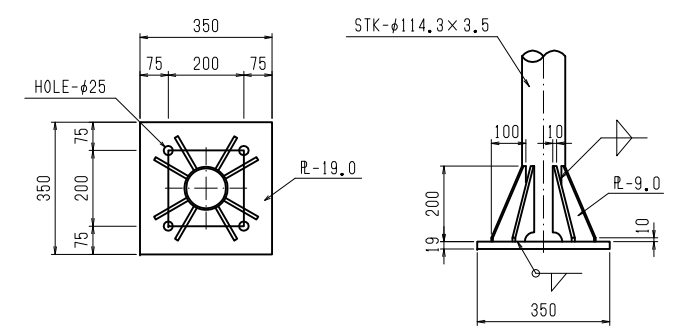
高規格道路 (自専道)	図面記号	地点標
	名称	



50km標 設置図



柱脚部詳細図



- 注意
- (1) スカラップはR=25とする。
  - (2) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。
  - (3) 規格は鋼管をSTK400、鋼板、形鋼、ボルトはSS400とする。
  - (4) 標識板の大きさ、枚数、位置等が変更になる場合、標識柱および基礎工等について別途検討の事。
  - (5) 標識柱は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(JIS H 8461)
  - (6) 使用するボルト・ナット類は溶融亜鉛メッキ仕上げ2種HDZ35以上とする。
  - (7) 反射材は広角プリズムレンズ型反射シートとする。
  - (8) 基板はアルミt=2.0mmを使用。
  - (9) 補強材はアルミスライドチャンネル(平リブ)をスポット溶接にて接続。
  - (10) 補強材は1km標・100m標・20m標は1段、10km標・50km標は2段とする。
  - (11) 設置方法は原則として、50km標は独立柱で設置、10km標・1km標・100m標・20m標はスノーポール(自発光式・反射式)に添架とする。

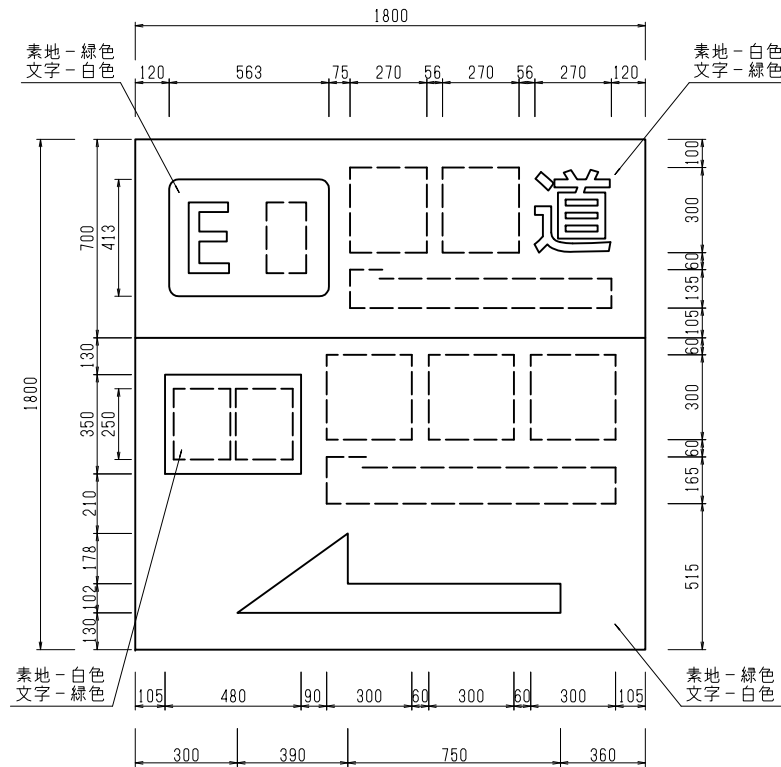
※道路形状、地質(切土で軟岩など)条件などによりコンクリート基礎との経済比較、施工性を別途検討する事。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板-21
----------------	------------	-----------	--------

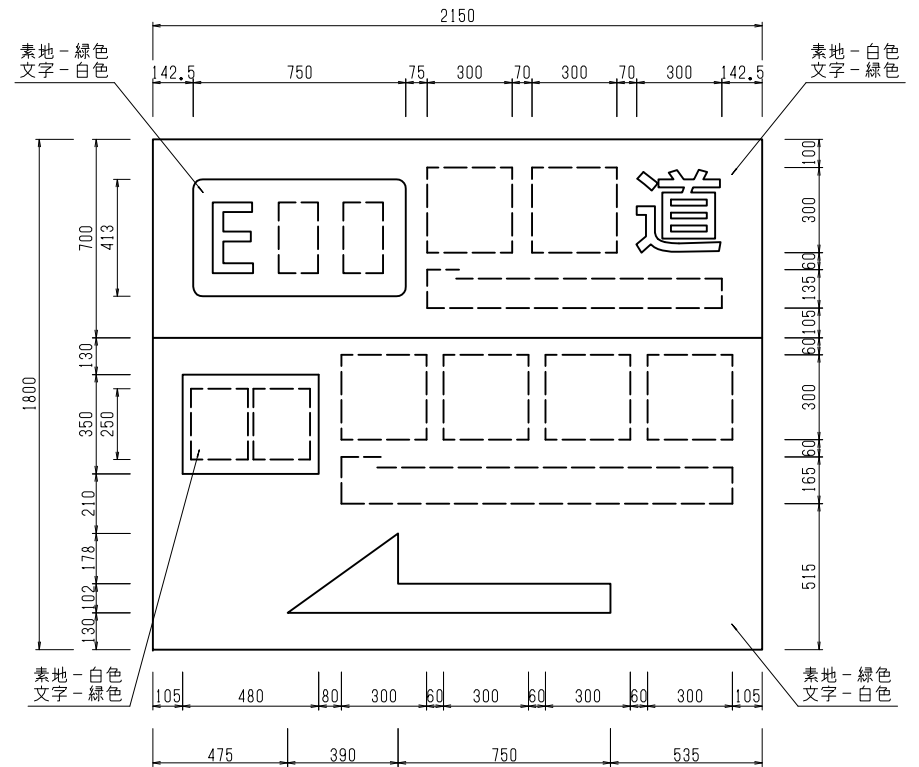
市街地案内標識

入口の方向

路線番号1桁の場合



路線番号2桁の場合

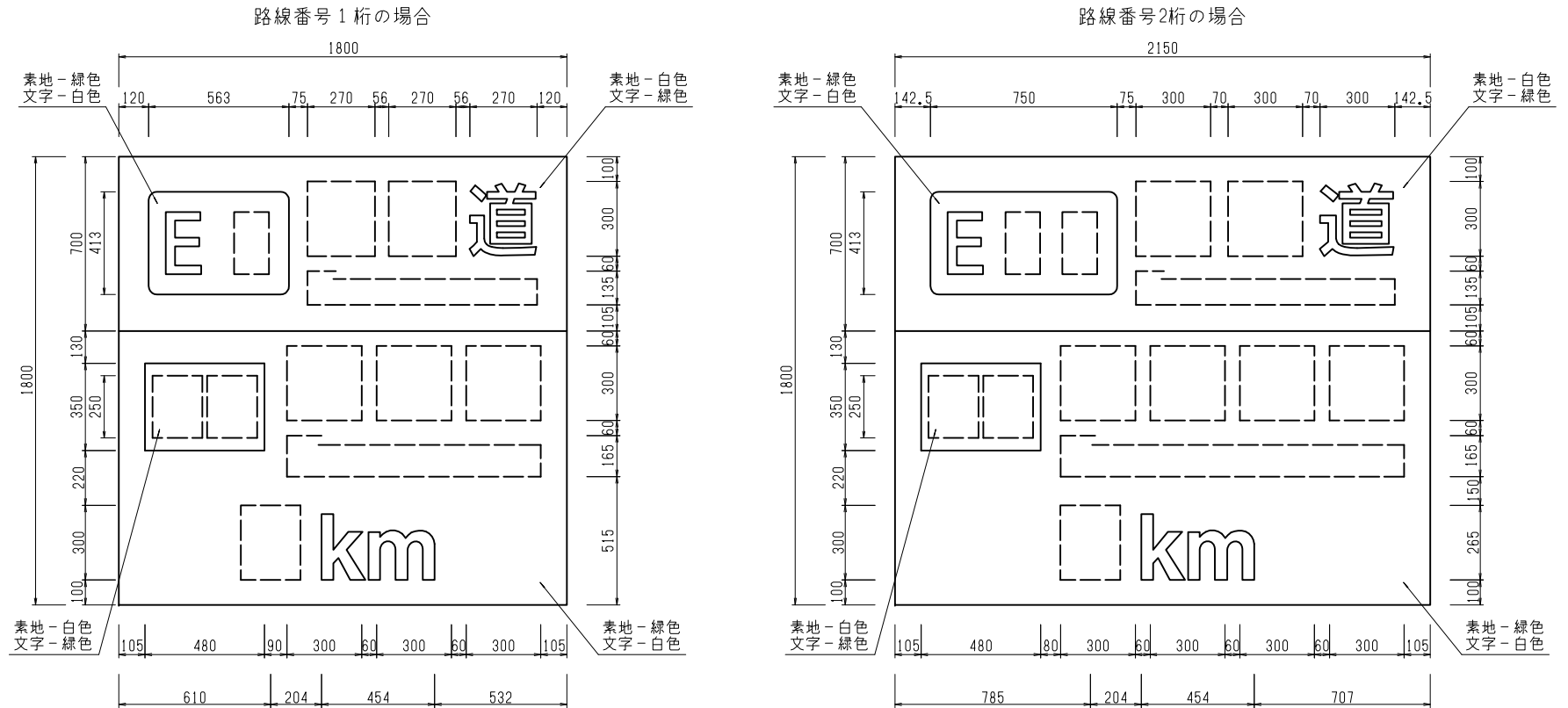


- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。

高規格道路 (自専道)	図面記号 名称	標識板レイアウト図	標識板 - 22
----------------	------------	-----------	----------

市街地案内標識

入口の予告



- (1) 反射材は広角プリズム型反射シートとする。
- (2) 標識板基板はアルミt=2.0mmとする。(JIS H4000 A5052P)
- (3) 補強材はアルミスライドチャンネルとする。(JIS H4100 A6063S)
- (4) 取付材はアルミT型材とする。(JIS H4100 A6063S)
- (5) 緑色反射材の色は、Nグリーン色とする。
- (6) 漢字の書体は、角ゴシック体(ゴナDB体)とし、ローマ字・数字の書体はヘルベチカ・デミボールドとする。